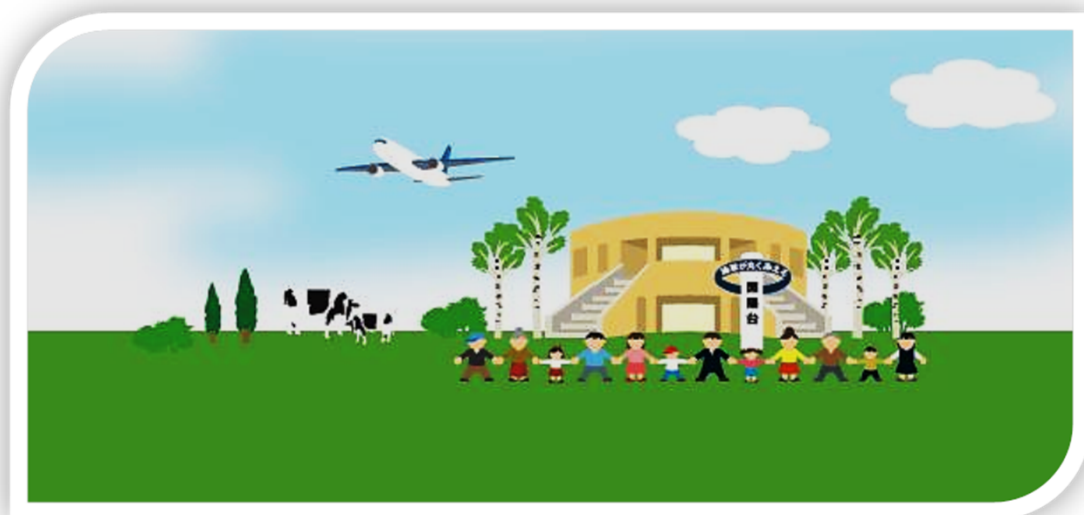


《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート 調査結果報告書



平成29年11月

中標津町 総務部 企画課

目 次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
（１）調査の目的	1
（２）調査対象及び調査方法	1
（３）配布数及び回収結果	1
（４）本調査結果報告書の留意点	1
2 回答者の属性	2
（１）一般町民（２０歳以上の町内に居住する男女）	2

II まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について	5
（１）まちへの愛着度について	5
（２）今後の定住意向について	7
（３）住み続けたい主な理由	9
（４）住みたくない主な理由	10
2 中標津町の取り組みに対する町民の声	11
（１）中標津町全体について	11
（２）生活環境について	15
（３）環境問題への取り組みについて	33
（４）産業振興について	35
（５）保健・医療・福祉について	42
（６）教育・文化・スポーツについて	52
（７）人権・男女共同参画について	62
（８）地域間交流について	65
（９）北方領土問題について	67
3 費用負担について	68
（１）取り組みに対する費用負担の可否について	68
4 町民活動・協働について	70
（１）地域活動・ボランティア活動について	70
（２）参加したい地域活動について	72
5 中標津町役場について	73
（１）情報共有について	73
（２）役場の窓口について	75
6 将来人口目標について	77
（１）目標の達成に必要なこと	77
7 行政との関わりについて	80
（１）協働の推進に向け町民が行政に望むもの	80

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見	81
（1）自由意見の記入状況	81

Ⅳ 設問別記述

1 設問別記述意見（主な意見）	84
-----------------	----

Ⅴ 参考資料

まちづくり町民アンケート調査票

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査の目的

第6期中標津町総合発展計画に基づく取組みに対する町民皆さんの意見や考え方を把握し、今後の町政に反映させ計画的に施策を実施することを目的とします。

(2) 調査対象及び調査方法

- ◆ 調 査 対 象 : 20歳以上の町内に居住する男女
- ◆ 抽 出 法 : 無作為抽出(住民基本台帳より抽出)
- ◆ 調 査 方 法 : 郵送法(郵送による配布・回収)
- ◆ 調 査 時 期 : 平成29年5月
- ◆ 調 査 区 域 : 中標津町内全域

(3) 配布数及び回収結果

- ◆ 配 布 数 : 500票
- ◆ 有効回収数 : 156票
- ◆ 有効回収率 : 31.2%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書の内容について、次の点に留意して下さい。

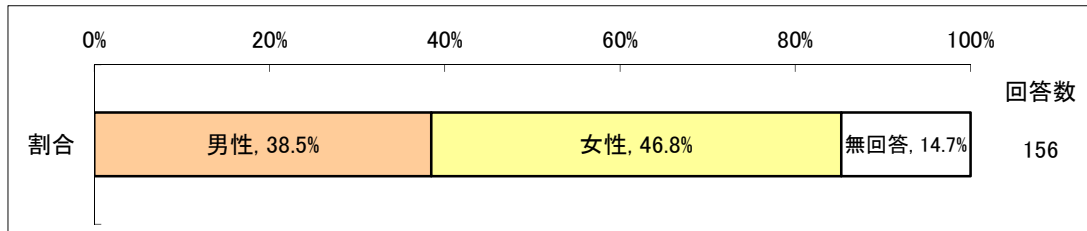
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります。
- 基礎となるべき実数は、“回答数=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出しました。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問となっています。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。
- 問の中には、「～に○をつけた方にうかがいます。」などさまざまな制限があり、また、属性別での職業別など回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

2 回答者の属性

(1) 一般市民（20歳以上の町内に居住する男女）

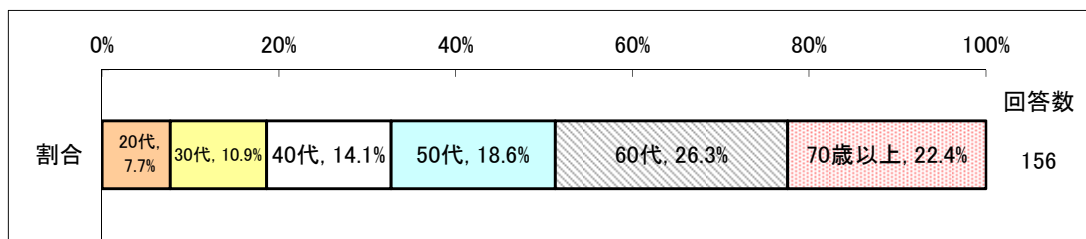
① 性別

回答者の性別構成は、「男性」が60名・38.5%、「女性」が73名・46.8%、「無回答」が23名・16.2%となっています。



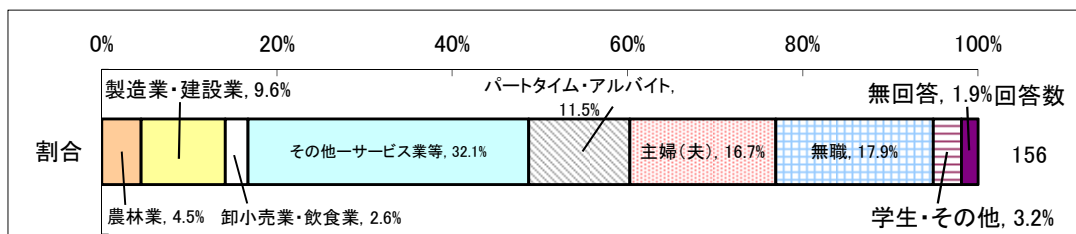
② 年齢

回答者の年齢構成は、「60代」が41名・26.3%で最も多く、次いで「70歳以上」が35名・22.4%、「50代」が29名・18.6%、「40代」が22名・14.1%、「30代」が17名・10.9%、「20代」が12名・7.7%の順となっています。



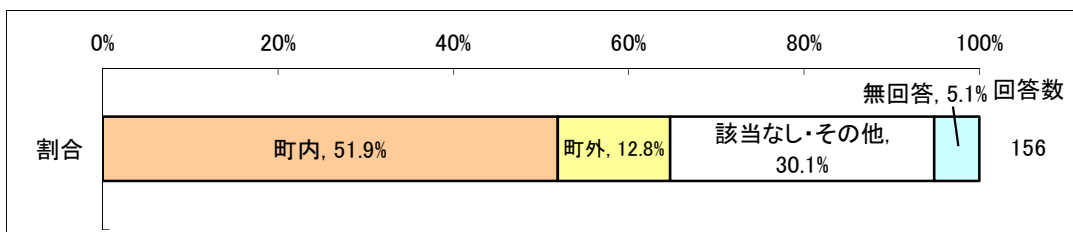
③ 職業

回答者の職業は、「その他サービス業等」が50名・32.1%で最も多く、次いで「無職」が28名・17.9%、「主婦(夫)」が26名・16.7%、「パートタイム・アルバイト」が18名・11.5%、「製造業・建設業」が15名・9.6%、「農林業」が7名・4.5%、「学生・その他」が5名・3.2%、「卸小売業・飲食業」が4名・2.6%、「無回答」が3名・1.9%の順となっています。



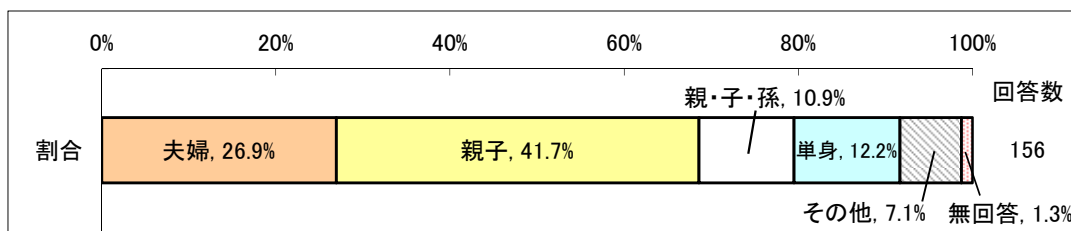
④ 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先は、「町内」が81名・51.9%で最も多く、次いで「該当なし・その他」が47名・30.1%、「町外」が20名・12.8%の順となっています。



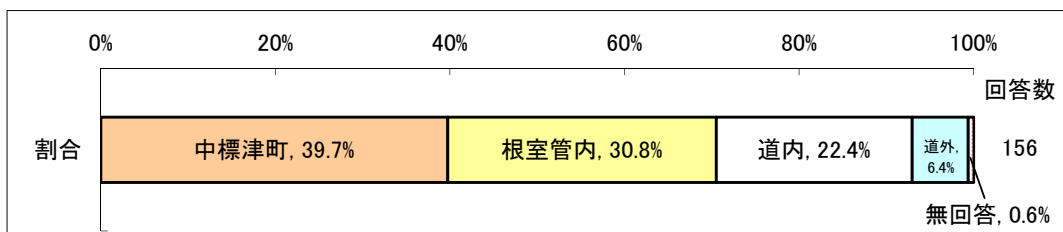
⑤ 家族構成

回答者の家族構成は、「親子（2世代）」が65名・41.7%で最も多く、次いで「夫婦」が42名・26.9%、「単身」が19名・12.2%、「親・子・孫」17名・10.9%、「その他」が11名・7.1%の順となっています。



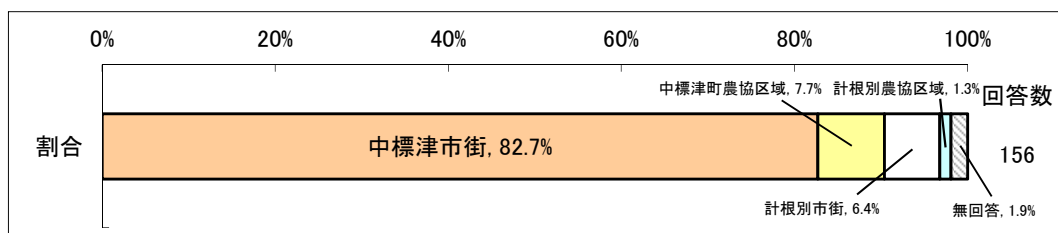
⑥ 出身地

回答者の出身地は、「中標津町」が62名・39.7%で最も多く、次いで「根室管内」が48名・30.8%、「道内」が35名・22.4%、「道外」が10名・6.4%の順となっています。



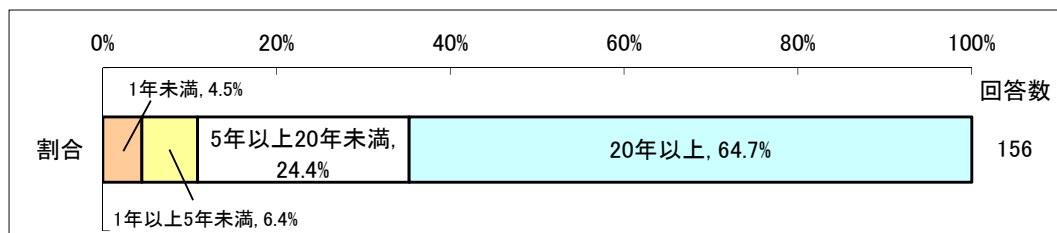
⑦ 居住地

回答者の居住地は、「中標津市街」が129名・82.7%で最も多く、次いで「中標津町農協区域」が12名・7.7%、「計根別市街」が10名・6.4%、「計根別農協区域」が2名・1.3%の順となっています。



⑧ 居住年数

回答者の居住歴は、「20年以上」が101名・64.7%で最も多く、次いで「5年以上20年未満」が38名・24.4%、「1年以上5年未満」が10名・6.4%、「1年未満」が7名・4.5%の順となっています。



Ⅱ まちづくり町民アンケート調査結果

1 愛着度・定住意向について

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。

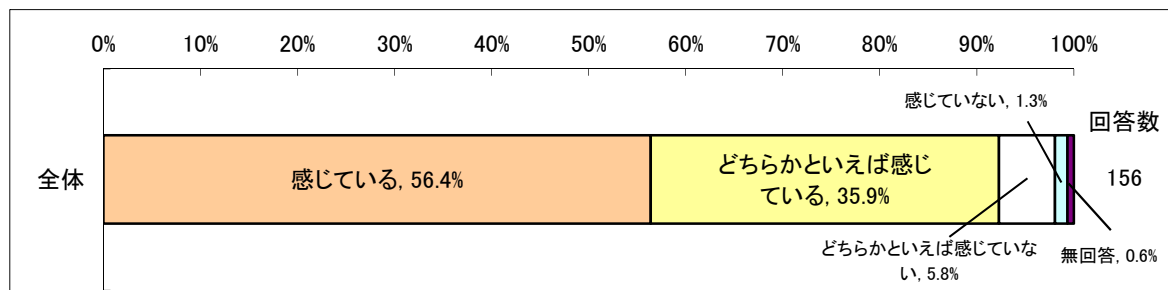
● “愛着を感じている” が92.3%。一方、“愛着を感じていない” は7.1%。

町民のまちに対する愛着度を把握するため、愛着を「感じている」、「どちらかといえば感じている」、「どちらかといえば感じていない」、「感じていない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、愛着を「感じている」と回答した人が88名・56.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じている」が56名・35.9%で続き、これらをあわせた“愛着を感じている”という人が92.3%となりました。

これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば感じていない」9名・5.8%及び「感じていない」2名・1.3%の合計）は11名・7.1%と1割を切り、総じてまちへの愛着度は高いといえます。【図表1参照】

図表1 まちへの愛着度について（全体）

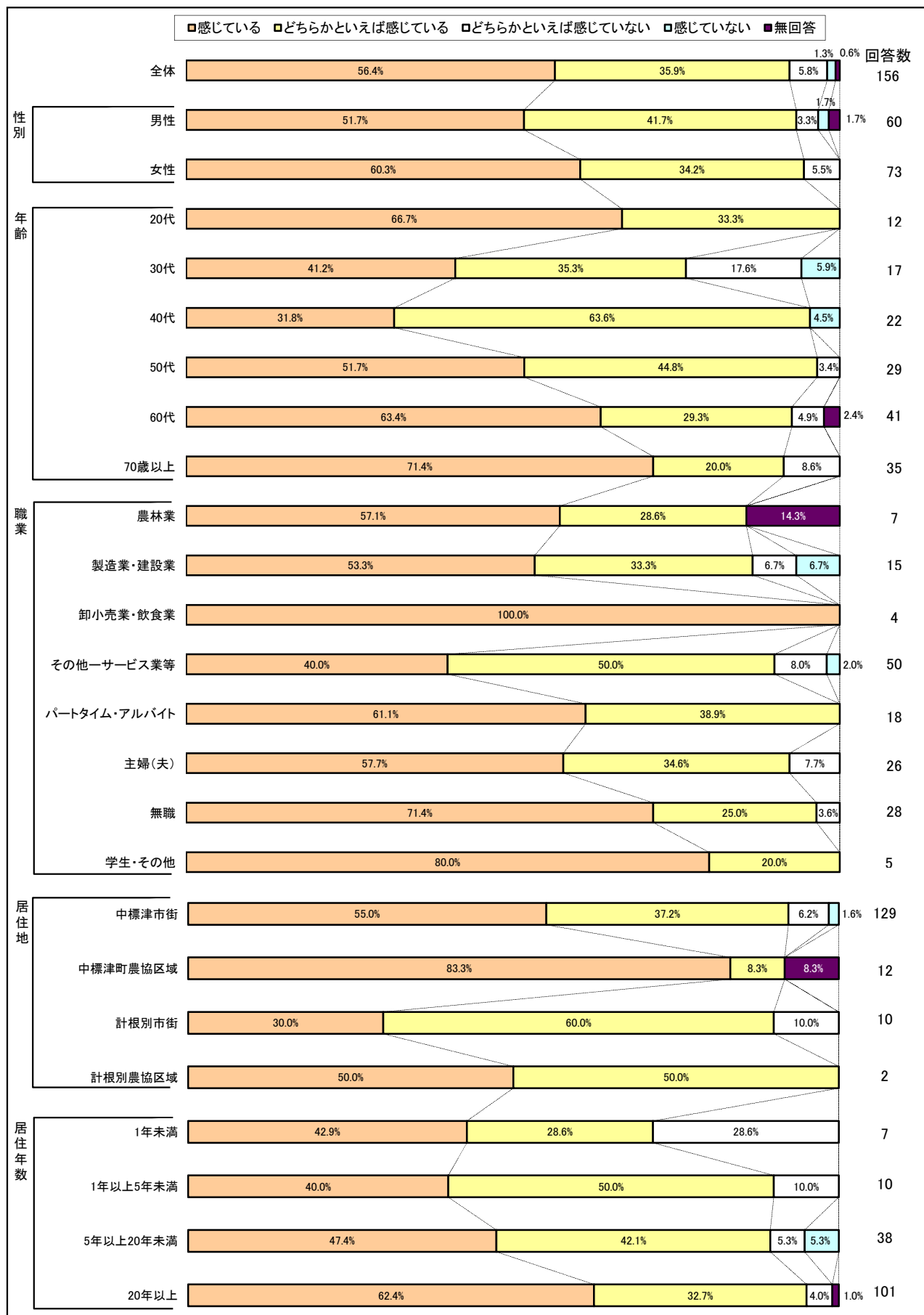


性別で“愛着を感じている”率をみると、女性は94.5%、男性は83.0%と、ほぼ同様の愛着度となっています。

年齢別では、20代が100.0%“愛着を感じている”となっていますが、一方で30代では76.5%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“愛着を感じている”率の高い層をみると、職業別では卸小売業・飲食業とパートタイム・アルバイトと学生・その他（ともに100.0%）、居住地では計根別農協区域（100.0%）、居住年数では20年以上（95.1%）などとなっています。【図表2参照】

図表2 まちへの愛着度について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



(2) 今後の定住意向について

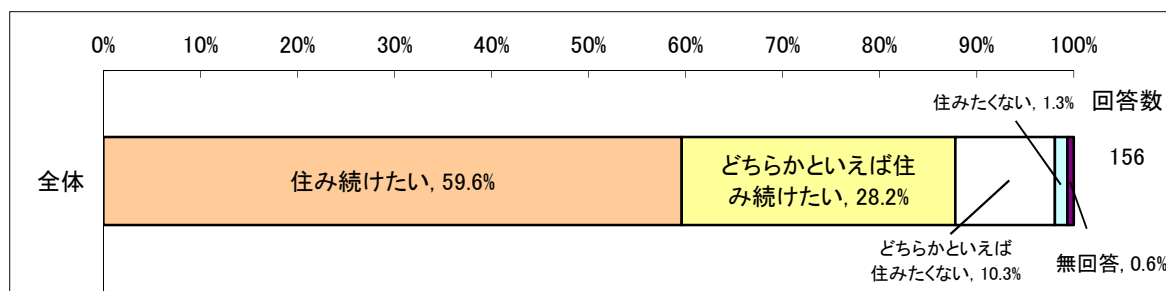
問3① あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。

● “住み続けたい” が87.8%、一方、“住みたくない” は11.6%。

今後も町に住み続けたいかどうかをたずねたところ、「住み続けたい」と答えた人が93名・59.6%で最も多く、これに「どちらかといえば住み続けたい」（44名・28.2%）をあわせた137名・87.8%の人が“住み続けたい”という意向を示しています。

一方、「どちらかといえば住みたくない」（16名・10.3%）及び「住みたくない」（2名・1.3%）と答えた“住みたくない”という人の合計は18名・11.6%と1割程度にとどまり、定住意向が強い結果となっています。【図表3参照】

図表3 今後の定住意向について（全体）



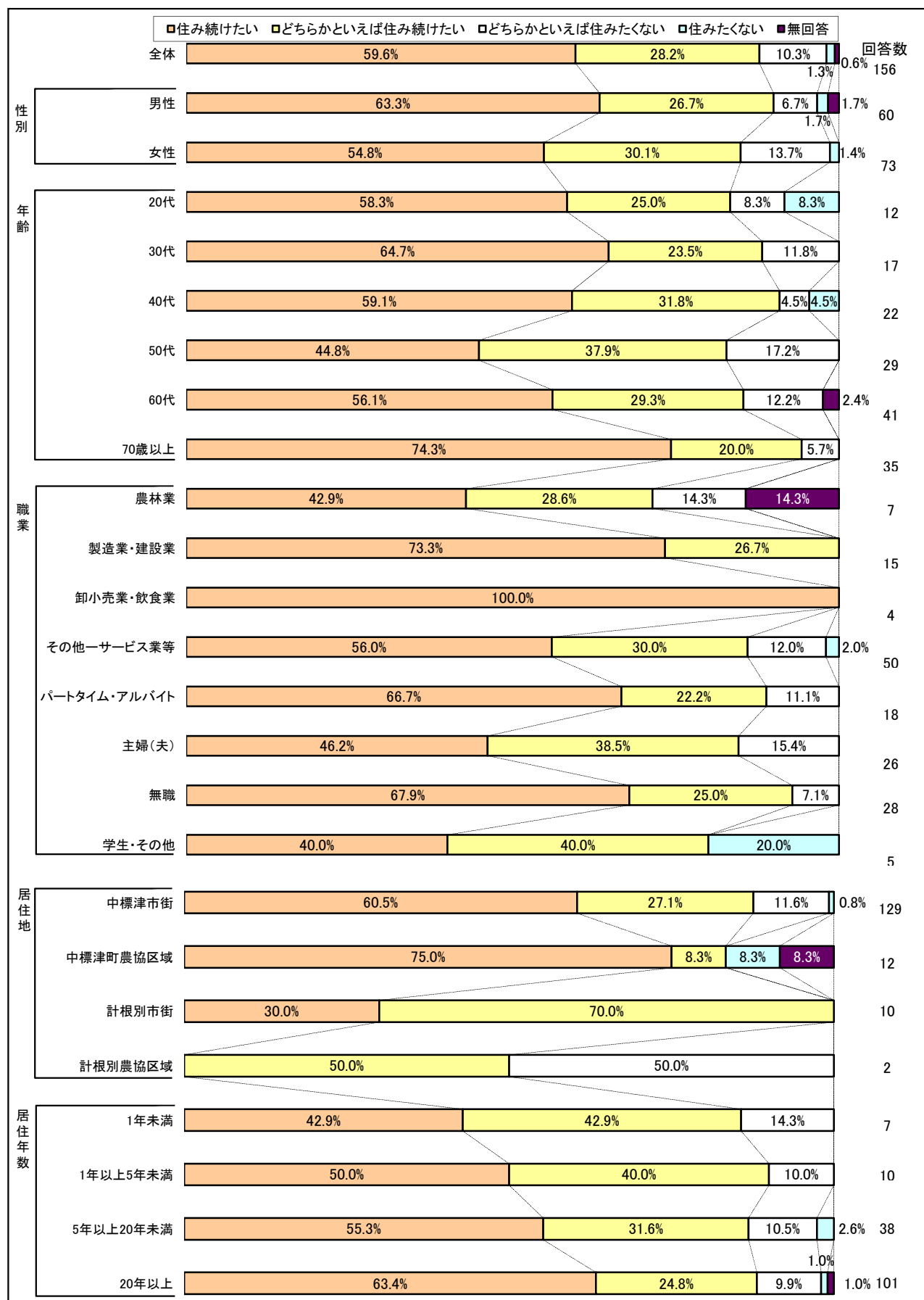
性別で“住み続けたい”率をみると、男性が90.0%、女性が84.9%と5.1ポイント上回っており、男性の方が定住意向が比較的高いことがうかがえます。

年齢別では、70歳以上の“住み続けたい”率が、94.3%と最も高い結果となっています。

一方で50代では“住み続けたい”率が82.7%と最も低い結果となっています。

職業別・居住年数・居住地別で“住み続けたい”率の高い層をみると、職業別では製造業・建設業及び卸小売業・飲食業（100.0%）、居住地では計根別市街（100.0%）、居住年数では1年以上5年未満（90.0%）などとなっています。【図表4参照】

図表4 今後の定住意向について（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



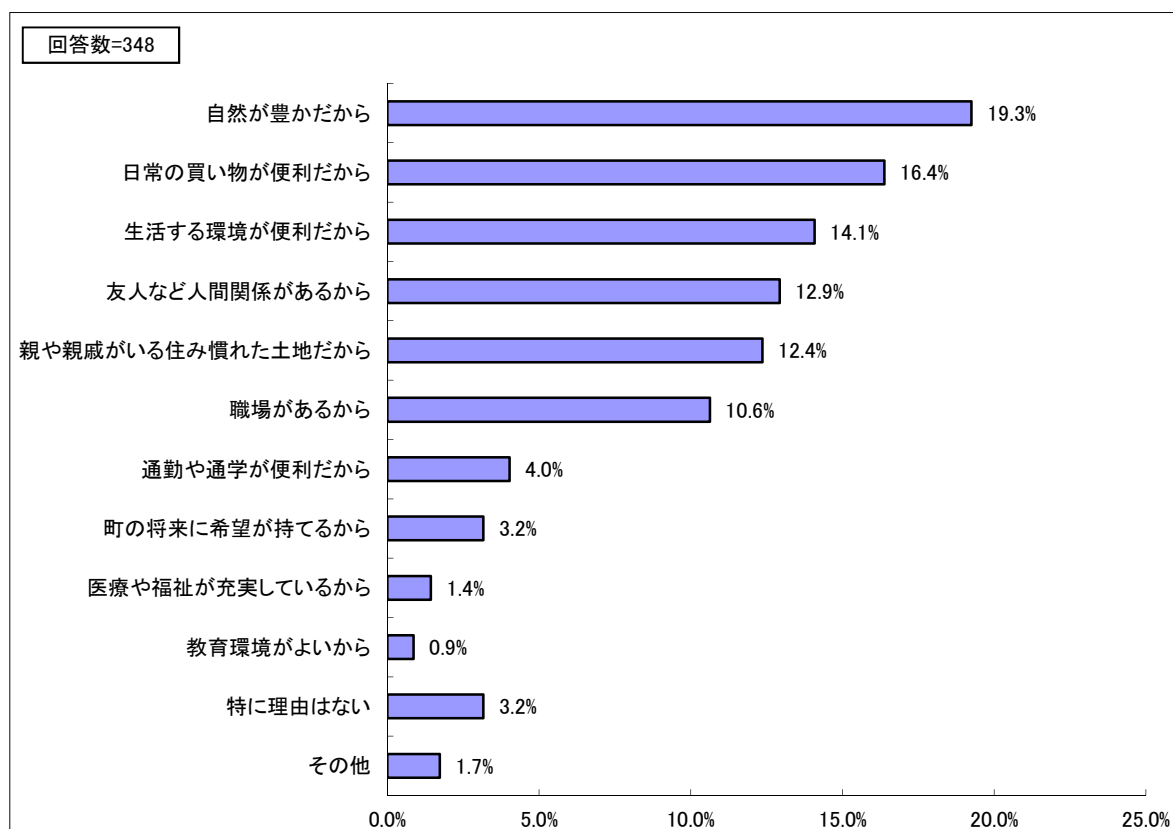
(3) 住み続けたい主な理由

問3② 住み続けたい主な理由は何ですか。(①で「1.」または「2.」に○をつけた方のみ) 【複数回答】

- 「自然が豊かだから」、が第1位。次いで「日常の買い物が便利だから」、
「生活する環境が便利だから」の順。

問3で“住み続けたい”と回答した人(全体の87.8%・137名)にその理由をたずねたところ、「自然が豊かだから」が(19.3%)第1位に挙げられ、次いで「日常の買い物が便利だから」(16.4%)が続き、以下「生活する環境が便利だから」(14.1%)、「友人など人間関係があるから」(12.9%)などの順となっています。【図表5参照】

図表5 住み続けたい主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

空港が近いから
自宅があるから
生まれ育った地だから
住みやすいから
子どもの仕事で
自分の土地、家が気に入っている。

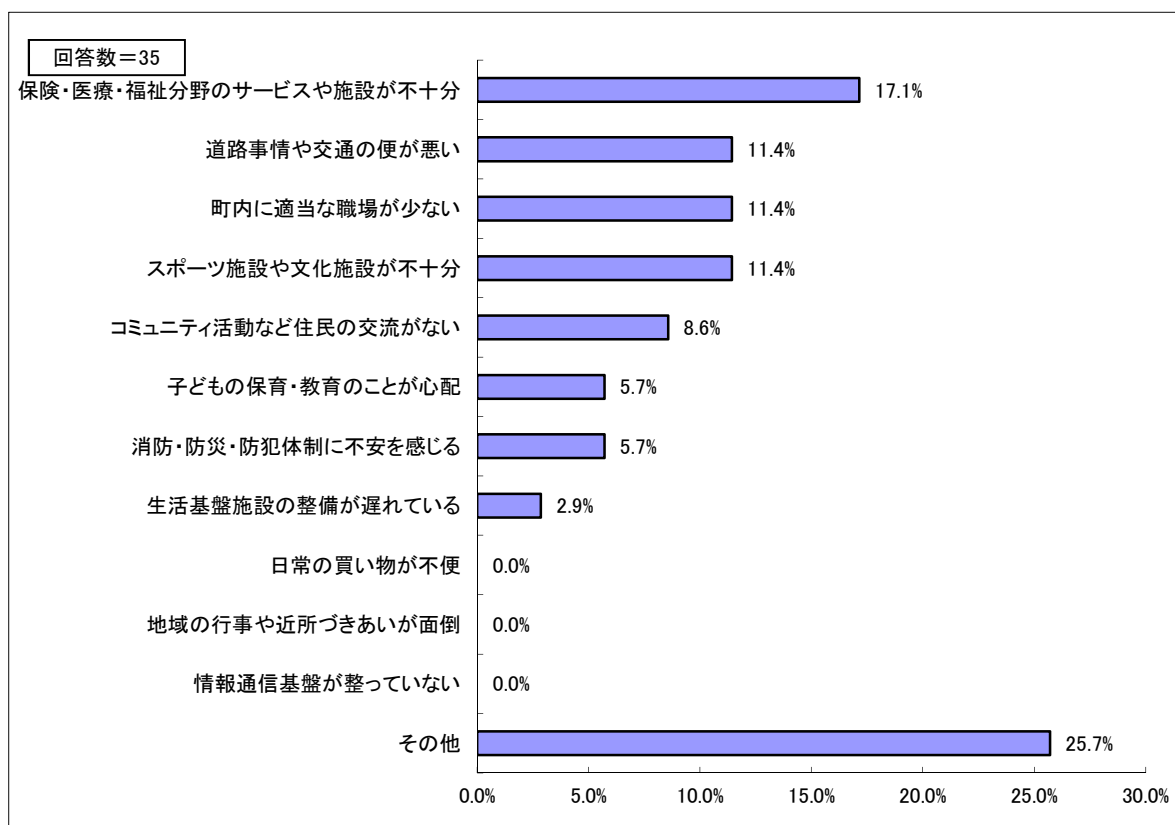
(4) 住みたくない主な理由

問3③ 住みたくない主な理由は何ですか。(①で「3.」または「4.」に○をつけた方のみ)【複数回答】

- 「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」が第1位。次いで「道路事情や交通の便が悪い」、「日常の買い物が不便」の順。

問3で“住みたくない”と回答した人(全体の11.6%・18名)にその理由をたずねたところ、「保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分」(17.1%)が第1位に挙げられ、次いで「道路事情や交通の便が悪い」、「町内に適当な職場が少ない」及び「スポーツ施設や文化施設が不十分」が同率で11.4%続き、以下「コミュニティ活動など住民の交流がない」(8.6%)などの順となっています。【図表6参照】

図表6 住みたくない主な理由(全体/複数回答)



「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

安定した生活ができない。
一人暮らしなので、他の町の施設に行きたい。
自分のしたいことが中標津町ではできない
地元のシンボルがない。愛着のわくイベント・祭りが無い。
小中学校の義務教育にお金がかかりすぎる(教材費、部活経費の個人負担が多すぎる) 高校の登下校に適したバス路線がない。

2 中標津町の取り組みに対する町民の声

(1) 中標津町全体について

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

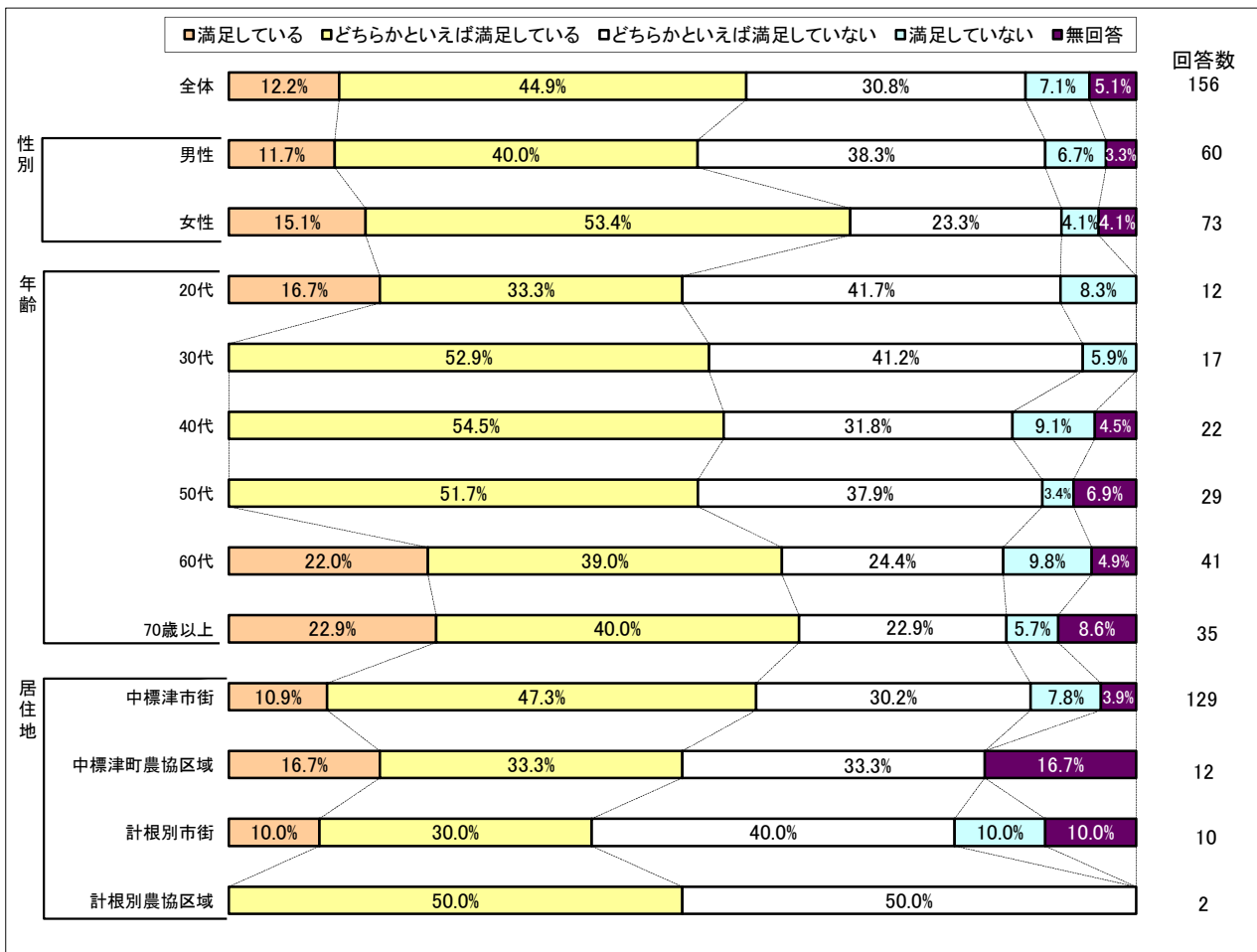
● “満足している” が57.1%、“満足していない” が37.9%。

全体的なまちづくりに対する満足度についてたずねたところ、「どちらかといえば満足している」と答えた人が44.9%、これに「満足している」（12.2%）をあわせた“満足している”という人が57.1%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（30.8%）及び「満足していない」（7.1%）の合計）は37.9%となっており、全体的に満足している町民が過半数を占めています。

年齢別の“満足している”率は、70代以上が（62.9%）と6割を超えていますが、20代は（50.0%）と5割にとどまっています。[図表7参照]

図表7 中標津町のまちづくりに満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は84ページに掲載しています。

問5 まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。

● “関心を持っている” が64.1%、 “関心を持っていない” が30.8%。

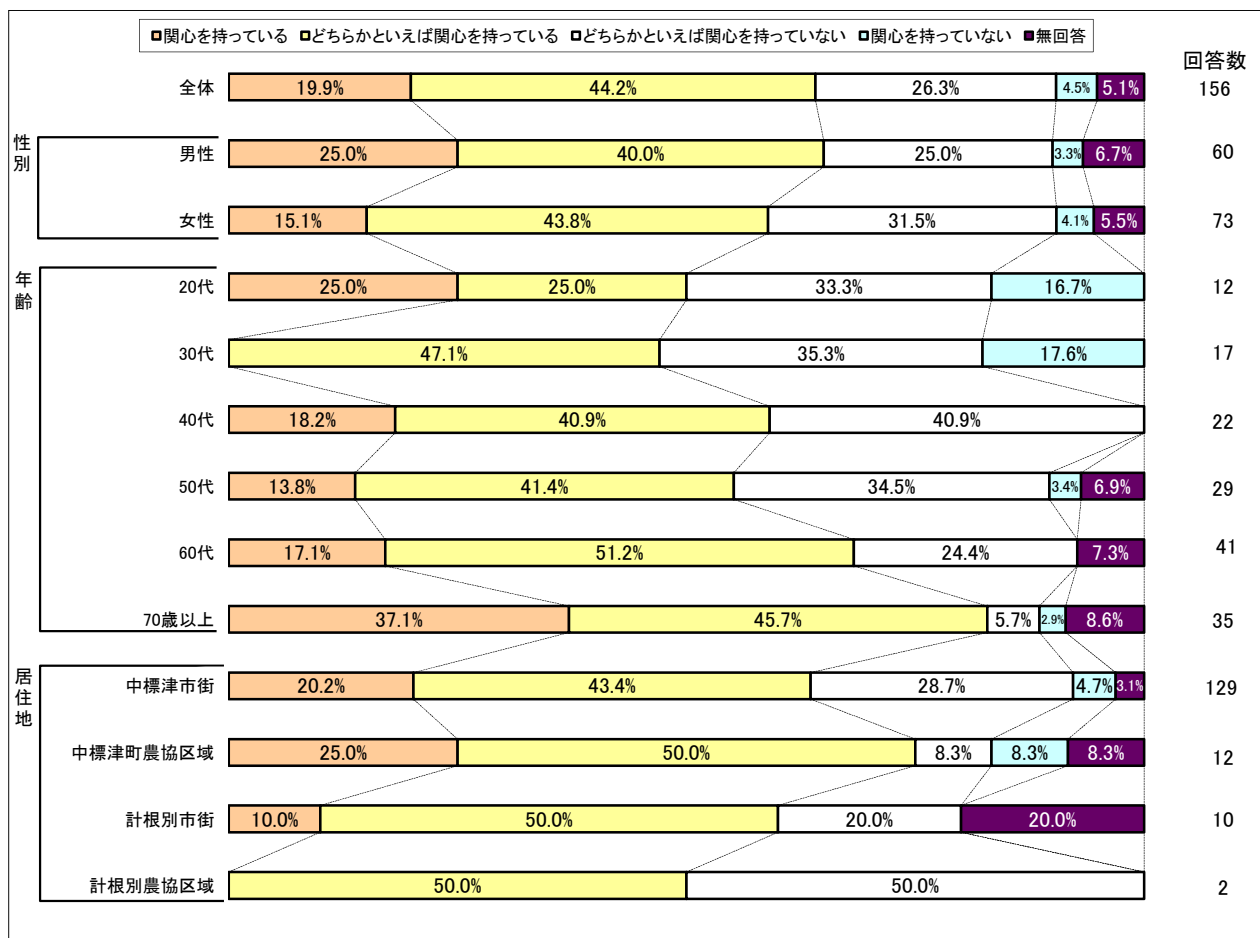
「どちらかといえば関心を持っている」と答えた人が44.2%で、これに「関心を持っている」（19.9%）をあわせた“関心を持っている”という人が64.1%となりました。

一方、“関心を持っていない”（「どちらかといえば関心を持っていない」（26.3%）及び「関心を持っていない」（4.5%）の合計）は30.8%となり、関心を持っている人が持っていない人を3割以上上回る結果となりました。

性別でみると、男性（65.0%）が女性（58.9%）より若干関心が高いことがうかがえます。

年齢別でみると、概ね加齢とともに関心が高く70歳以上が82.8%、60代が68.3%となっています。[図表8参照]

図表8 まちの計画や取り組みへの関心について（全体、性別、年齢、居住地）



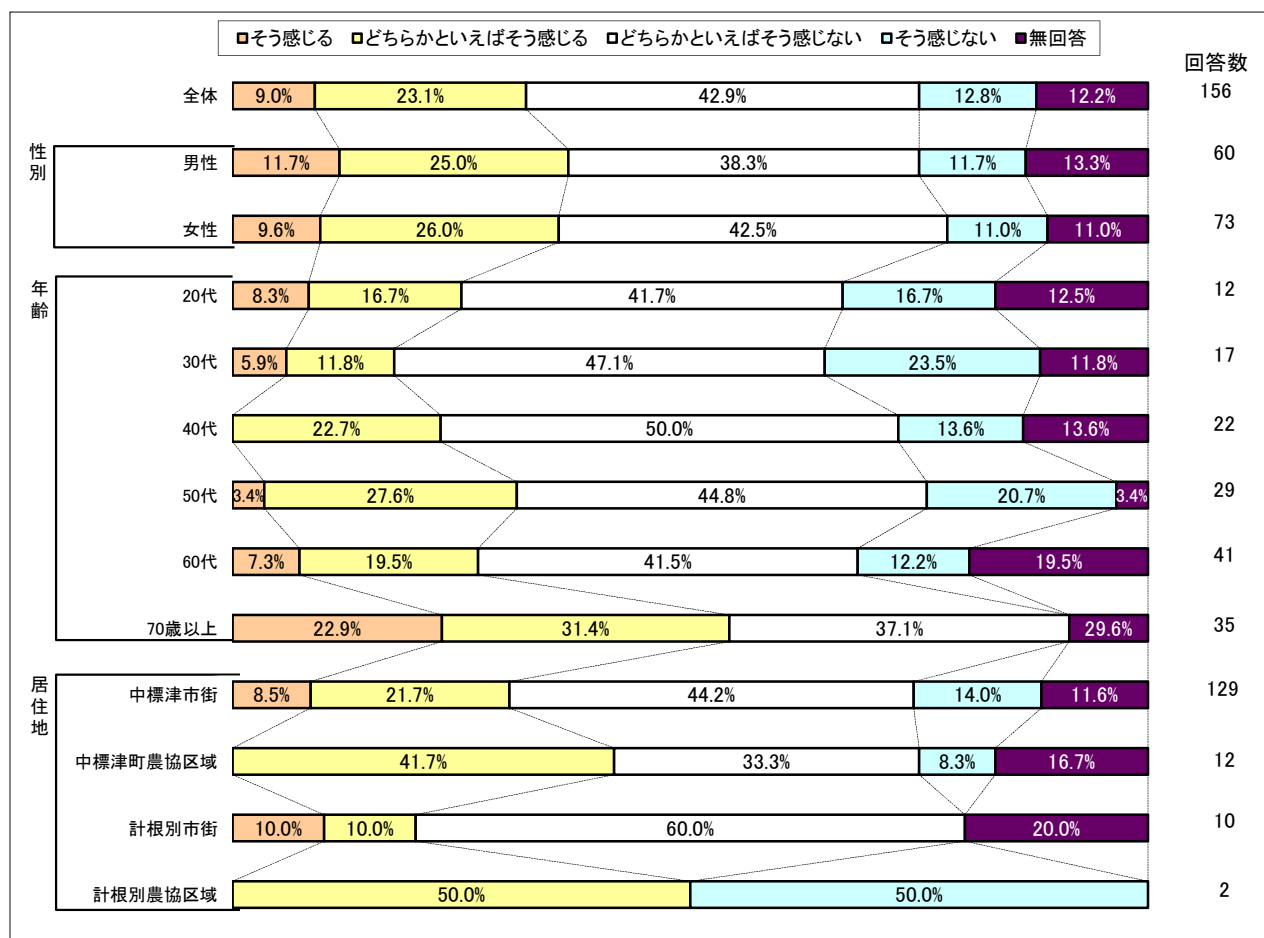
問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

● “そう感じる” が32.1%、“そう感じない” が55.7%。

「どちらかといえばそう感じる」（23.1%）と「そう感じる」（9.0%）をあわせた“そう感じる”が32.1%、一方“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（42.9%）と「そう感じない」（12.8%）の合計）が55.7%となり、町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じる人が、そう感じない人を下回っています。

年齢別でみると、概ね加齢とともに“そう感じる”率が高くなり、70歳以上では54.3%の人が“そう感じる”と回答しています。[図表9参照]

図表9 町民と行政が協力してまちづくりを行っているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は85ページに掲載しています。

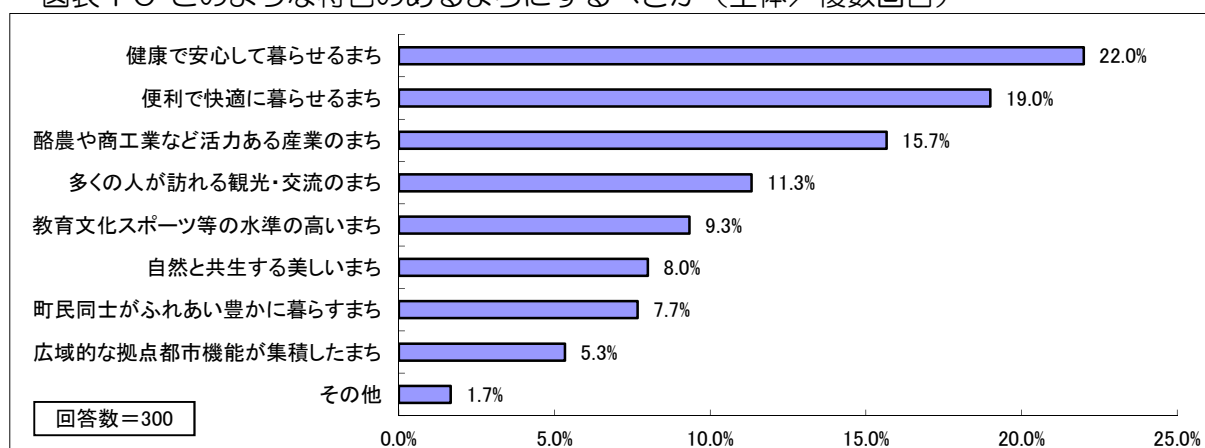
問7 今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

●「健康で安心して暮らせるまち」が第1位。次いで「便利で快適に暮らせるまち」、「酪農や商工業など活力ある産業のまち」、の順。

今後のまちづくりにおいて、どのような特色のあるまちにするべきかたずねたところ、「健康で安心して暮らせるまち」（22.0%）が第1位にあげられ、次いで「便利で快適に暮らせるまち」（19.0%）、「酪農や商工業など活力ある産業のまち」（15.7%）、「多くの人を訪れる観光・交流のまち」（11.3%）、「教育文化スポーツ等の水準の高いまち」（9.3%）の順となりました。

年齢別では、20代と40代を除く全ての年代で「健康で安心して暮らせるまち」が第1位となっています。[図表10～11参照]

図表10 どのような特色のあるまちにするべきか（全体／複数回答）



図表11 どのような特色のあるまちにするべきか（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	酪農や商工業など活力のある産業のまち 20.8	便利で快適に暮らせるまち (同率1位) 20.8	多くの人を訪れる観光・交流のまち (同率1位) 20.8
	30代	健康で安心して暮らせるまち 20.6	便利で快適に暮らせるまち (同率1位) 20.6	同率複数のため省略 -
	40代	便利で快適に暮らせるまち 24.4	教育文化スポーツ等の水準の高いまち 19.5	健康で安心して暮らせるまち 17.1
	50代	健康で安心して暮らせるまち 25.5	酪農や商工業など活力のある産業のまち 20.0	便利で快適に暮らせるまち 16.4
	60代	健康で安心して暮らせるまち 26.9	便利で快適に暮らせるまち 19.2	酪農や商工業など活力のある産業のまち 15.4
	70歳以上	健康で安心して暮らせるまち 23.5	便利で快適に暮らせるまち 16.2	町民同士がふれあい豊かに暮らすまち 14.7
居 住 地	中標津市街	健康で安心して暮らせるまち 23.0	便利で快適に暮らせるまち 20.2	酪農や商工業など活力のある産業のまち 14.1
	中標津町農協区域	多くの人を訪れる観光・交流のまち 27.3	酪農や商工業など活力のある産業のまち 22.7	健康で安心して暮らせるまち 18.2
	計根別市街	酪農や商工業など活力のある産業のまち 25.0	同率複数のため省略 -	同率複数のため省略 -
	計根別農協区域	健康で安心して暮らせるまち 50.0	酪農や商工業など活力のある産業のまち 25.0	便利で快適に暮らせるまち (同率2位) 25.0

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

アートプロジェクト、美術館、博物館等。
子育て、教育、少子化対策に力を。
子育てがしやすい安心して生めて育てられる町。子どもたちや若い人がいっぱい。活気があって、高齢者も支えていける町。
LCCの就航に期待している。
病院充実

(2) 生活環境について

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

● “そう感じる” が61.5%、“そう感じない” が36.6%。

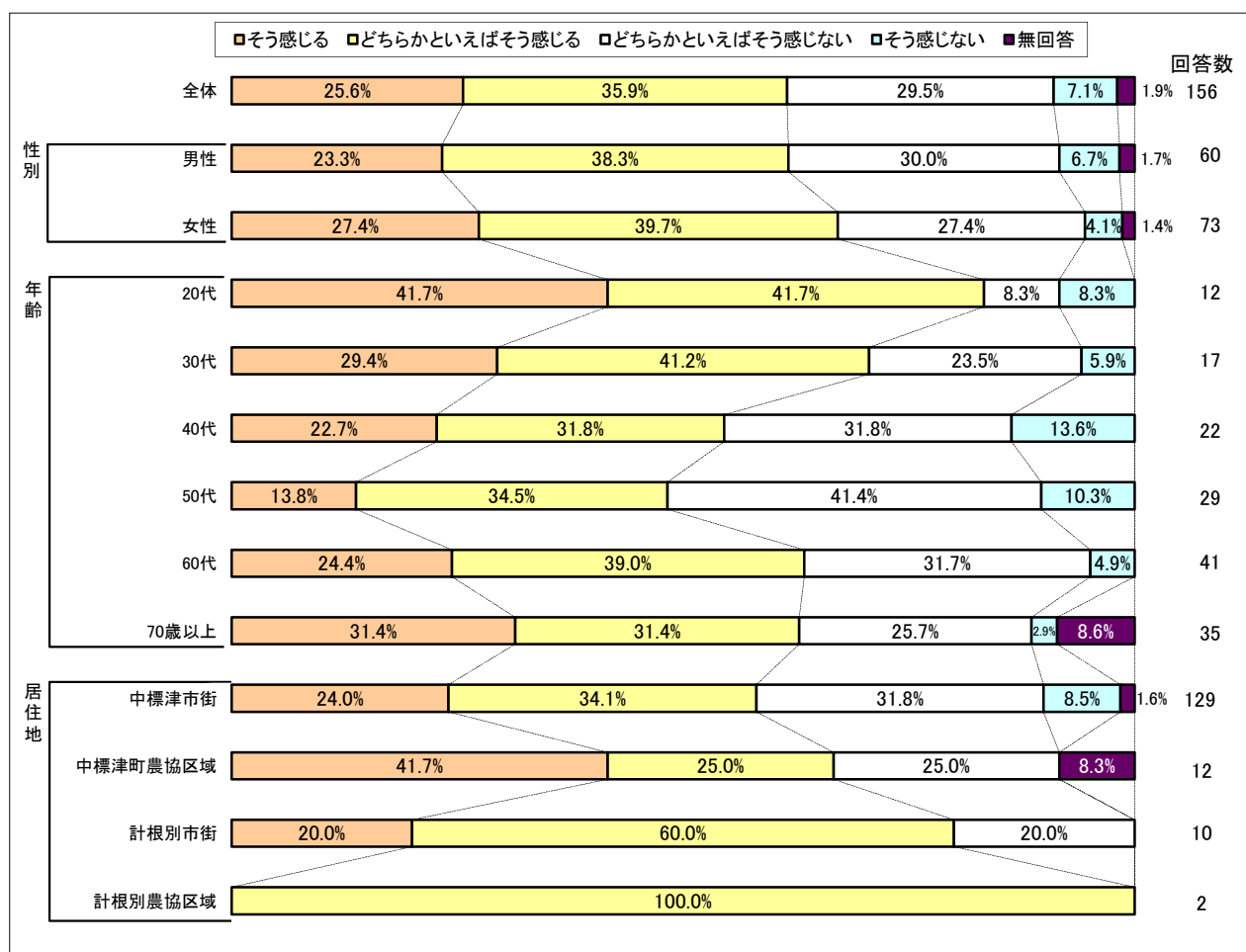
中心市街地の利便性について、たずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（35.9%）これに「そう感じる」（25.6%）を合わせた“そう感じる”人は61.5%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」29.5%、「そう感じない」7.1%の合計）は36.6%となっており、全体的には中心市街地は便利で利用しやすいと感じている町民が半数以上を占めています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が（61.6%）、女性が（67.1%）と女性が5.5ポイント上回っています。

年齢別の割合は20代が83.4%と1番高く、他の年代では約50%以上の方が中心市街地は便利で利用しやすいと感じています。[図表12参照]

図表12 中心市街地は便利で利用しやすいか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は86ページに掲載しています。

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

● “そう感じる” が60.2%、“そう感じない” が36.5%。

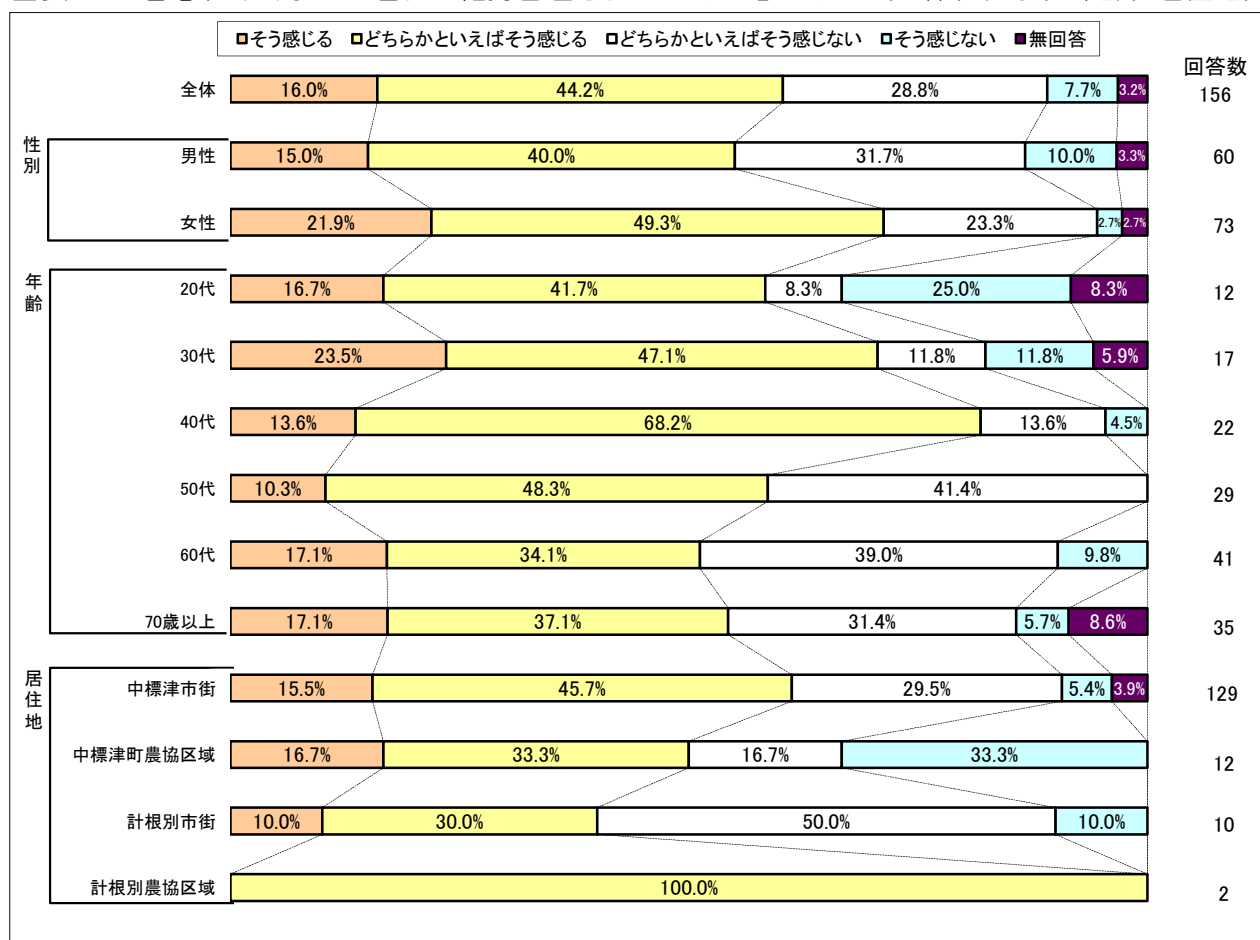
道路や河川などが適切に維持管理されているかについてたずねたところ、「どちらといえばそう感じる」（44.2%）、これに「そう感じる」（16.0%）を合わせた“そう感じる”人は60.2%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらといえばそう感じない」(28.8%)、「そう感じない」(7.7%)合計）は36.5%となっています。

性別で“そう感じる人”の割合は男性が55.0%、女性が71.2%と女性が16.2ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は40代が81.8%と高い一方60代では51.2%と低くなっています。[図表13参照]

図表13 道路や河川などが適切に維持管理されていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は88ページに掲載しています。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

● “満足している” が75.6%、“満足していない” が21.8%。

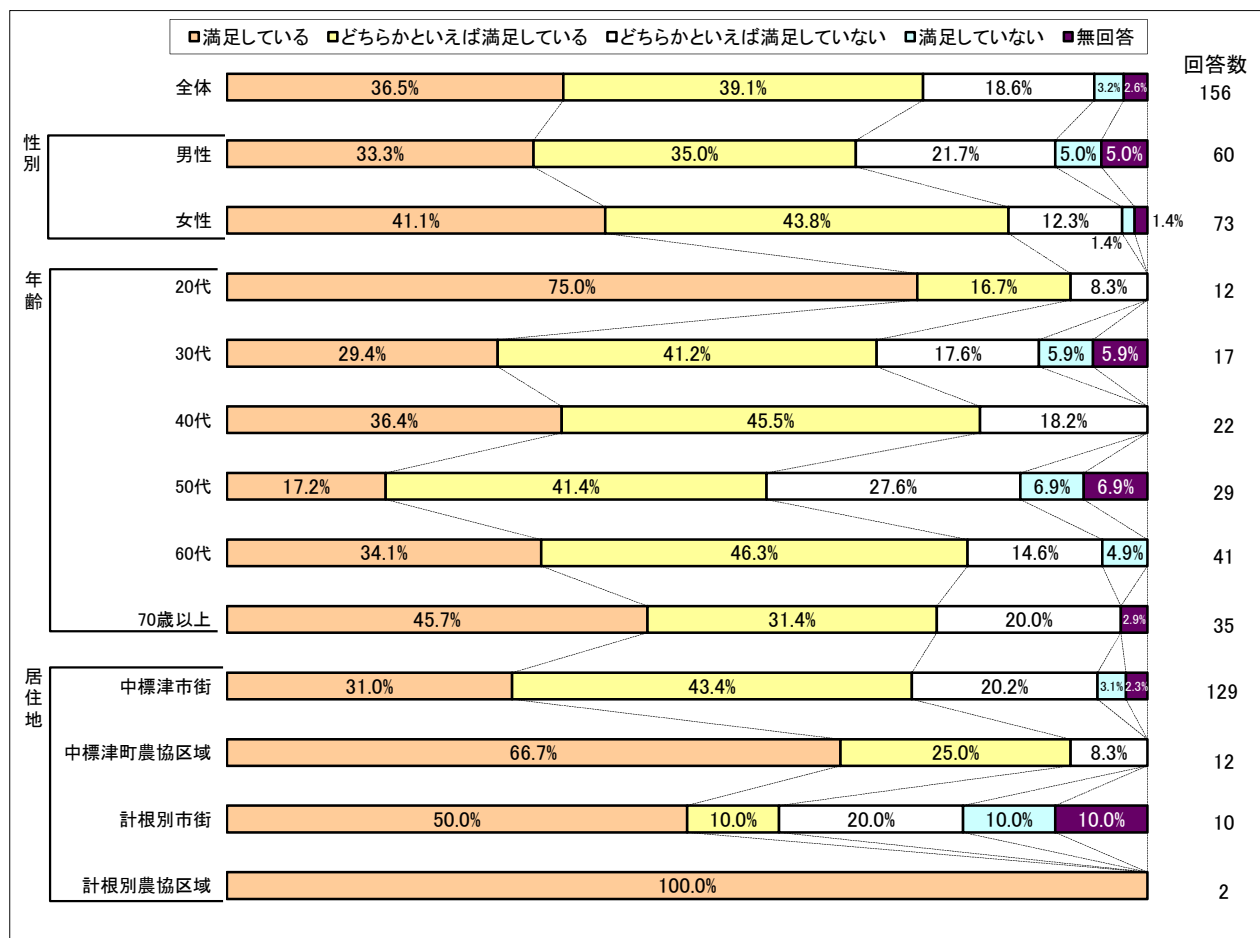
「まちの緑」に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(39.1%)と、これに「満足している」(36.5%)をあわせた“満足している”という人が75.6%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（18.6%）「満足していない」（3.2%）の合計）は21.8%となっています。

性別で“満足している”人は男性(68.3%)、女性（84.9%）と女性が16.6ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は、20代（91.7%）が高く、一方50代（58.6%）と低くなっています。[図表14参照]

図表14 「まちの緑」に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は89ページに掲載しています。

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができますと感じますか。

● “そう感じる” が27.6%、“そう感じない” が62.8%。

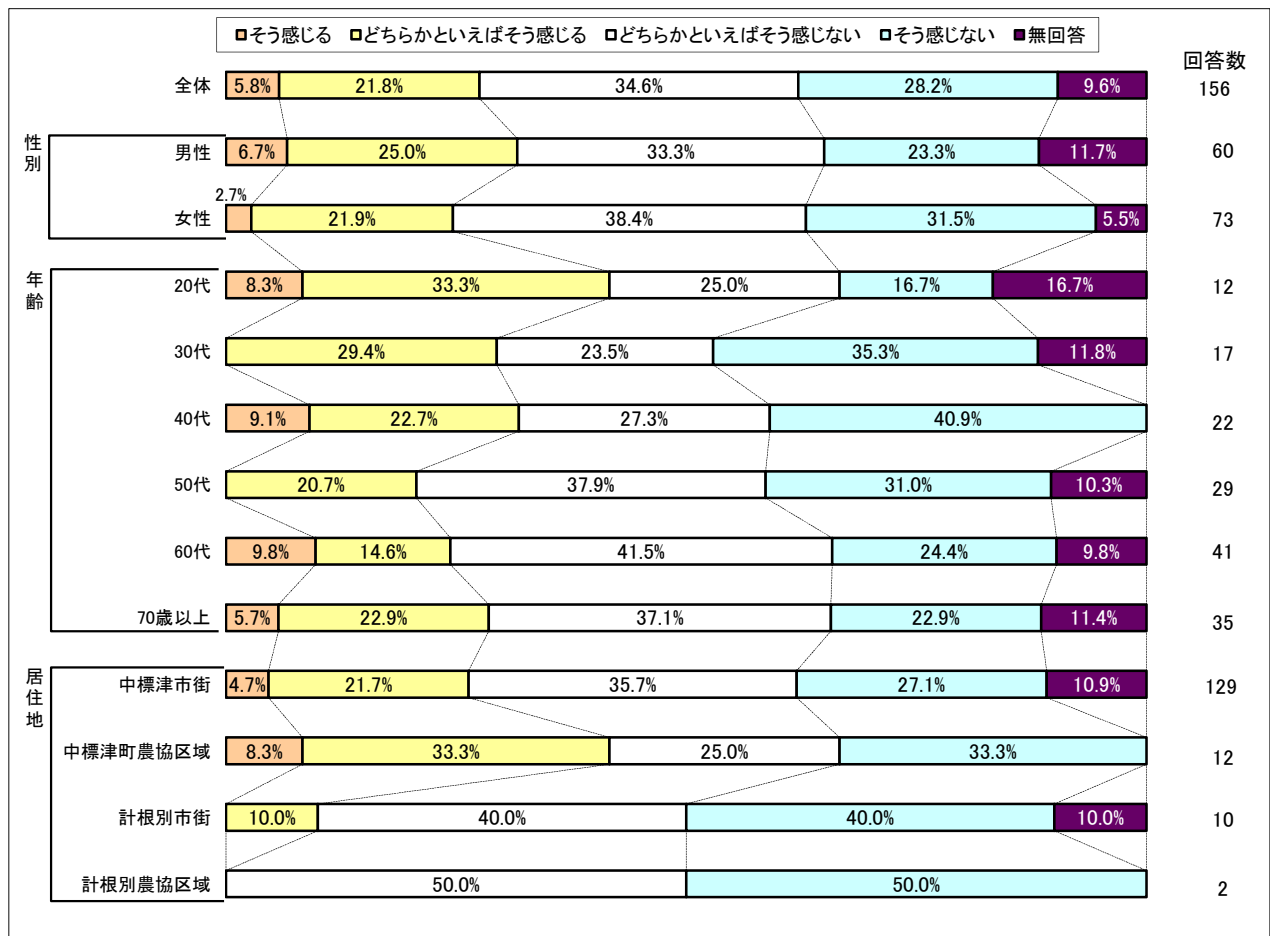
公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」が21.8%、これに「そう感じる」5.8%を合わせた“そう感じる”人は27.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（34.6%）「そう感じない」（28.2%）の合計）は62.8%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合では男性が31.7%、女性が24.6%と男性が7.1ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が41.6%となっていますが50代では20.7%と低くなっています。[図表15参照]

図表15 公共交通（バス）を利用して便利に暮らすことができるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は90ページに掲載しています。

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

● “満足している” が67.9%、“満足していない” が25.0%。

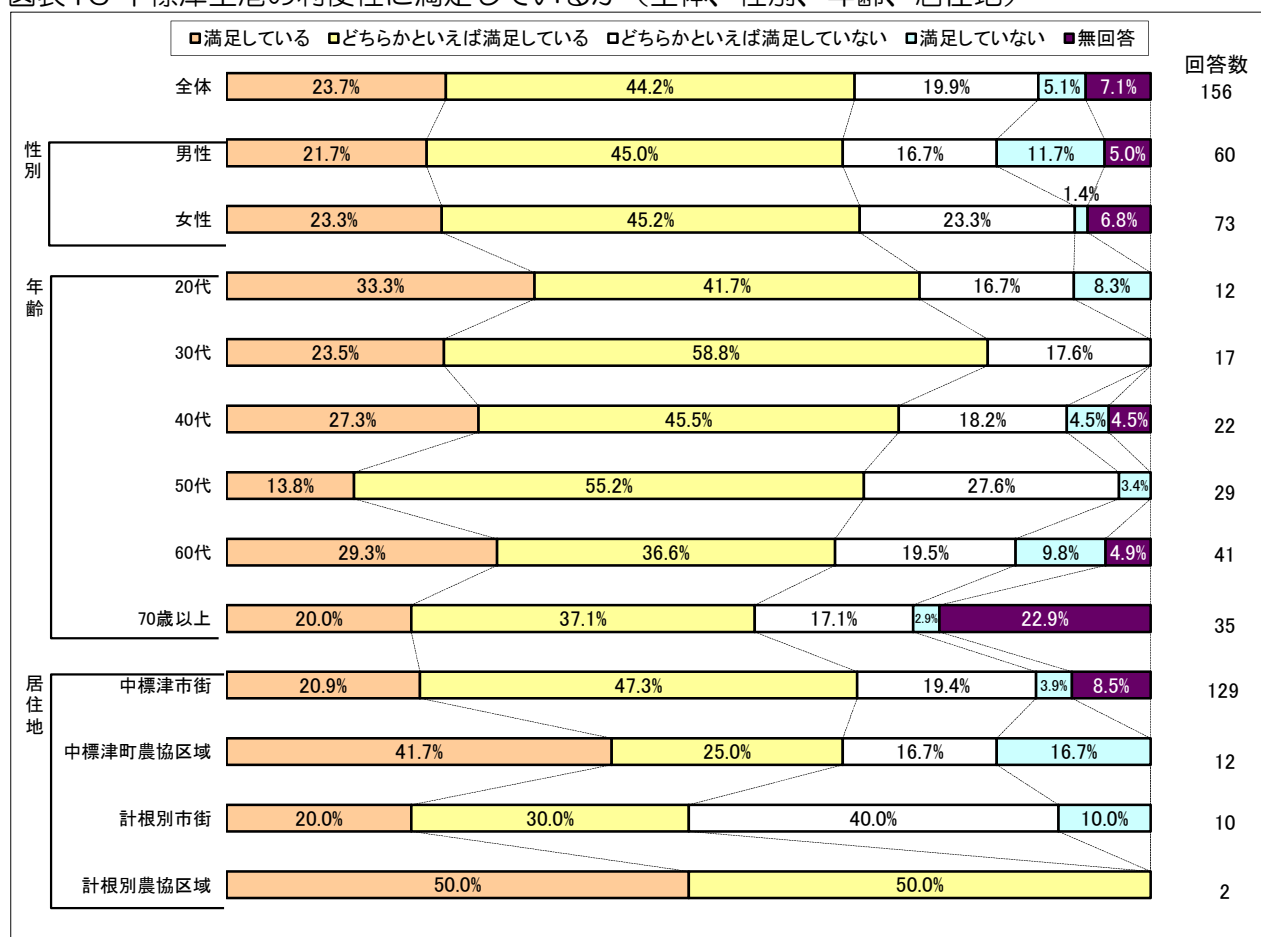
中標津空港の利便性に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(44.2%)これに「満足している」(23.7%)をあわせた“満足している”という人が67.9%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（19.9%）「満足していない」（5.1%）の合計）は25.0%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性（66.7%）、女性（68.5%）となり、男性の方が1.8ポイント低くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は、30代が82.3%と高くなっていますが、70歳以上は57.1%と低くなっています。[図表16参照]

図表16 中標津空港の利便性に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は91ページに掲載しています。

問13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
【複数回答】

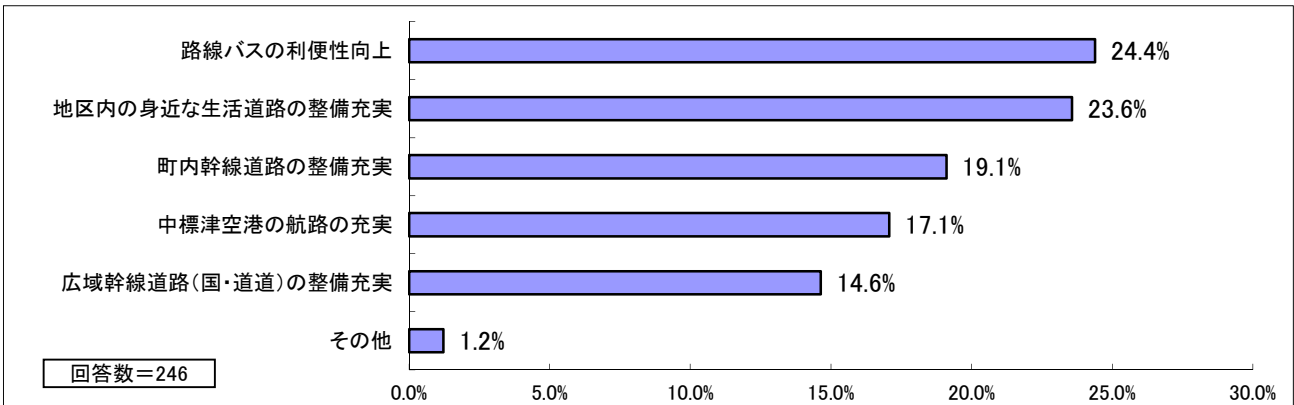
●「路線バスの利便性向上」が第1位。次いで「地区内の身近な生活道路の整備充実」、
「町内幹線道路の整備充実」の順。

町内及びその周辺で必要な道路、交通手段についてたずねたところ、「路線バスの利便性向上」（24.4%）が第1位に挙げられ、次いで「地区内の身近な生活道路の整備充実」（23.6%）、
「町内幹線道路の充実」（19.1%）、「中標津空港の航路の充実」（17.1%）、「広域幹線道路（国・道道）の整備充実（14.6%）」などの順となっています。

年齢別で見ると20代、30代は「中標津空港の航路の充実」、40代と70歳以上は「路線バスの利便性向上」、50代は「町内幹線道路の整備充実」、60代は「地区内の身近な生活道路の整備充実」となっています。

【図表17～18参照】

図表17 今後必要な道路交通手段について（全体／複数回答）



図表18 今後必要な道路交通手段について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	中標津空港の航路の充実 29.4	広域幹線道路（国・道道）の整備充実 （同率1位）29.4	地区内の身近な生活道路の整備充実 23.5
	30代	中標津空港の航路の充実 28.6	地区内の身近な生活道路の整備充実 21.4	同率複数のため省略 —
	40代	路線バスの利便性向上 22.9	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	50代	町内幹線道路の整備充実 26.1	中標津空港の航路の充実 23.9	地区内の身近な生活道路の整備充実 21.7
	60代	地区内の身近な生活道路の整備充実 27.9	路線バスの利便性向上 23.5	町内幹線道路の整備充実 20.6
	70歳以上	路線バスの利便性向上 42.3	地区内の身近な生活道路の整備充実 23.1	町内幹線道路の整備充実 17.3
居 住 地	中標津市街	地区内の身近な生活道路の整備充実 23.5	路線バスの利便性向上 （同率1位）23.5	町内幹線道路の整備充実 20.6
	中標津町農協区域	地区内の身近な生活道路の整備充実 26.3	路線バスの利便性向上 （同率1位）26.3	中標津空港の航路の充実 21.1
	計根別市街	地区内の身近な生活道路の整備充実 28.6	路線バスの利便性向上 （同率1位）28.6	同率複数のため省略 —
	計根別農協区域	路線バスの利便性向上 66.7	中標津空港の航路の充実 33.3	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

スクールゾーン
冬の道の交通

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

● “そう感じる” が89.1%、“そう感じない” が7.7%。

安定して水道水が利用できていると感じるかについてたずねたところ、「そう感じる」(72.4%)に「どちらかといえばそう感じる」(16.7%)を合わせた“そう感じる”人は89.1%となっています。

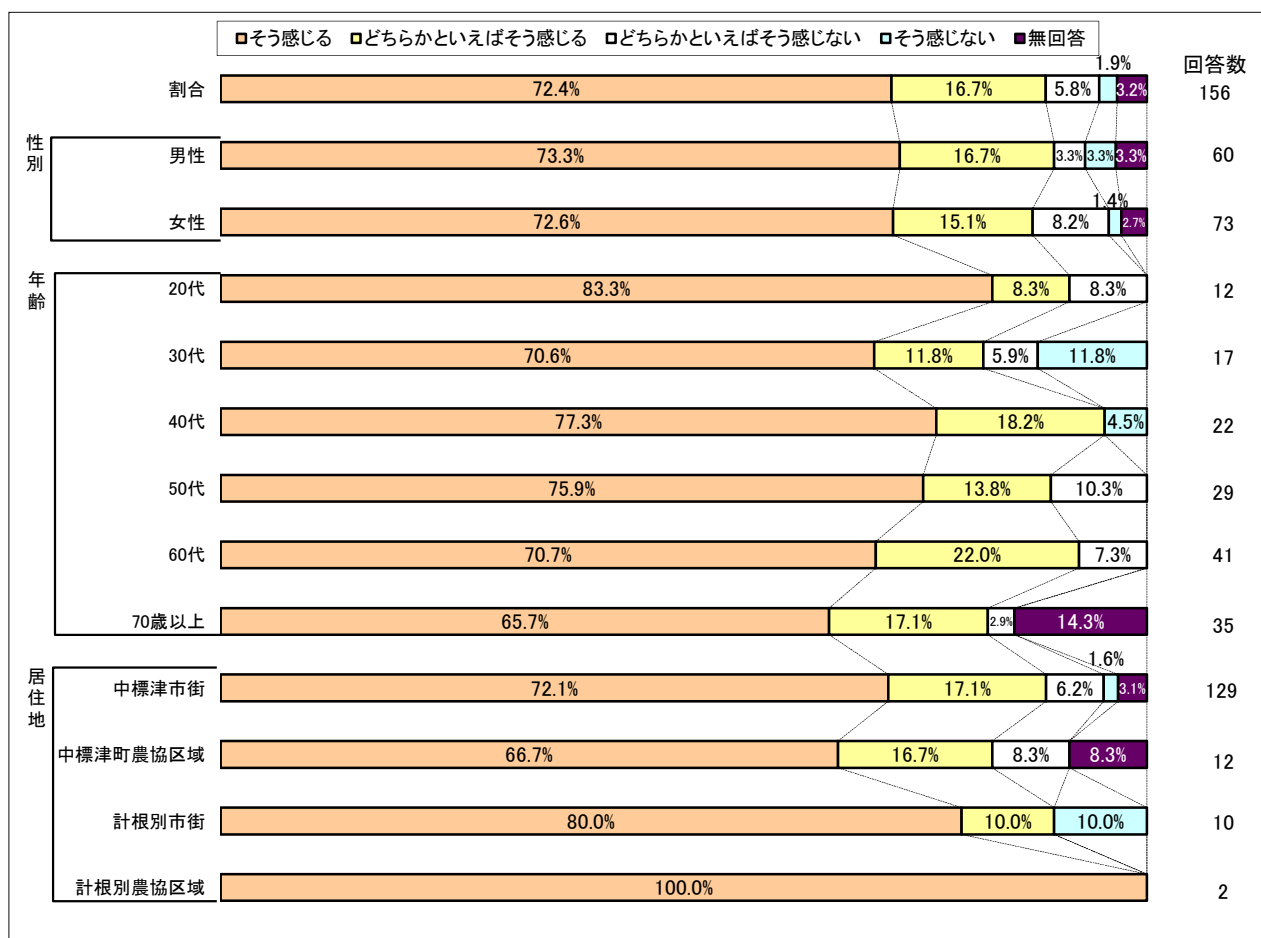
一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(5.8%)「そう感じない」(1.9%)の合計）は7.7%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が90.0%、女性が87.7%と男性が2.3ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は30代と70歳以上が約8割となっていますが、他の年齢層では約9割となっています。

居住地別で“そう感じる”人の割合は計根別農協区域では100%ですが、中標津町農協区域は83.4%と低くなっています。[図表19参照]

図表19 安心して水道水が利用できているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は93ページに掲載しています。

問15 墓地の施設に満足していますか。

● “満足している” が57.7%、“満足していない” が27.6%。

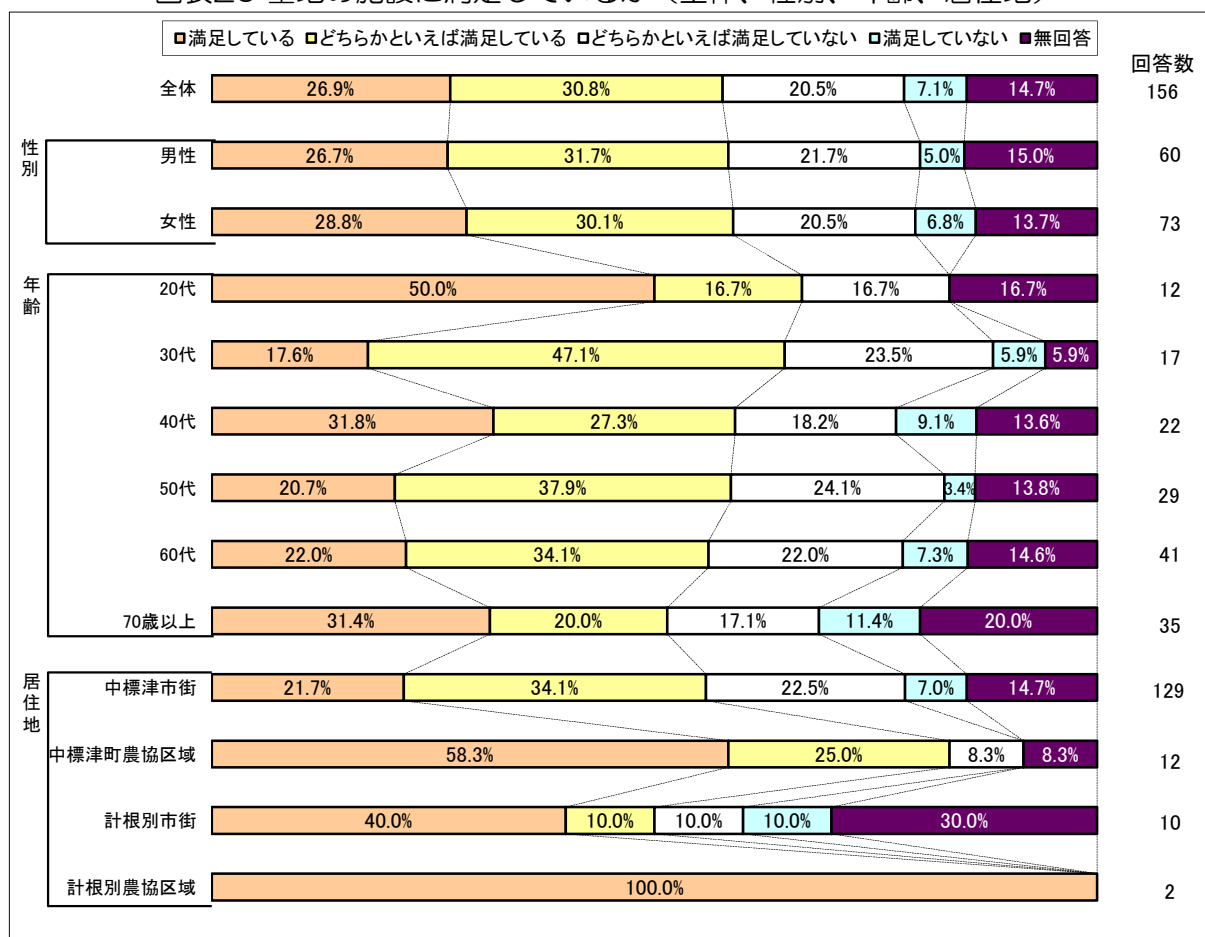
墓地の施設に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(30.8%)、これに「満足している」(26.9%)をあわせた“満足している”という人が57.7%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」（20.5%）「満足していない」（7.1%）の合計）は27.6%となっています。

性別で“満足している”人は男性(58.4%)、女性（58.9%）と女性が0.5ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人は、20代（66.7%）、30代（64.7%）と6割を超えていますが、70歳以上は（51.4%）と低くなっています。[図表20参照]

図表20 墓地の施設に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は93ページに掲載しています。

問16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
【複数回答】

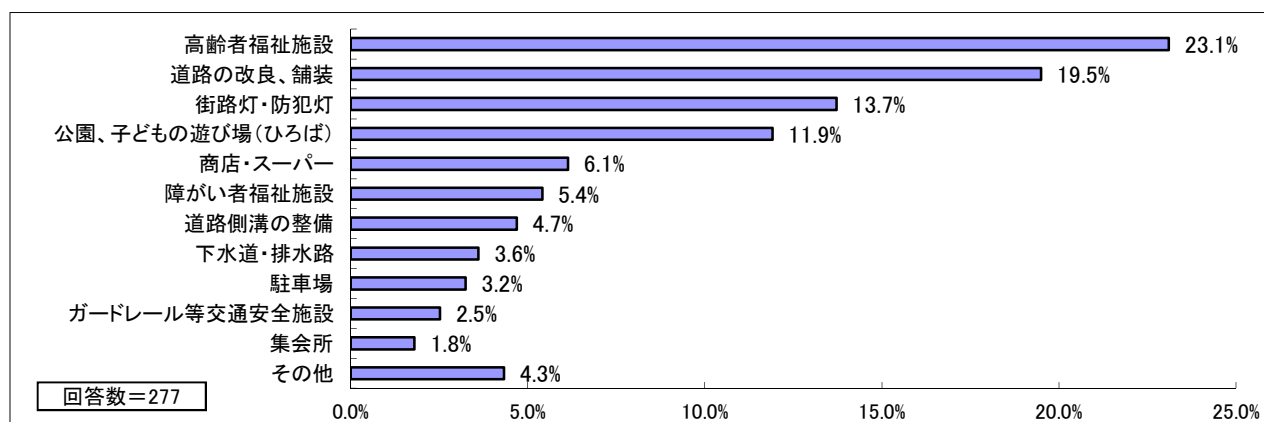
●「高齢者福祉施設」が第1位。次いで「道路の改良、舗装」の順。

今後必要な施設整備についてたずねたところ、「高齢者福祉施設」（23.1%）が第1位に挙げられ、次いで、「道路の改良、舗装」（19.5%）、「街路灯・防犯灯」（13.7%）、「公園、子どもの遊び場（ひろば）」（11.9%）で続き、以下「商店・スーパー」（6.1%）、「障がい者福祉施設」（5.4%）、「道路側溝の整備」（4.7%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代、30代が「公園、子どもの遊び場（ひろば）」、40代は「街路灯・防犯灯」、50代以上の年齢層では「高齢者福祉施設」となっています。

また、居住地別の第1位は、計根別農協区域が複数になっていますが、他の地域では「高齢者福祉施設」となっています。[図表21～22参照]

図表21 今後必要な施設整備について（全体／複数回答）



図表22 今後必要な施設整備について（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	公園、子どもの遊び場 23.5	街路灯・防犯灯 (同率1位) 23.5	同率複数のため省略 —
	30代	公園、子どもの遊び場 28.1	道路の改良、舗装 18.8	同率複数のため省略 —
	40代	街路灯・防犯灯 19.5	高齢者福祉施設 17.1	道路の改良、舗装 14.6
	50代	高齢者福祉施設 27.8	道路の改良、舗装 24.1	街路灯・防犯灯 16.7
	60代	高齢者福祉施設 26.7	道路の改良、舗装 20.0	街路灯・防犯灯 13.3
	70歳以上	高齢者福祉施設 31.0	道路の改良、舗装 19.0	同率複数のため省略 —
居 住 地	中標津市街	高齢者福祉施設 22.6	道路の改良、舗装 20.8	街路灯・防犯灯 15.5
	中標津町農協区域	高齢者福祉施設 27.3	道路の改良、舗装 22.7	道路側溝の整備 18.2
	計根別市街	高齢者福祉施設 26.3	公園、子どもの遊び場 21.1	商店・スーパー (同率2位) 21.1
	計根別農協区域	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

滞在できる施設、体験施設
子どもの通学路
中高生が楽しめる気軽にスポーツができる施設が必要。
若い人材を育成する施設が必要
合同墓地の整備
低料金の養老院
ゴミ捨て
へき地にも子育て支援団体の施設を
交通手段（バス、タクシー等）
公衆便所の整備
自転車専用通路

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ（住環境）である」と感じますか。

● “そう感じる” が75.6%、 “そう感じない” が21.8%。

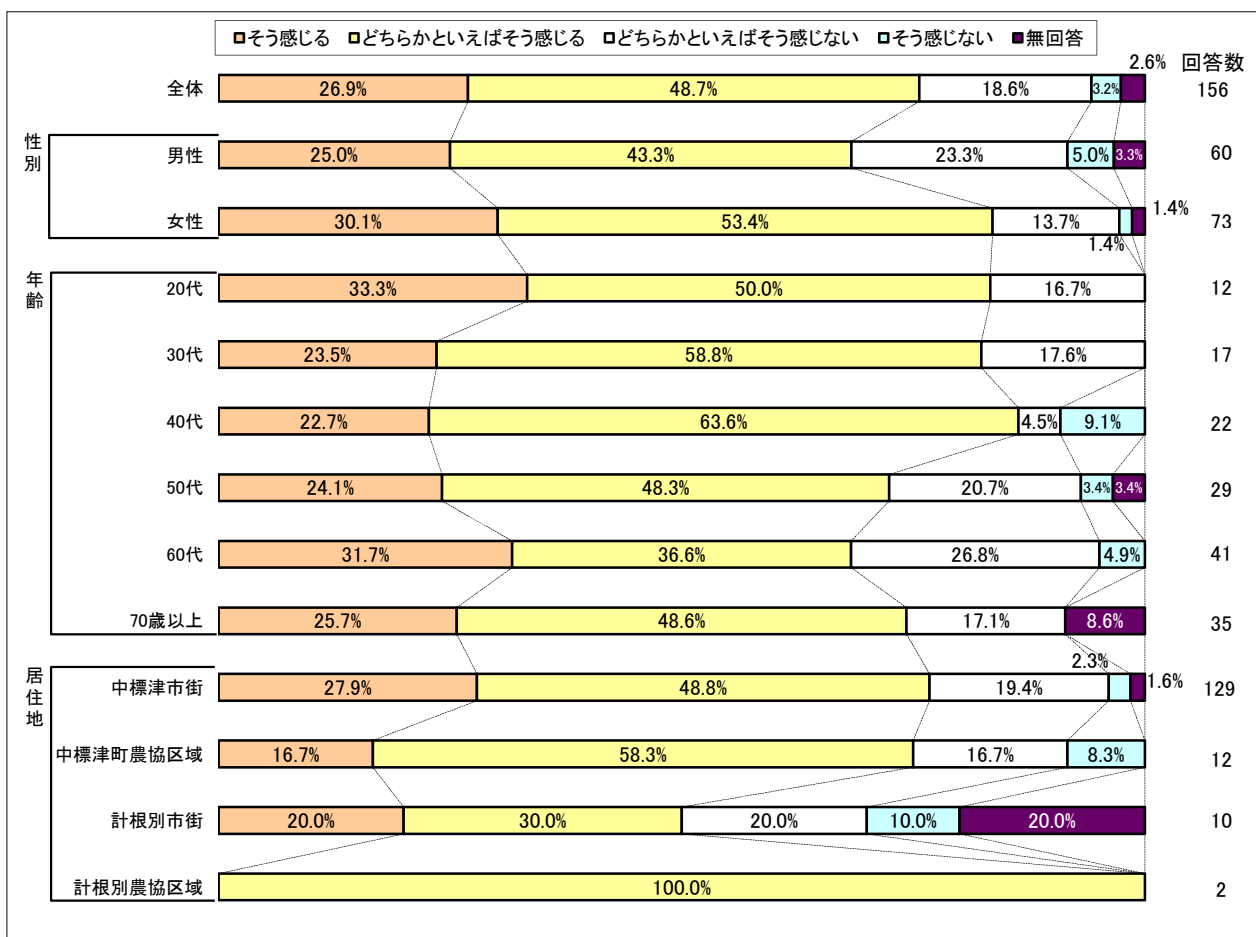
お住まいの地域は、良好なまちなみ（住環境）であると感じるかについてたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（48.7%）に「そう感じる」（26.9%）を合わせた “そう感じる” は75.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（18.6%）「そう感じない」（3.2%）の合計）は21.8%となっています。

性別で “そう感じる” 人の割合は男性が68.3%、女性が83.5%と女性が15.2ポイント上回っています。

年齢別の “そう感じる” 人の割合は40代が86.3%と高くなっていますが60代では68.3%と低くなっています。[図表23参照]

図表23 住んでいる地域は良好なまちなみと感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は94ページに掲載しています。

問18 地域の自然環境や生活環境を保全するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

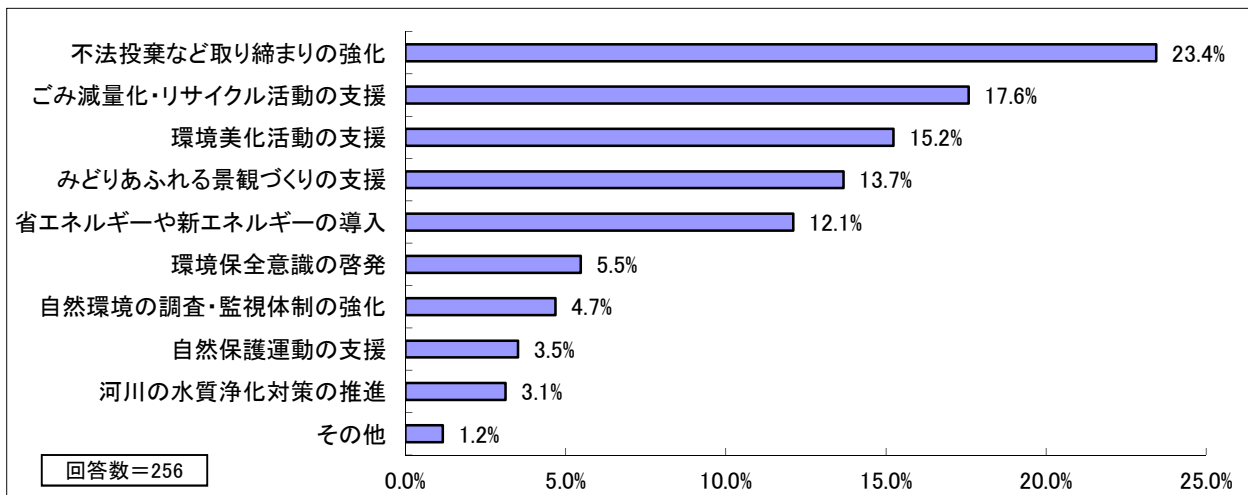
●「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位。「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」が続く。

自然環境や生活環境を保全するために必要な取り組みについてたずねたところ、「不法投棄など取り締まりの強化」（23.4%）が第1位に挙げられ、次いで「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」（17.6%）、「環境美化活動の支援」（15.2%）、「みどりあふれる景観づくりの支援」（13.7%）などの順となっています。

年齢別でみると30代は「環境美化活動の支援」、40代と70歳以上は「ごみ減量化・リサイクル活動の支援」、その他の年代では、「不法投棄など取り締まりの強化」が第1位となっています。

【図表24～25参照】

図表24 自然環境や生活環境の保全について（全体／複数回答）



図表25 今後必要な施設整備について（全体、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
全 体		不法投棄などの取り締まりの強化 23.4	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 17.6	環境美化活動の支援 15.2
年 齢	20代	不法投棄など取り締まりの強化 31.6	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 15.8	省エネルギーや新エネルギーの導入 (同率2位) 15.8
	30代	環境美化活動の支援 23.3	不法投棄など取り締まりの強化 20.0	みどりあふれる景観づくりの支援 (同率2位) 20.0
	40代	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 22.2	環境美化活動の支援 19.4	不法投棄など取り締まりの強化 (同率2位) 19.4
	50代	不法投棄など取り締まりの強化 34.0	みどりあふれる景観づくりの支援 14.9	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 12.8
	60代	不法投棄など取り締まりの強化 22.2	省エネルギーや新エネルギーの導入 18.1	環境美化活動の支援 16.7
	70歳以上	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 26.9	不法投棄など取り締まりの強化 17.3	同率複数のため省略 —
	中標津市街	不法投棄など取り締まりの強化 23.1	ごみ減量化・リサイクル活動の支援 18.9	環境美化活動の支援 15.6
居 住 地	中標津町農協区域	不法投棄など取り締まりの強化 28.6	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別市街	不法投棄など取り締まりの強化 21.4	自然保護運動の支援 (同率1位) 21.4	同率複数のため省略 —
	計根別農協区域	不法投棄など取り締まりの強化 (同率1位) 33.3	みどりあふれる景観づくりの支援 (同率1位) 33.3	自然保護運動の支援 (同率1位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

熊の駆除

問19 日常生活でインターネットなどを活用していますか。

● “活用している” が57.7%、“活用していない” が39.1%。

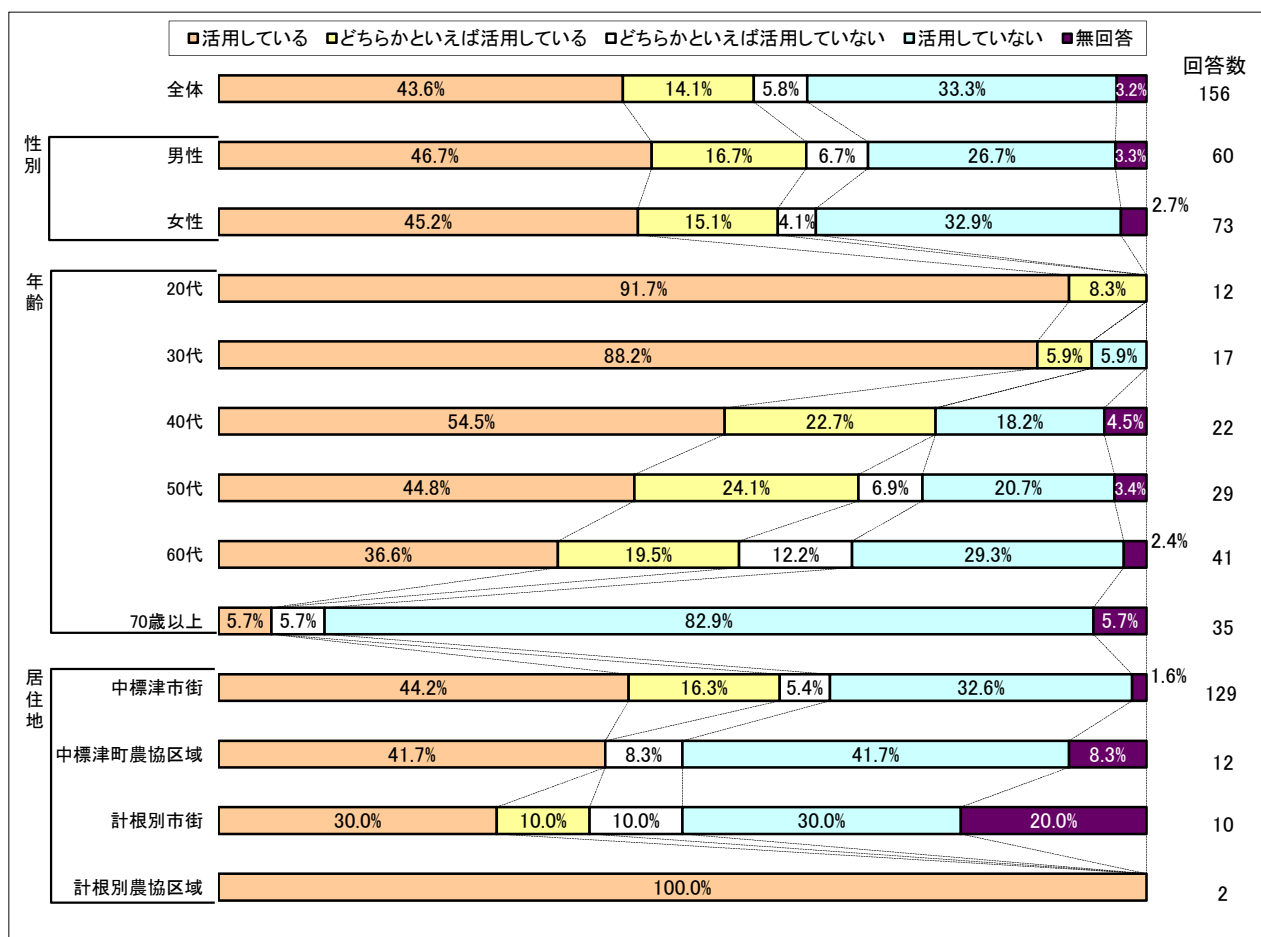
日常生活でインターネットなど活用しているかたずねたところ、「活用している」（43.6%）に「どちらかといえば活用している」（14.1%）を合わせた57.7%の人が“活用している”と回答しています。

一方、“活用していない”（「活用していない」（33.3%）「どちらかといえば活用していない」（5.8%）の合計）人は39.1%となっています。

性別で“活用している”人は男性が63.4%、女性が60.3%と男性が3.1ポイント上回っています。

年齢別では若いほどインターネットを活用している人が多く、20代では100.0%となっていますが、一方で70歳以上では5.7%と低くなっています。[図表26参照]

図表26 インターネットの活用について（全体、性別、年齢、居住地）

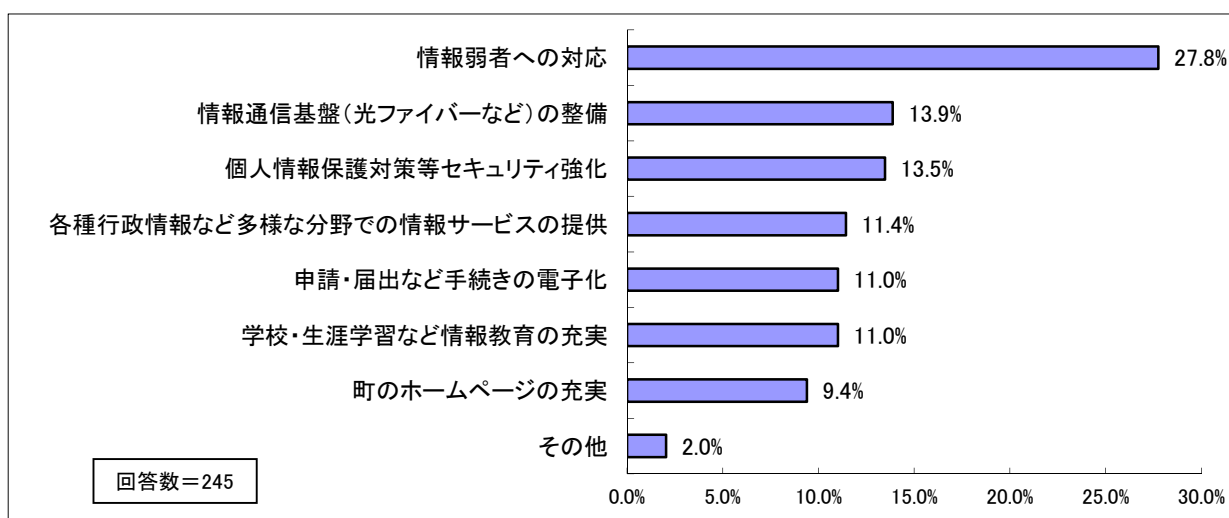


問20 インターネットを活用した社会に対応するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。【複数回答】

●「情報弱者への対応」が第1位。次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」の順。

インターネットを活用した社会に対応するため、今後の必要な取り組みについてたずねたところ、「情報弱者への対応」（27.8%）が第1位に挙げられ、次いで「情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備」（13.9%）、「個人情報保護対策等セキュリティ強化」（13.5%）、「各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供」（11.4%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、全ての世代で「情報弱者への対応」となっています。居住地別で見ると、中標津市街以外は「情報通信基盤の整備」が1位となっています。[図表27～28参照]
図表27 インターネット活用に対する今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表28 インターネット活用に対する今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	情報弱者への対応 25.0	情報通信基盤の整備 20.8	個人情報保護対策等セキュリティ強化 12.5
	30代	情報弱者への対応 17.6	情報通信基盤の整備 (同率1位) 17.6	個人情報保護対策等セキュリティ強化 (同率1位) 17.6
	40代	情報弱者への対応 23.5	学校・生涯学習など情報教育の充実 20.6	申請・届出など手続きの電子化 17.6
	50代	情報弱者への対応 35.4	個人情報保護対策等セキュリティ強化 20.8	情報通信基盤の整備 14.6
	60代	情報弱者への対応 26.5	個人情報保護対策等セキュリティ強化 17.6	同率複数のため省略
	70歳以上	情報弱者への対応 35.1	学校・生涯学習など情報教育の充実 16.2	同率複数のため省略
居 住 地	中標津市街	情報弱者への対応 29.4	個人情報保護対策等セキュリティ強化 15.7	各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供 13.2
	中標津町農協区域	情報通信基盤の整備 38.9	学校・生涯学習など情報教育の充実 16.7	情報弱者への対応 (同率2位) 16.7
	計根別市街	情報通信基盤の整備 28.6	情報弱者への対応 (同率1位) 28.6	町のホームページの充実 21.4
	計根別農協区域	情報通信基盤の整備 66.7	申請・届出など手続きの電子化 33.3	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

シンククライアントPCの貸与
インターネットに関心がないから
高齢者には無理
公営住宅を光回線にしてほしい。

問21 日頃から家庭で災害（地震や風雪災害など）への備えをしていますか。

● “している” が37.2%、“していない” が60.9%。

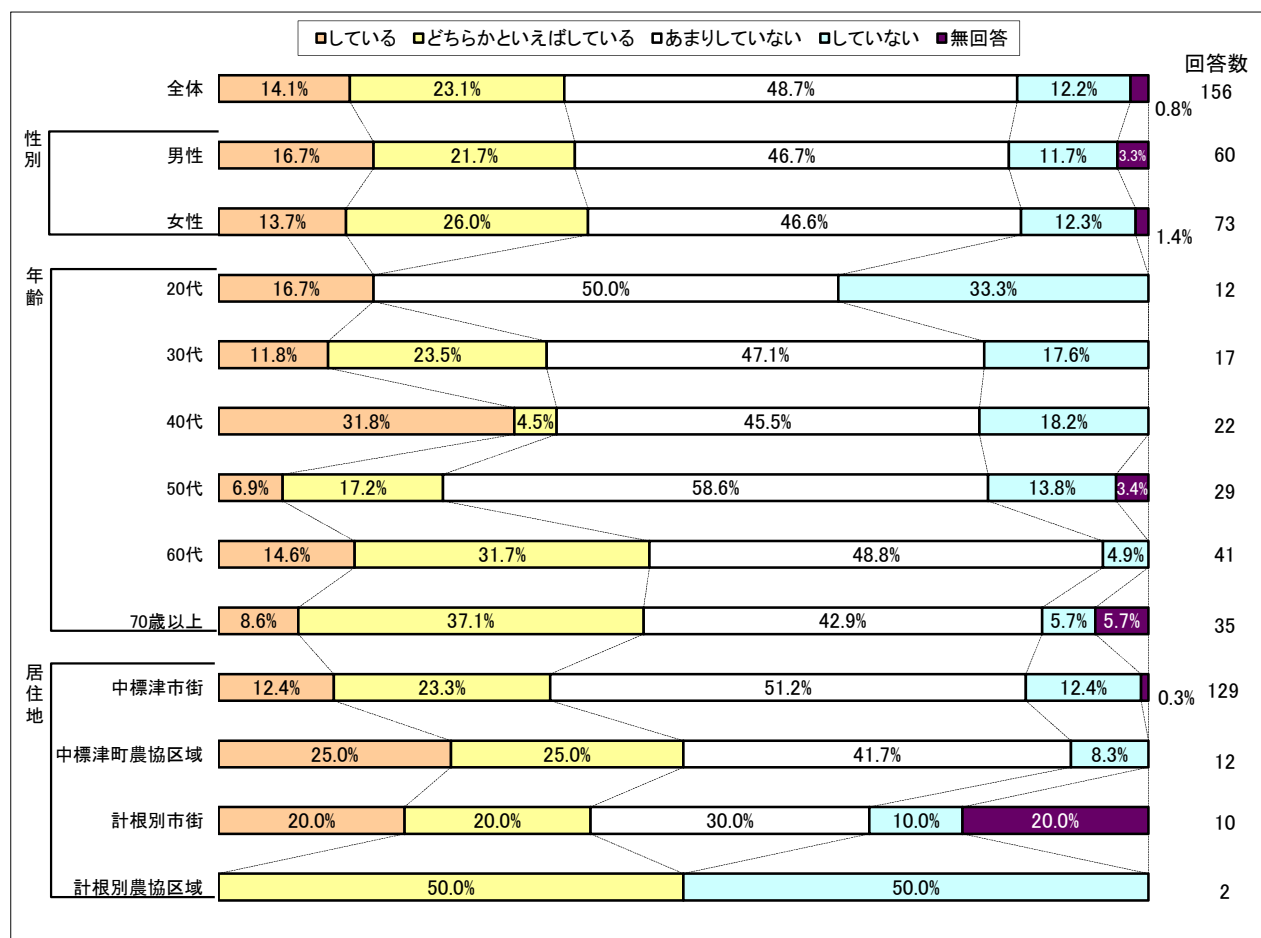
日頃から家庭で災害への備えをしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」（23.1%）に「している」（14.1%）を合わせた“している”人の割合は37.2%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」（48.7%）「していない」（12.2%）の合計）は60.9%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が38.4%、女性が39.7%と女性が1.3ポイント上回っています。

年齢別では20代が16.7%と一番低く、46.3%と一番高い60代とは約30%の差が出ています。[図表29参照]

図表29 日頃から家庭で災害への備えをしているか（全体、性別、年齢、居住地）



問22 地域や企業などでの防犯活動に参加していますか。

● “参加している” が19.3%、“参加していない” が76.9%。

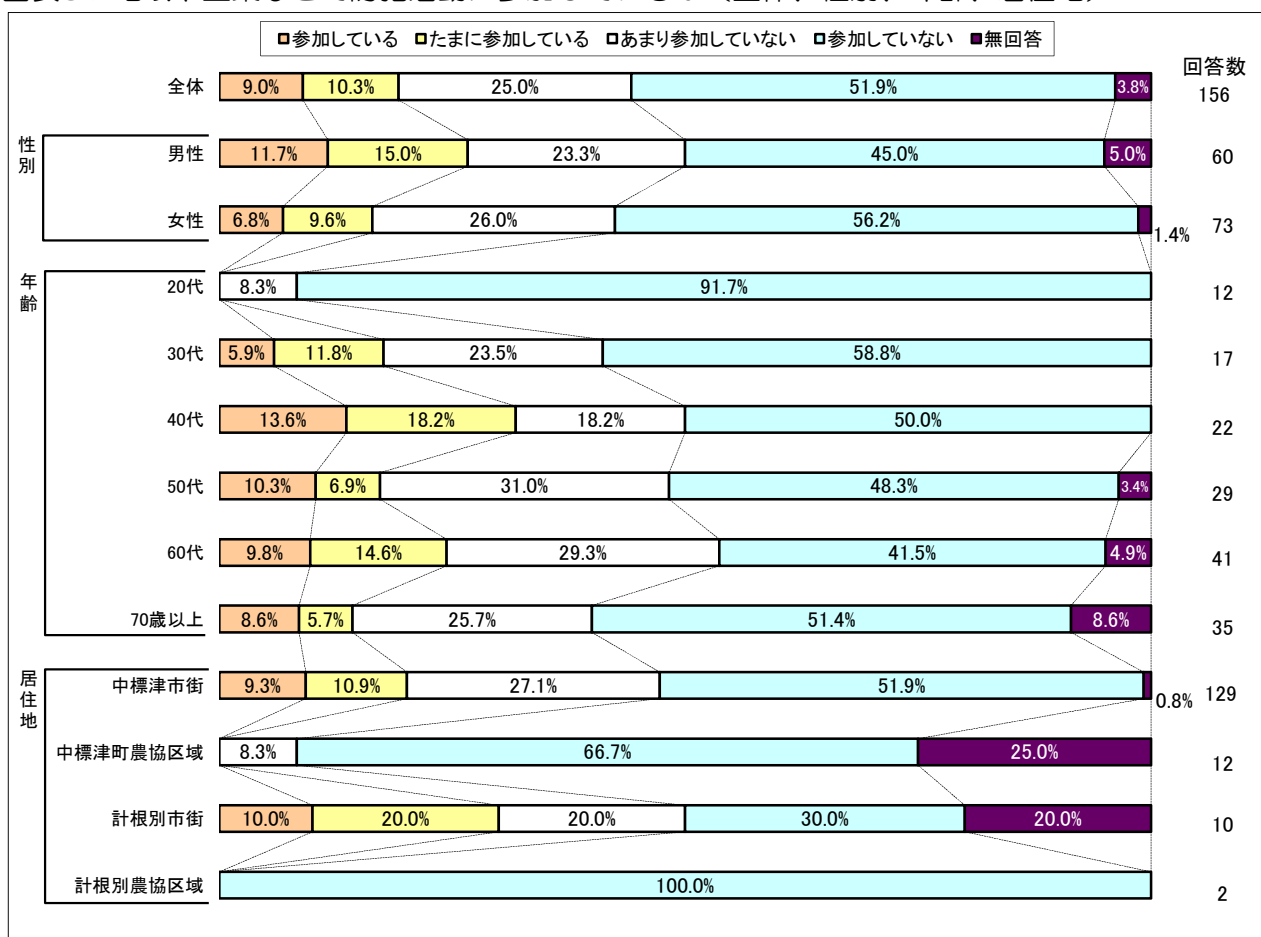
地域や企業などの防犯活動に参加しているかたずねたところ、「たまに参加している」（10.3%）に「参加している」（9.0%）を合わせた“参加している”人は19.3%となっています。

一方、“参加していない”（「参加していない」（51.9%）「あまり参加していない」（25.0%）の合計）は76.9%となっています。

性別で“参加している”人の割合は男性が26.7%、女性が16.4%と男性が10.3ポイント上回っています。

年齢別で“参加している”人が多いのが40代の31.8%となっていますが、一方20代では0%となっています。【図表30参照】

図表30 地域や企業などで防犯活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】



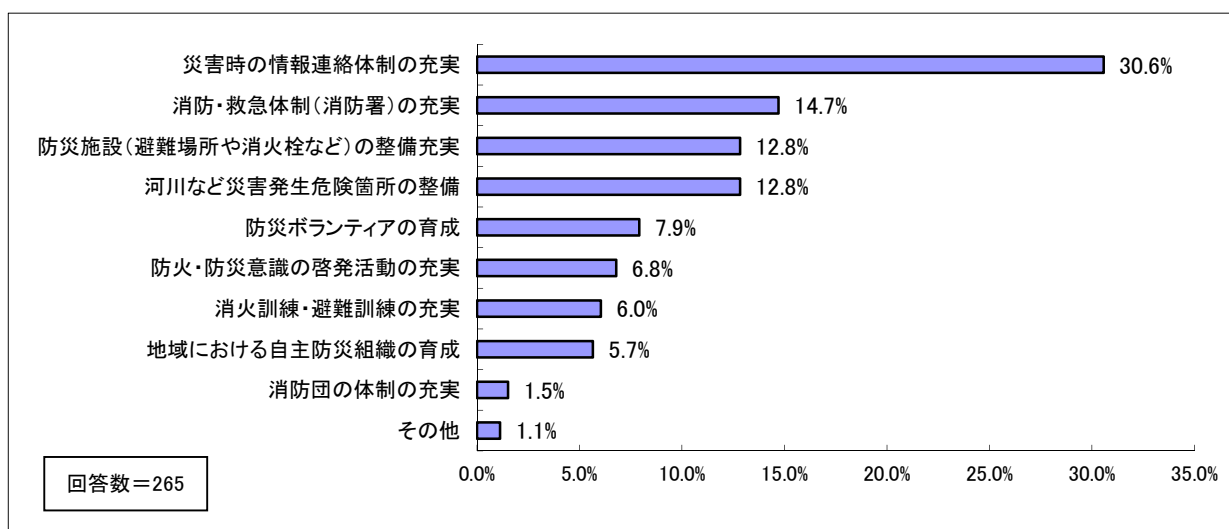
●「災害時の情報連絡体制の充実」が第1位。次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」、「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」の順。

消防・防災対策について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「災害時の情報連絡体制の充実」（30.6%）が第1位に挙げられ、次いで「消防・救急体制（消防署）の充実」（14.7%）、「防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実」（12.8%）、「河川など災害発生危険箇所の整備」（12.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、全ての世代において「災害時の情報連絡体制の充実」となっています。

【図表31～32参照】

図表31 消防・防災対策の今後の取り組みについて（全体／複数回答）



図表32 消防・防災対策の今後の取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	災害時の情報連絡体制の充実 33.3	地域における自主防災組織の育成 16.7	河川など災害発生危険箇所の整備 (同率2位) 16.7
	30代	災害時の情報連絡体制の充実 33.3	河川など災害発生危険箇所の整備 15.2	消防・救急体制の充実 12.1
	40代	災害時の情報連絡体制の充実 33.3	消防・救急体制の充実 25.0	防災施設の整備充実 13.9
	50代	災害時の情報連絡体制の充実 30.8	河川など災害発生危険箇所の整備 17.3	同率複数のため省略 —
	60代	災害時の情報連絡体制の充実 31.9	防災施設の整備充実 16.7	同率複数のため省略 —
	70歳以上	災害時の情報連絡体制の充実 24.1	消防・救急体制の充実 16.7	防災施設の整備充実 13.0
居 住 地	中標津市街	災害時の情報連絡体制の充実 31.8	消防・救急体制の充実 13.6	同率複数のため省略 —
	中標津町農協区域	災害時の情報連絡体制の充実 27.3	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別市街	災害時の情報連絡体制の充実 35.7	防災施設の整備充実 21.4	消防・救急体制の充実 14.3
	計根別農協区域	消防・救急体制の充実 33.3	防火・防災意識の啓発活動の充実 (同率1位) 33.3	河川など災害発生危険箇所の整備 (同率1位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

以前は参加していたが、今は活動していない。

今のままでよいと思います。

問24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。

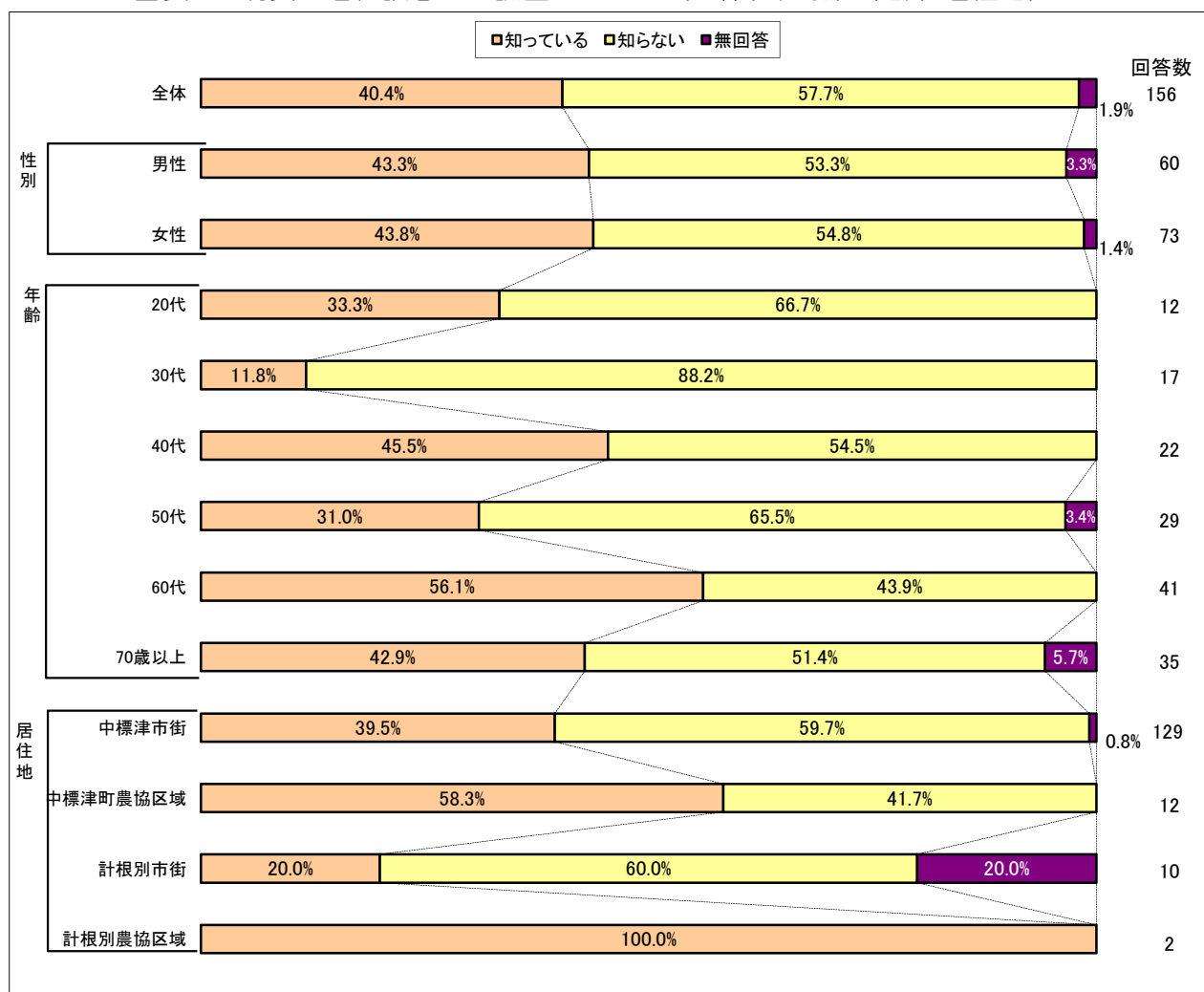
●「知っている」が40.4%。「知らない」が57.7%。

消費生活相談の窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は40.4%となっているのに対し「知らない」と回答した人は57.7%と知らない人が上回っています。

性別で「知っている」と回答した人は男性が43.3%、女性は43.8%と女性が0.5ポイント上回っています。

年齢別では60代では56.1%と半数を超える人が知っていますが、30代では11.8%と低くなっています。[図表33参照]

図表33 消費生活相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住地）



問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が52.6%、“そう感じない” が39.7%。

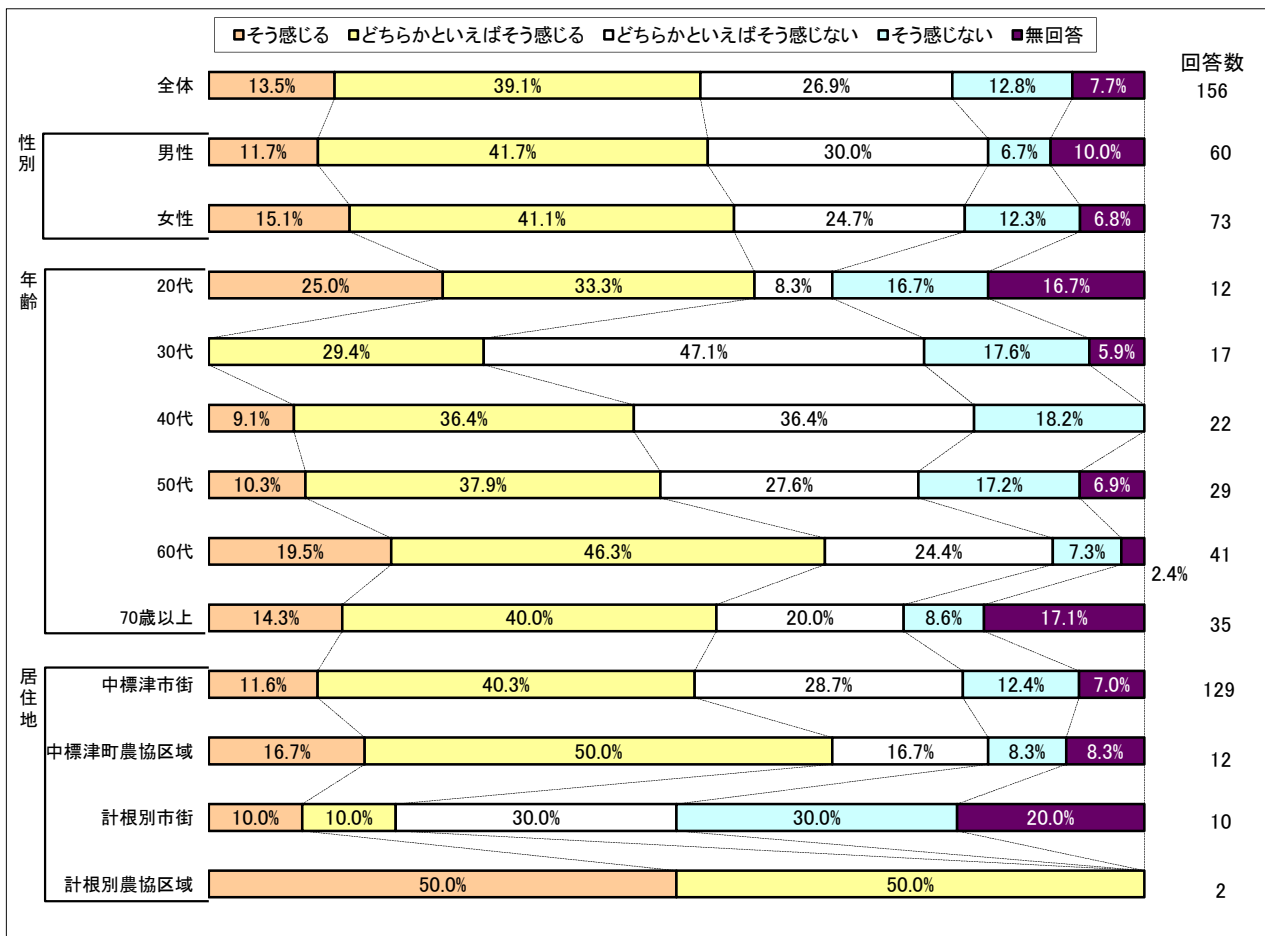
健康保険や年金の制度に関し、知りたい情報を得られているかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（39.1%）これに「そう感じる」(13.5%)をあわせた“そう感じる”という人が52.6%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(26.9%)、「そう感じない」(12.8%）の合計）は39.7%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が53.4%、女性が56.2%と女性が2.8ポイント上回っています。

年齢別で“そう感じる”人が多いのは60代で65.8%となっていますが、30代では、29.4%と低くなっています。[図表34参照]

図表34 健康保険や年金の制度の情報について得られているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は95ページに掲載しています。

(3) 環境問題への取り組みについて

問26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。

● “意識している” が74.4%、“意識していない” が24.4%。

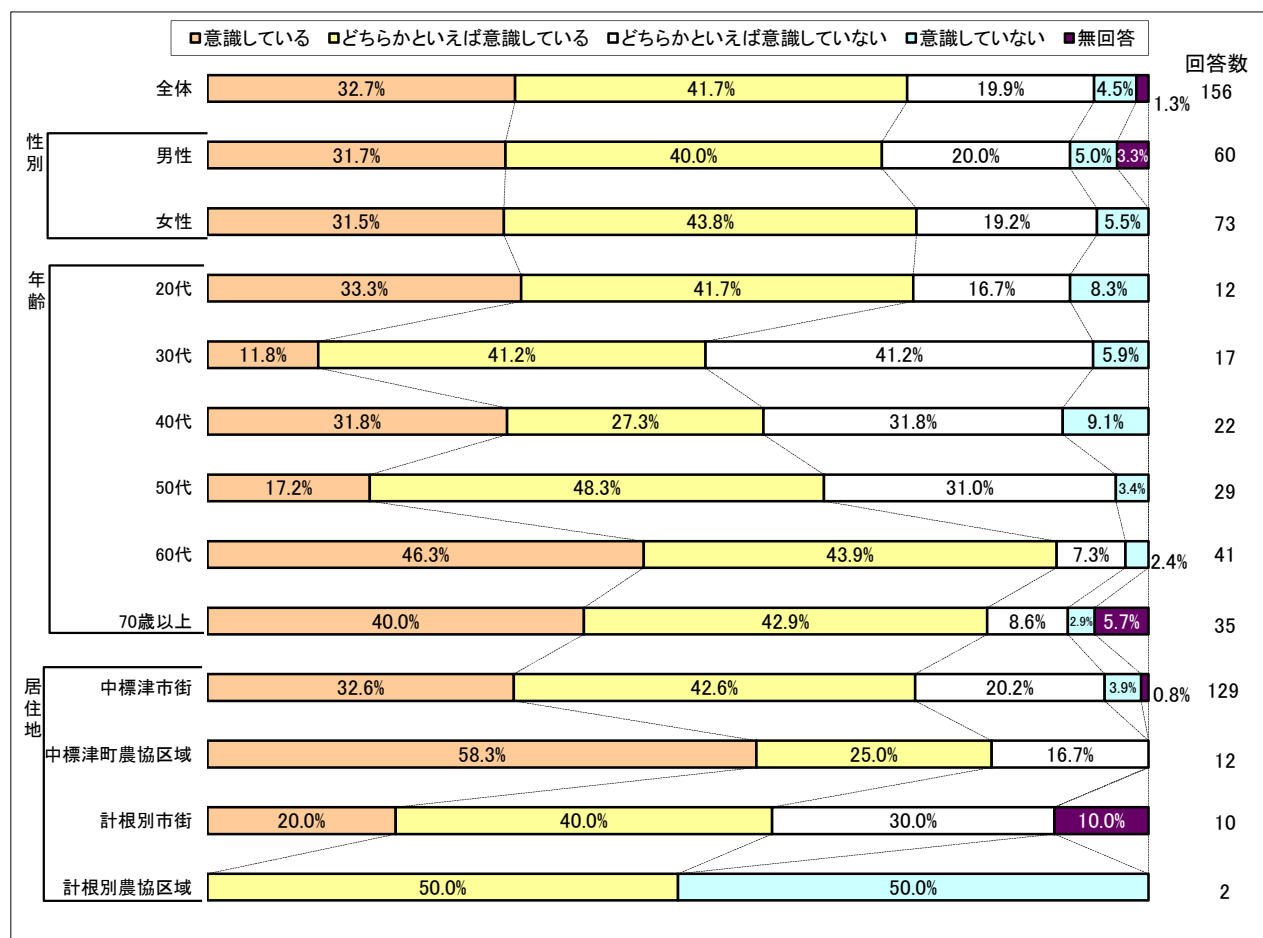
環境問題への取り組みについてたずねたところ、「どちらかといえば意識している」(41.7%)これに「意識している」(32.7%)をあわせた“意識している”という人が74.4%となっています。

一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(19.9%)、「意識していない」(4.5%）の合計）は24.4%となっています。

性別で“意識している”人の割合をみると男性が71.7%、女性が75.3%と女性が3.6ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は60代が90.2%と高くなっていますが、30代は53.0%となっています。[図表35参照]

図表35 環境問題について意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している” が64.7%、 “していない” が32.0%。

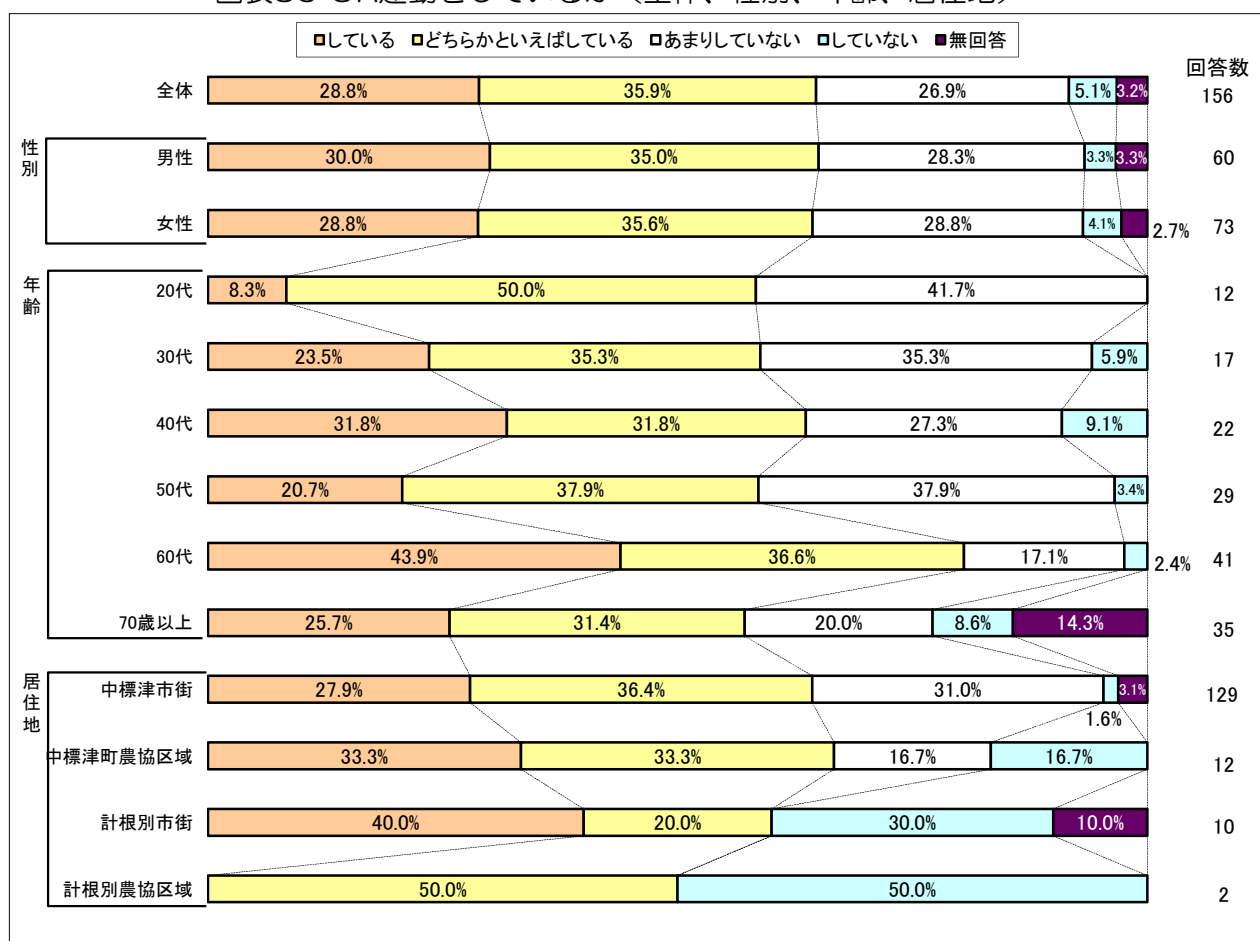
3R運動（リデュース・リユース・リサイクル）をしているかたずねたところ、「どちらかといえばしている」(35.9%)これに「している」（28.8%）をあわせた“している”という人は64.7%となっています。

一方、“していない”（「あまりしていない」(26.9%)、「していない」(5.1%）の合計）は32.0%となっています。

性別で“している”人の割合は男性が65.0%、女性が64.4%と男性が0.6ポイント上回っています。

年齢別の“している”人の割合は60代が80.5%と高くなっていますが、70歳以上は57.1%と低くなっています。[図表36参照]

図表36 3R運動をしているか（全体、性別、年齢、居住地）



(4) 産業振興について

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

● “そう感じる” が69.9%、“そう感じない” が27.6%。

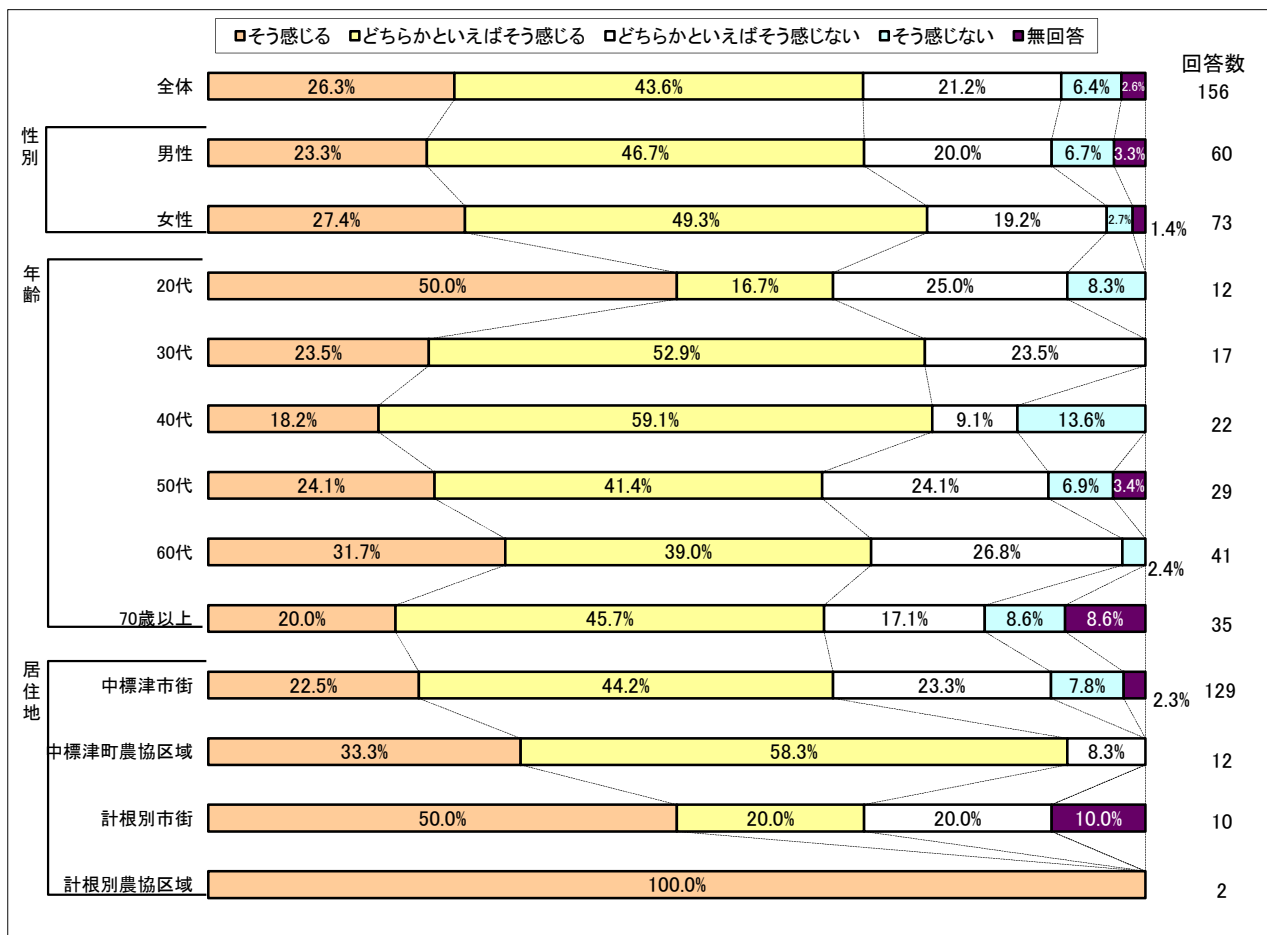
地元の農畜産物を身近に感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（43.6%）これに「そう感じる」（26.3%）をあわせた“そう感じる”人は69.9%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(21.2%)、「そう感じない」(6.4%)の合計）人は27.6%となっています。

性別で“そう感じる”人をみると男性が70.0%、女性が76.7%と女性が6.7ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合はすべての年齢層で5割を超えています、40代が一番多く77.3%となっています。【図表37参照】

図表37 地元の農産物は身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は96ページに掲載しています。

問29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。

● “参加している” が5.8%、“参加していない” 93.0%。

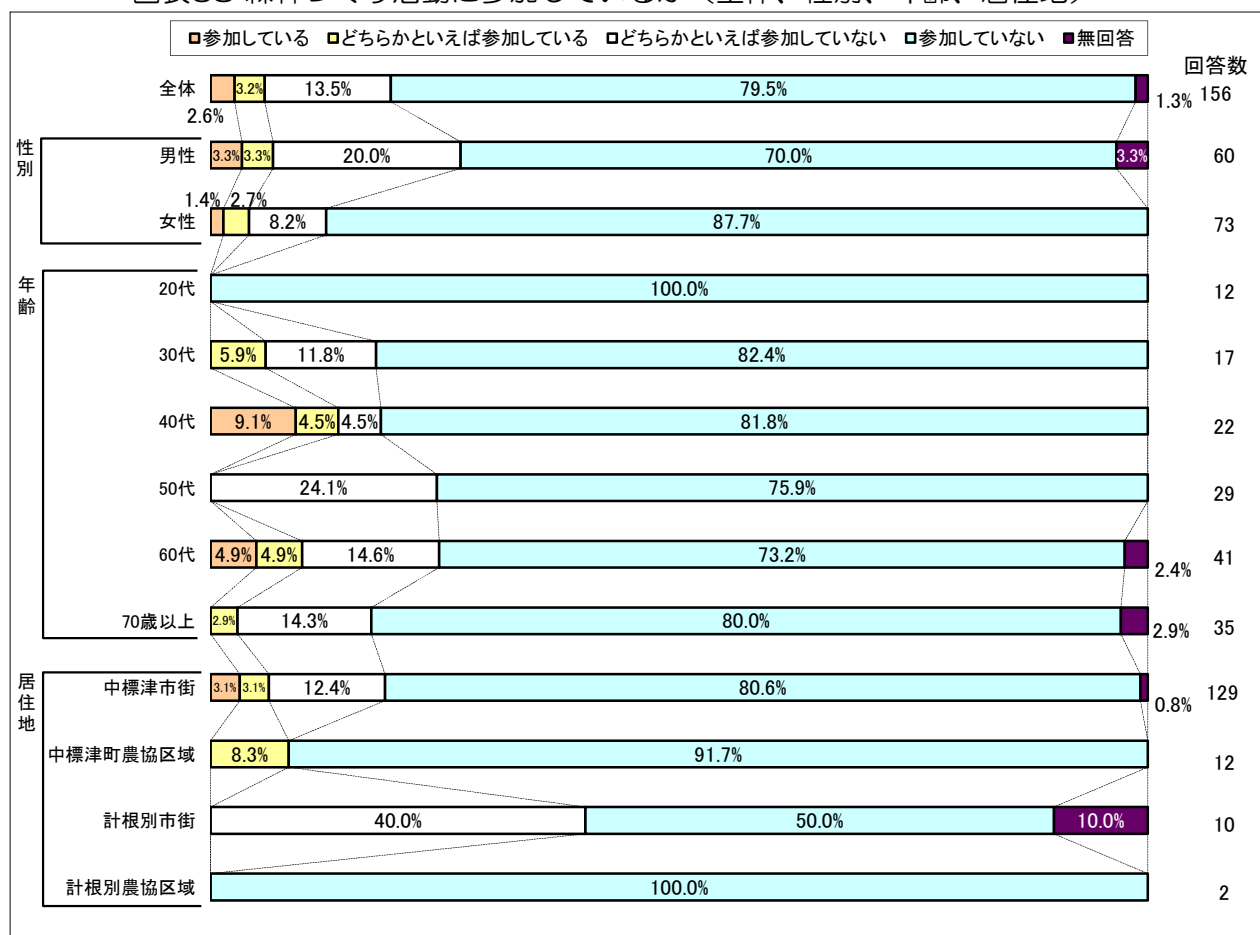
森林づくり活動に参加しているかたずねたところ、「どちらかといえば参加している」(3.2%)
これに「参加している」(2.6%)をあわせた“参加している”人は5.8%となっています。

一方、“参加していない”（「参加していない」79.5%）、「どちらかといえば参加していない」（13.5%）の合計）は93.0%となっています。

性別で“参加している”人は男性が6.6%、女性が4.1%と男性が2.5ポイント上回っています。

年齢別の“参加している”人の割合は40代が13.6%となっていますが、50代では“参加している”と回答された方はいませんでした。[図表38参照]

図表38 森林づくり活動に参加しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問30 地元で買い物することを意識していますか。

● “意識している” が77.6%、“意識していない” が21.2%。

地元で買い物することを意識しているかたずねたところ、「意識している」(49.4%)これに「どちらかといえば意識している」(28.2%)をあわせた“意識している”という人が77.6%となっています。

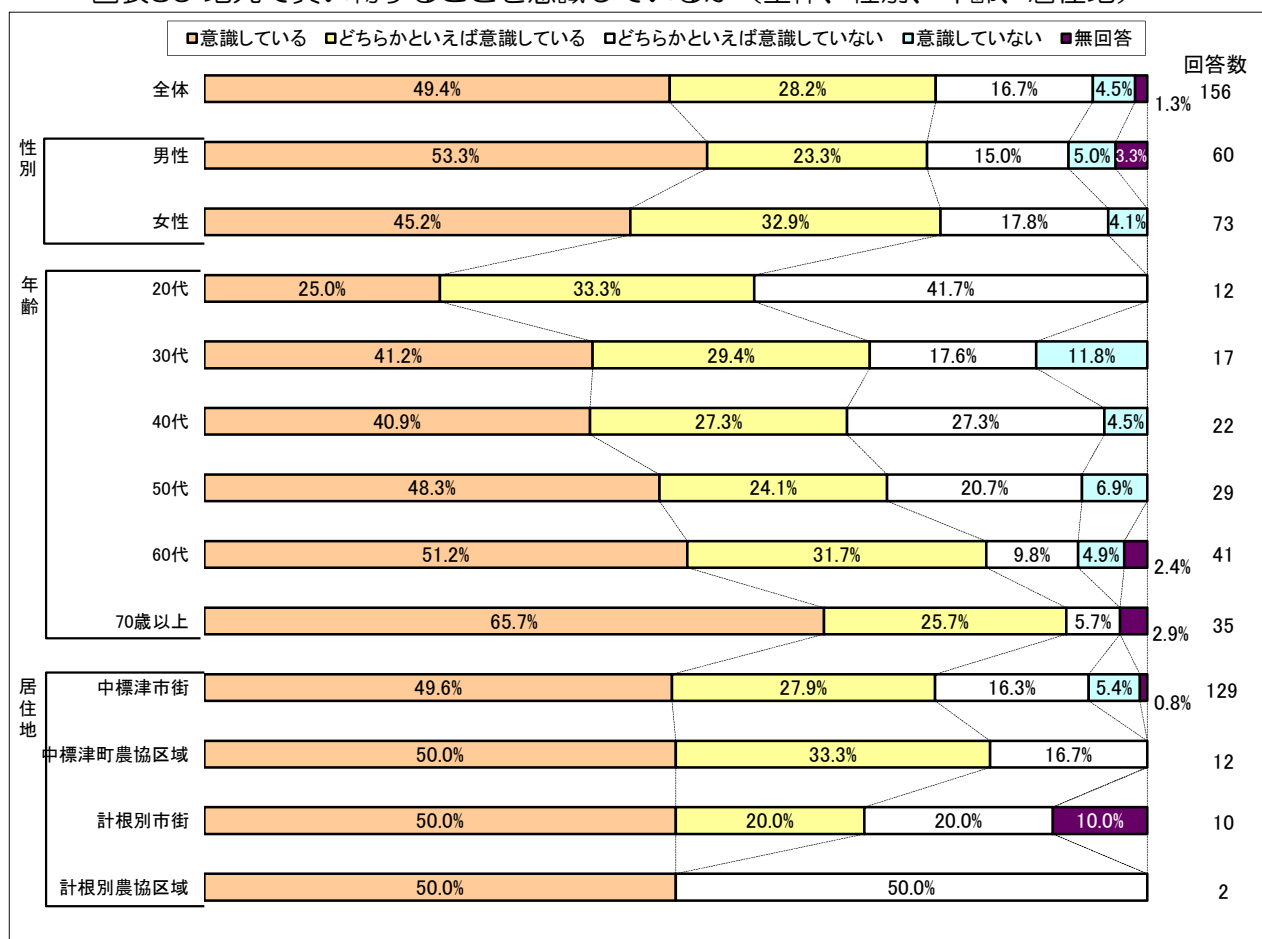
一方、“意識していない”（「どちらかといえば意識していない」(16.7%)、「意識していない」(4.5%)の合計）は21.2%となっています。

性別で“意識している”人の割合は男性が76.6%、女性が78.1%と女性が1.5ポイント上回っています。

年齢別の“意識している”人の割合は70歳以上では91.4%となっていますが、20代は58.3%となっています。

居住地別の“意識している”人の割合は中標津町農協区域が83.3%となっていますが、計根別農協区域の人は50.0%となっています。[図表39参照]

図表39 地元で買い物することを意識しているか（全体、性別、年齢、居住地）



問31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
【複数回答】



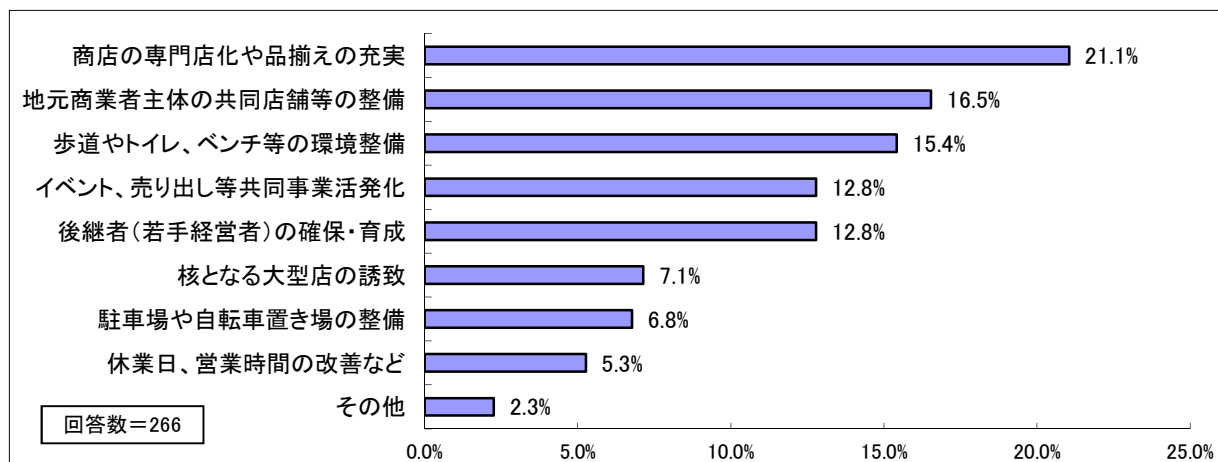
●「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位。次いで「地元商業者主体の共同店舗等の整備」、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」が続く。

町の商業振興について、今後の必要な取り組みをたずねたところ、「商店の専門店化や品揃えの充実」(21.1%)が第1位に挙げられ、次いで「地元商業者主体の共同店舗等の整備」(16.5%)、「歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備」(15.4%)、「イベント、売り出し等共同事業活発化」(12.8%)、「後継者(若手経営者)の確保・育成」(12.8%)などの順となっています。

年齢別では、50代、70歳以上以外の年代で「商店の専門店化や品揃えの充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位は中標津地域が「商店の専門店化や品揃えの充実」、計根別地域が「地元商業者主体の共同店舗等の整備」となっています。[図表40～41参照]

図表40 商業振興について必要な今後の取り組み(全体/複数回答)



図表41 商業振興について必要な今後の取り組み(年齢、居住地/複数回答) (上位3位 %)

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	商店の専門店化や品揃えの充実 33.3	イベント、売り出し等共同事業活発化 19.0	同率複数のため省略 —
	30代	商店の専門店化や品揃えの充実 20.0	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 16.7	後継者の確保・育成 (同率2位) 16.7
	40代	商店の専門店化や品揃えの充実 22.2	地元商業者主体の共同店舗等の整備 19.4	イベント、売り出し等共同事業活発化 (同率2位) 19.4
	50代	地元商業者主体の共同店舗等の整備 19.2	後継者の確保・育成 17.3	同率複数のため省略 —
	60代	商店の専門店化や品揃えの充実 25.4	地元商業者主体の共同店舗等の整備 16.9	同率複数のため省略 —
	70歳以上	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 25.0	地元商業者主体の共同店舗等の整備 17.9	商店の専門店化や品揃えの充実 16.1
居 住 地	中標津市街	商店の専門店化や品揃えの充実 21.3	歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備 17.1	地元商業者主体の共同店舗等の整備 14.8
	中標津町農協区域	商店の専門店化や品揃えの充実 21.7	地元商業者主体の共同店舗等の整備 17.4	後継者の確保・育成 (同率2位) 17.4
	計根別市街	地元商業者主体の共同店舗等の整備 31.6	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別農協区域	地元商業者主体の共同店舗等の整備 33.3	核となる大型店の誘致 (同率1位) 33.3	その他 (同率1位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

空き店舗の無償貸与
今のままでよい

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

● “満足している” が36.5%、“満足していない” が57.0%。

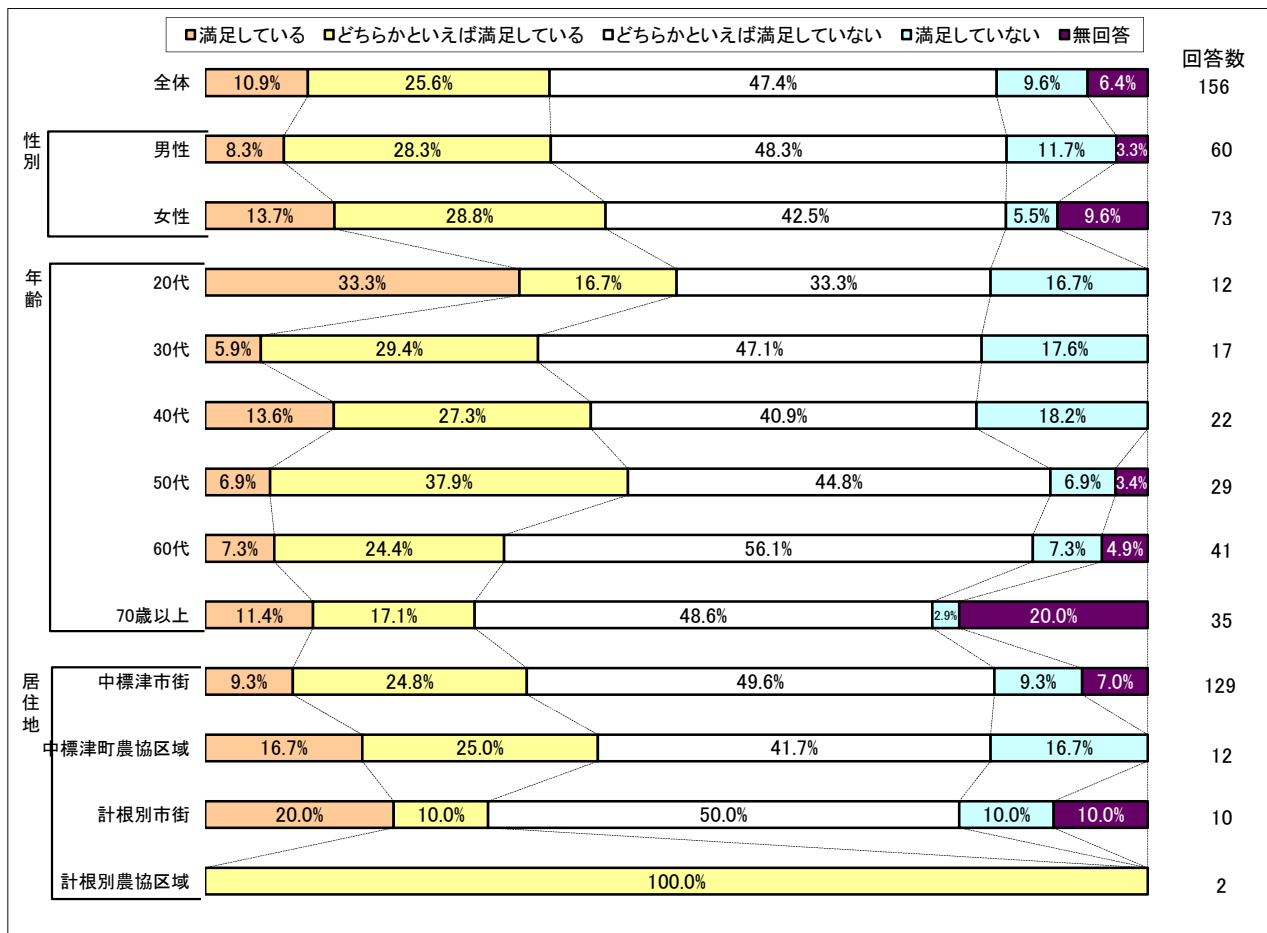
まちの観光資源に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(25.6%)
これに「満足している」(10.9%)をあわせた“満足している”人は36.5%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(47.4%)、「満足していない」(9.6%)の合計）は57.0%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が36.6%、女性が42.5%と女性の方が5.9ポイント高くなっています。

年齢別の“満足している”人の割合は20代が50.0%となっていますが、70歳以上では28.5%となっています。[図表42参照]

図表42 まちの観光資源に満足しているか（全体、性別、年齢、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は98ページに掲載しています。

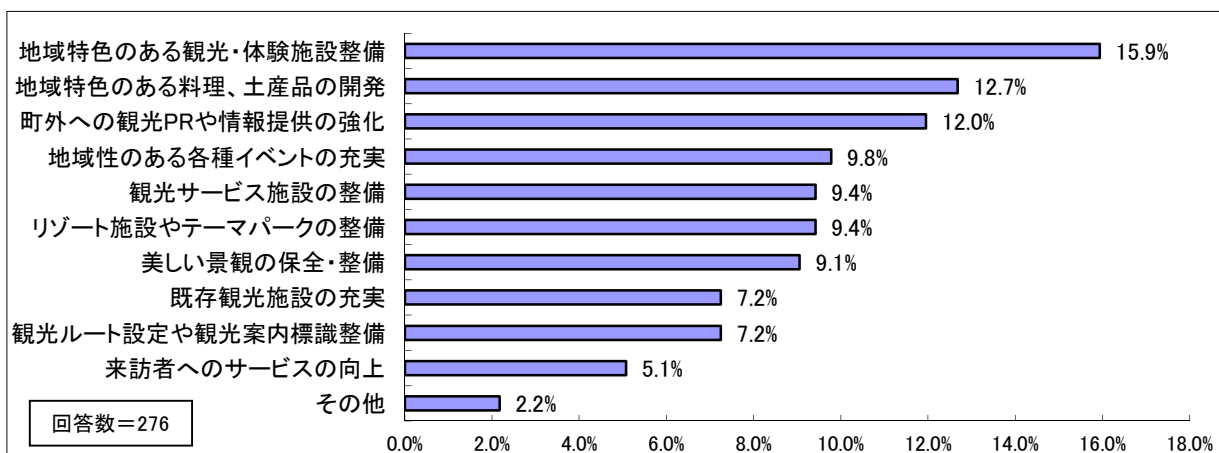
問33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

●「地域特色のある観光、体験施設整備」が第1位。次いで「地域特色のある料理・土産品の開発」、「町外への観光PRや情報提供の強化」の順。

町の観光振興について、今後のどのようなことに力をいれるべきかたずねたところ、「地域特色のある観光・体験施設整備」（15.9%）が第1位に挙げられ、次いで「地域特色のある料理、土産品の開発」（12.7%）、「町外への観光PRや情報提供の強化」（12.0%）、「地域性のある各種イベントの充実」（9.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は、20代が「地域性のある各種イベントの充実」、30代は「観光サービス施設の整備」、40代は「町外へ野観光PRや情報提供の強化」、50代と60代は「地域特色のある観光・体験施設の整備」、70歳以上は「地域特色のある料理、土産品の開発」となっています。[図表43～44参照]

図表43 観光振興のために今後特に力を入れること（全体／複数回答）



図表44 観光振興のために今後特に力を入れること（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	地域性のある各種イベントの充実 22.7	地域特色のある観光・体験施設整備 18.2	観光ルート設定や観光案内標識整備 13.6
	30代	観光サービス施設の整備 18.8	リゾート施設やテーマパークの整備 15.6	地域性のある各種イベントの充実 (同率2位) 15.6
	40代	町外への観光PRや情報提供の強化 27.0	地域特色のある料理、土産品の開発 16.2	リゾート施設やテーマパークの整備 13.5
	50代	地域特色のある観光・体験施設整備 16.4	地域特色のある料理、土産品の開発 14.5	同率複数のため省略 —
	60代	地域特色のある観光・体験施設整備 24.3	美しい景観の保全・整備 12.2	リゾート施設やテーマパークの整備 10.8
	70歳以上	地域特色のある料理、土産品の開発 19.6	観光サービス施設の整備 14.3	地域特色のある観光・体験施設整備 12.5
居 住 地	中標津市街	地域特色のある観光・体験施設整備 16.8	地域特色のある料理、土産品の開発 12.8	町外への観光PRや情報提供の強化 11.1
	中標津町農協区域	観光サービス施設の整備 20.8	既存観光施設の充実 16.7	町外への観光PRや情報提供の強化 (同率2位) 16.7
	計根別市街	町外への観光PRや情報提供の強化 18.8	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別農協区域	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

植樹の推進、町並みの整備。

道の駅等

興味がない

河川敷の公園整備。温泉が沢山あるのに公共施設がない。

中標津は観光地への空からの入り口

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

● “満足している” が35.2%、“満足していない” が43.6%。

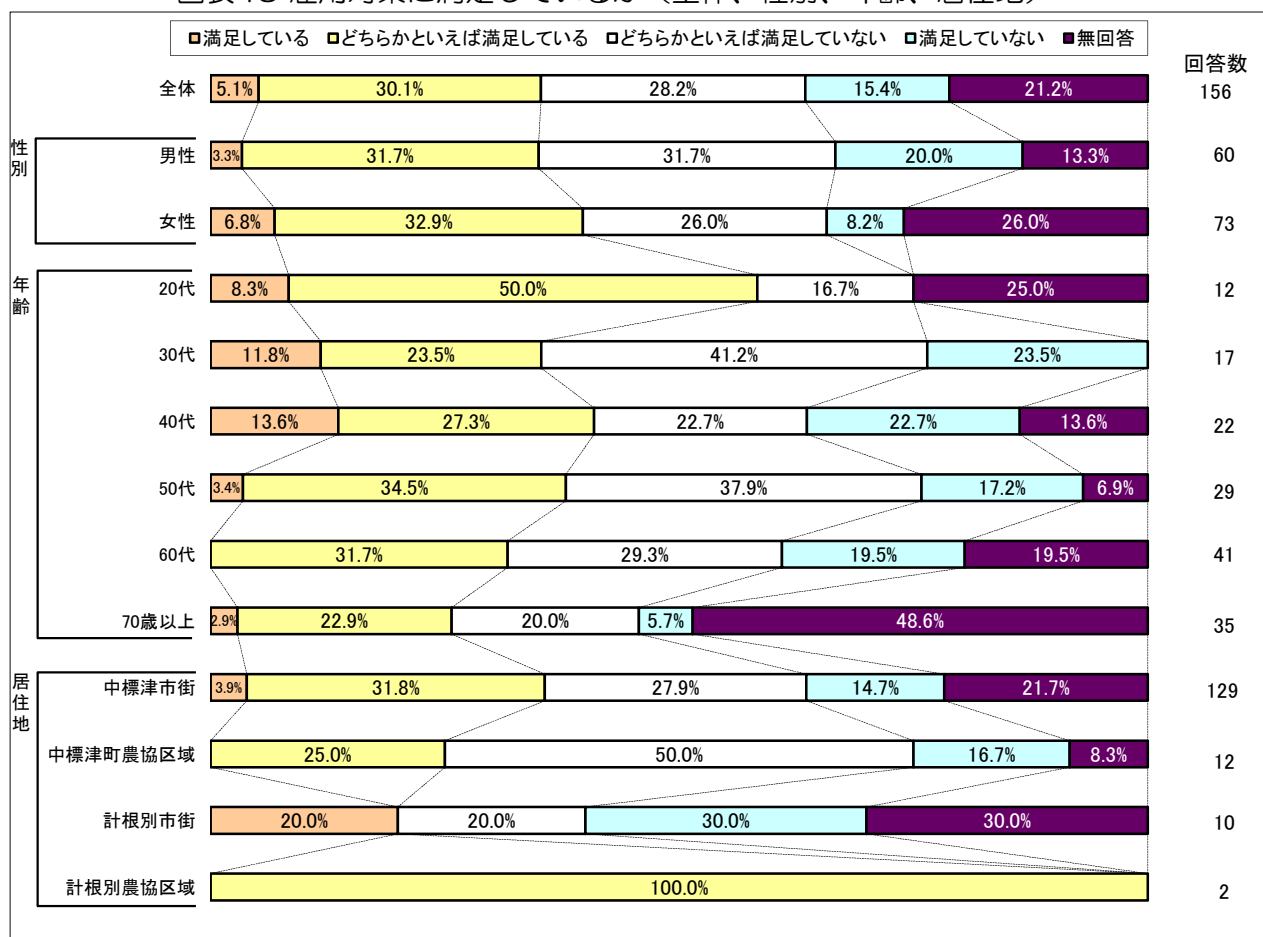
雇用対策に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(30.1%)これに「満足している」(5.1%)をあわせた“満足している”人は35.2%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(28.2%)、「満足していない」(15.4%)の合計）は43.6%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が35.0%、女性が39.7%と女性が4.7ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は20代が58.3%となっていますが、70歳以上では25.8%となっています。[図表45参照]

図表45 雇用対策に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は99ページに掲載しています。

(5) 保健・医療・福祉について

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

● “満足している” が49.4%、“満足していない” が46.8%。

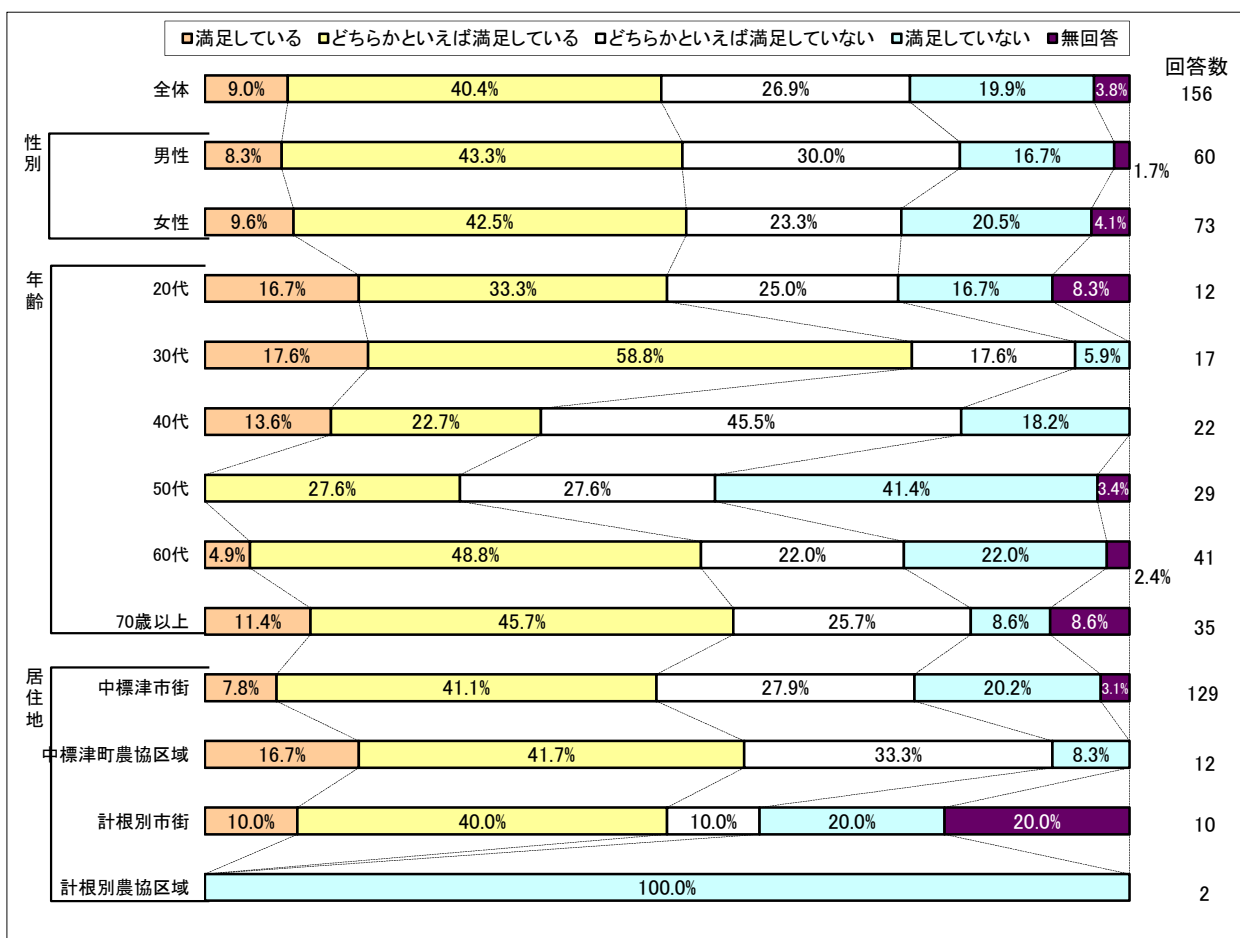
地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているかたずねたところ、「どちらかといえば満足している」(40.4%)これに「満足している」(9.0%)をあわせた“満足している”人は49.4%となっています。

一方、“満足していない”（「どちらかといえば満足していない」(26.9%)、「満足していない」(19.9%)の合計）は46.8%となっています。

性別で“満足している”人の割合は男性が51.6%、女性が52.1%と女性が0.5ポイント上回っています。

年齢別の“満足している”人の割合は30代が76.4%となっていますが、50代では27.6%となっています。[図表46参照]

図表46 地域医療、救急・災害時医療体制に満足しているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は100ページに掲載しています。

問36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

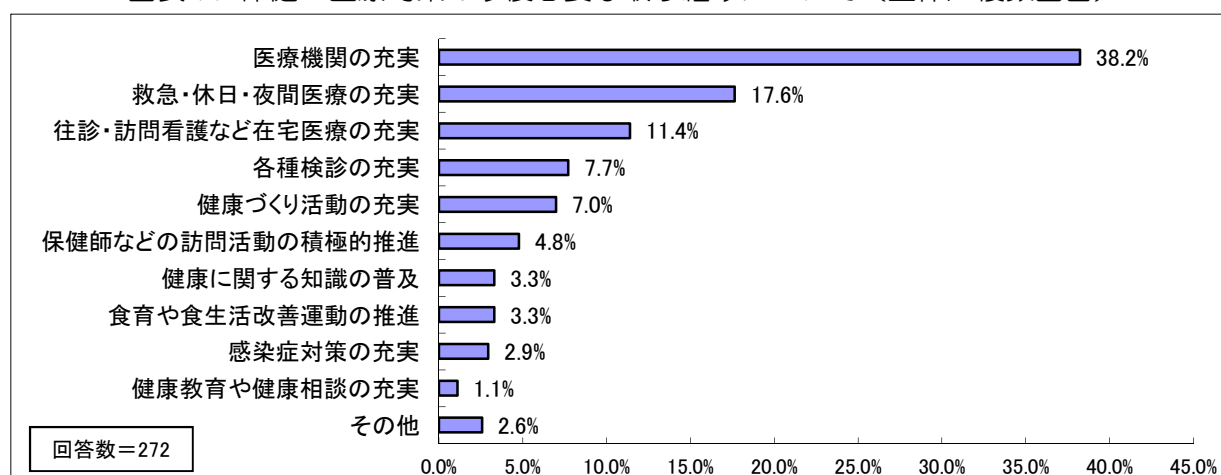
●「医療機関の充実」が第1位。次いで「救急・休日・夜間医療の充実」、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」の順。

今後必要な保健・医療対策については、「医療機関の充実」（38.2%）が第1位に挙げられ、次いで「救急・休日・夜間医療の充実」（17.6%）、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」（11.4%）、「各種検診の充実」（7.7%）「健康づくり活動の充実」（7.0%）、などの順となっています。

年齢別では、30代以外のすべての年齢層で「医療機関の充実」が第1位となっています。

また、居住地別の第1位は中標津市街（41.1%）、中標津町農協区域（21.7%）、計根別市街（33.3%）「医療機関の充実」となっていますが、計根別農協区域では「救急・休日・夜間医療の充実」となっています。[図表47～48参照]

図表47 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表48 保健・医療対策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位			第2位			第3位		
		割合	対策	割合	割合	対策	割合	割合	対策	割合
年齢	20代	45.5	医療機関の充実	31.8	救急・休日・夜間医療の充実	9.1	各種検診の充実			
	30代	40.0	救急・休日・夜間医療の充実	30.0	医療機関の充実	13.3	各種検診の充実			
	40代	43.6	医療機関の充実	20.5	救急・休日・夜間医療の充実	12.8	各種検診の充実			
	50代	38.8	医療機関の充実	18.4	往診・訪問看護など在宅医療の充実	14.3	救急・休日・夜間医療の充実			
	60代	43.2	医療機関の充実	14.9	往診・訪問看護など在宅医療の充実	10.8	救急・休日・夜間医療の充実			
	70歳以上	29.3	医療機関の充実	17.2	往診・訪問看護など在宅医療の充実	15.5	健康づくり活動の充実			
居住地	中標津市街	41.1	医療機関の充実	17.9	救急・休日・夜間医療の充実	9.4	往診・訪問看護など在宅医療の充実			
	中標津町農協区域	21.7	医療機関の充実	17.4	救急・休日・夜間医療の充実	13.0	健康づくり活動の充実			
	計根別市街	33.3	医療機関の充実	20.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実	13.3	救急・休日・夜間医療の充実			
	計根別農協区域	50.0	救急・休日・夜間医療の充実	25.0	医療機関の充実	25.0	往診・訪問看護など在宅医療の充実			

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

各種制度利活用の啓発

地方への移住を考える方は、病気や事故といった緊急時に大きな病院にかかれるかどうかを考えるのではないか。

他地方の病院へ行かなくて済む体制

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

● “そう感じる” が60.3%、“そう感じない” が28.9%。

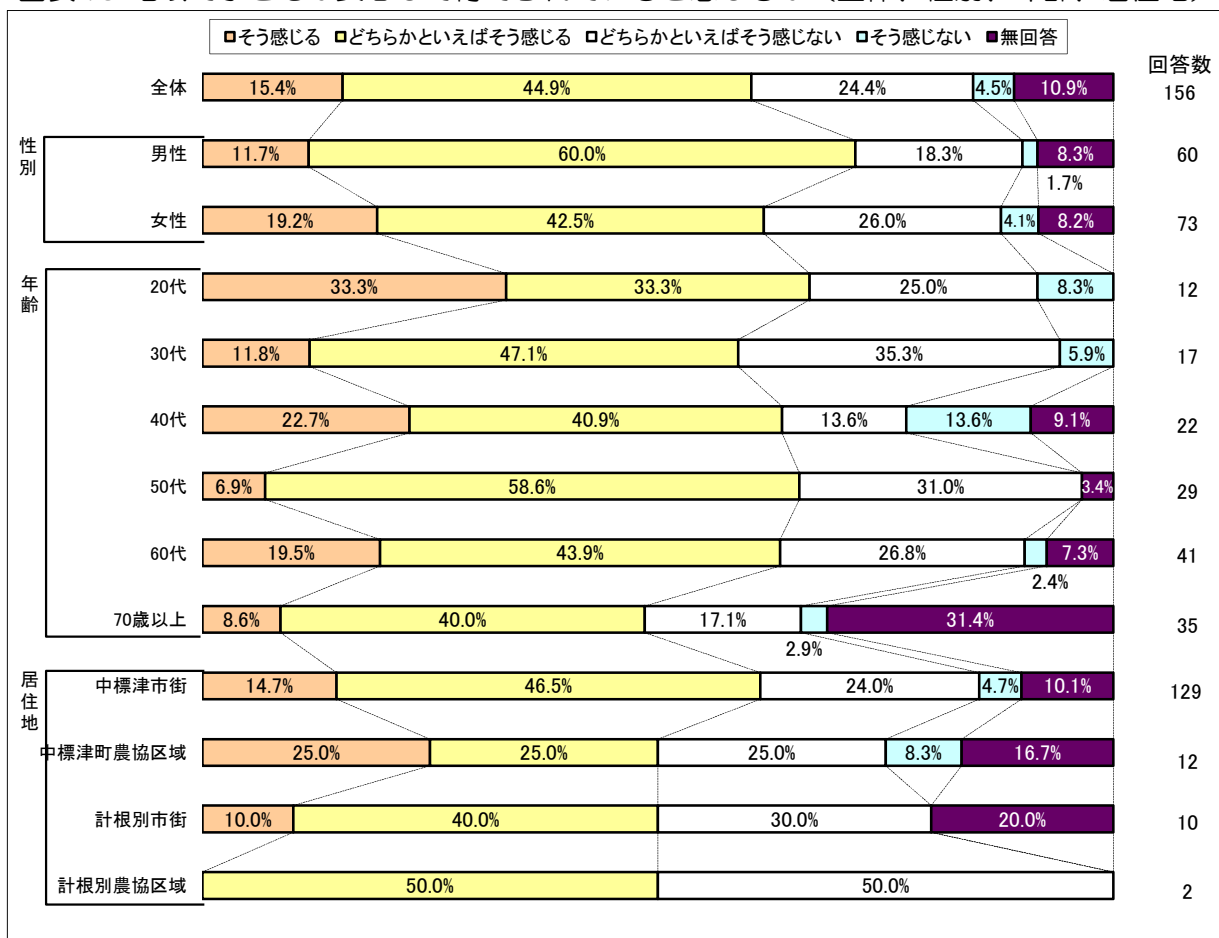
地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(44.9%)これに「そう感じる」(15.4%)をあわせた“そう感じる”人は60.3%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(24.4%)、「そう感じない」(4.5%)の合計）は28.9%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が71.7%、女性が61.7%と男性が10.0ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が66.6%となっていますが、70歳以上は48.6%となっています。[図表49参照]

図表49 地域で子どもが安心して育てられていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は101ページに掲載しています。

問38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

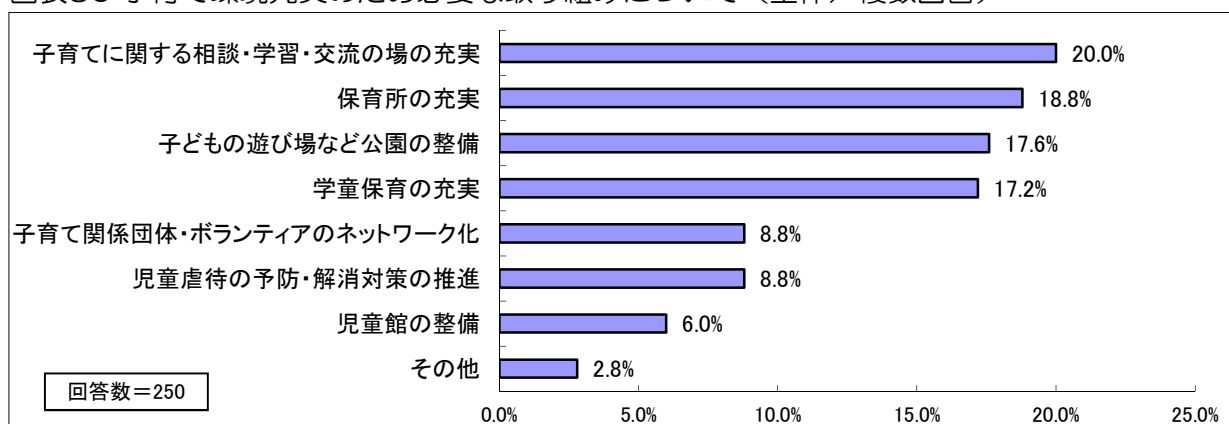


- 「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」が第1位。次いで「保育所の充実」、「子どもの遊び場など公園の整備」の順。

今後必要な子育て環境については、「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」（20.0%）が第1位に挙げられ、次いで「保育所の充実」（18.8%）、「子どもの遊び場など公園の整備」（17.6%）、「学童保育の充実」（17.2%）、「子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化」（8.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・30代が「子どもの遊び場など公園の整備」、40代・50代は「学童保育の充実」、60代は「子育てに関する相談・学習・交流の場の充実」、70歳以上は「保育所の充実」となっています。[図表50～51参照]

図表50 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表51 子育て環境充実のため必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	子どもの遊び場など公園の整備 36.8	保育所の充実 21.1	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 15.8
	30代	子どもの遊び場など公園の整備 38.7	学童保育の充実 19.4	保育所の充実 16.1
	40代	学童保育の充実 24.3	保育所の充実 21.6	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 18.9
	50代	学童保育の充実 20.8	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 17.0	同率複数のため省略 —
	60代	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 28.8	学童保育の充実 16.7	保育所の充実 15.2
	70歳以上	保育所の充実 29.5	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 20.5	同率複数のため省略 —
居 住 地	中標津市街	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 20.4	保育所の充実 18.4	学童保育の充実 18.0
	中標津町農協区域	保育所の充実 20.0	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 (同率1位) 20.0	子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 (同率1位) 20.0
	計根別市街	子どもの遊び場など公園の整備 25.0	保育所の充実 18.8	学童保育の充実 (同率2位) 18.8
	計根別農協区域	子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 33.3	子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 (同率1位) 33.3	その他 (同率1位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

子ども手当が不十分。
親のしつけのみ。
保育料を安く
安心して暮らせるように
一時的な託児施設、環境
保育料の助成

問39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。

● “そう感じる” が46.2%、“そう感じない” が48.1%。

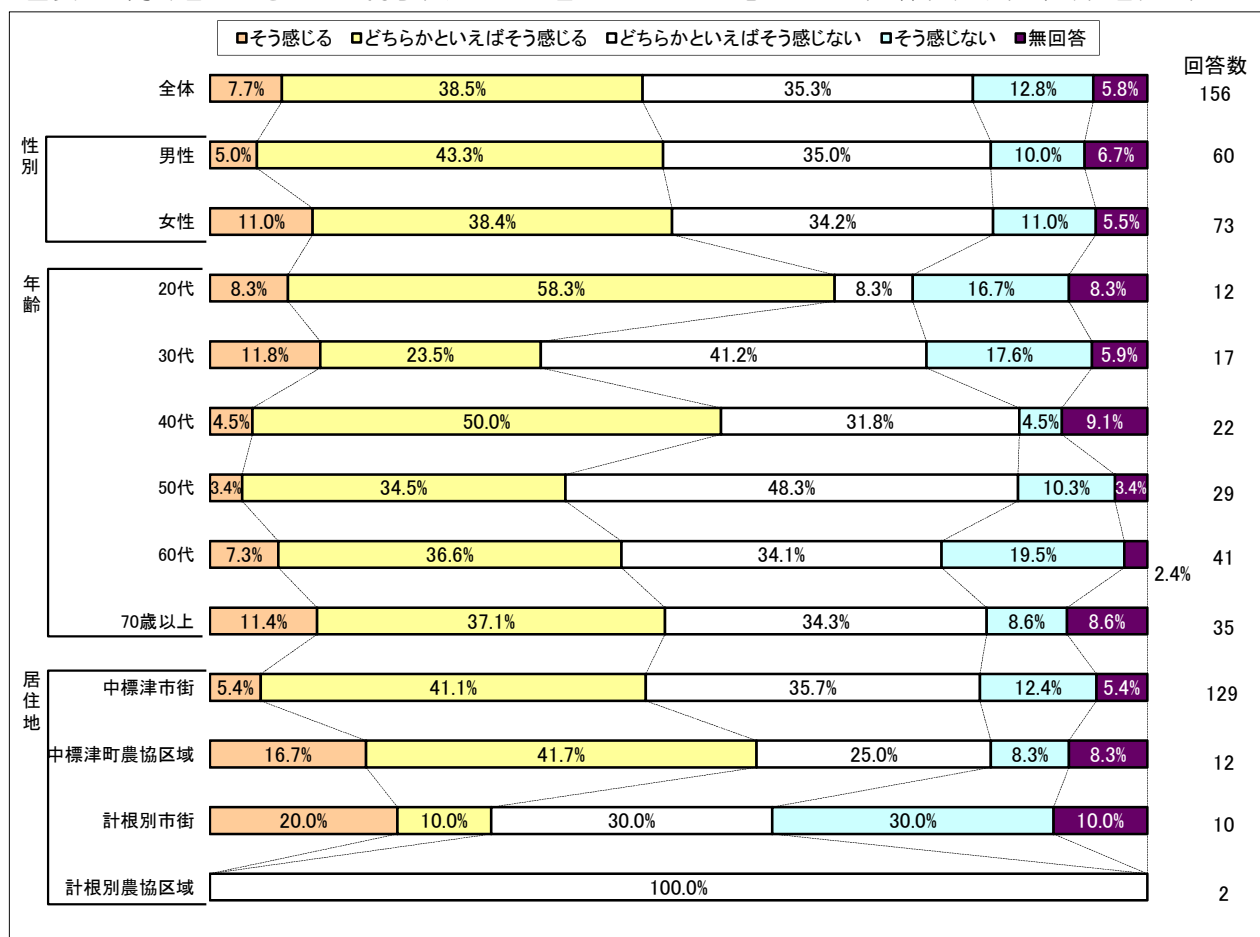
高齢者が生きがいを持ち安心して暮らしていると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（38.5%）これに「そう感じる」（7.7%）をあわせた“そう感じる”人は、46.2%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（35.3%）、「そう感じない」（12.8%）の合計）は48.1%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が48.3%、女性が49.4%と女性が1.1ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が66.6%と高くなっていますが30代では35.3%と低くなっています。[図表52参照]

図表52 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は101ページに掲載しています。

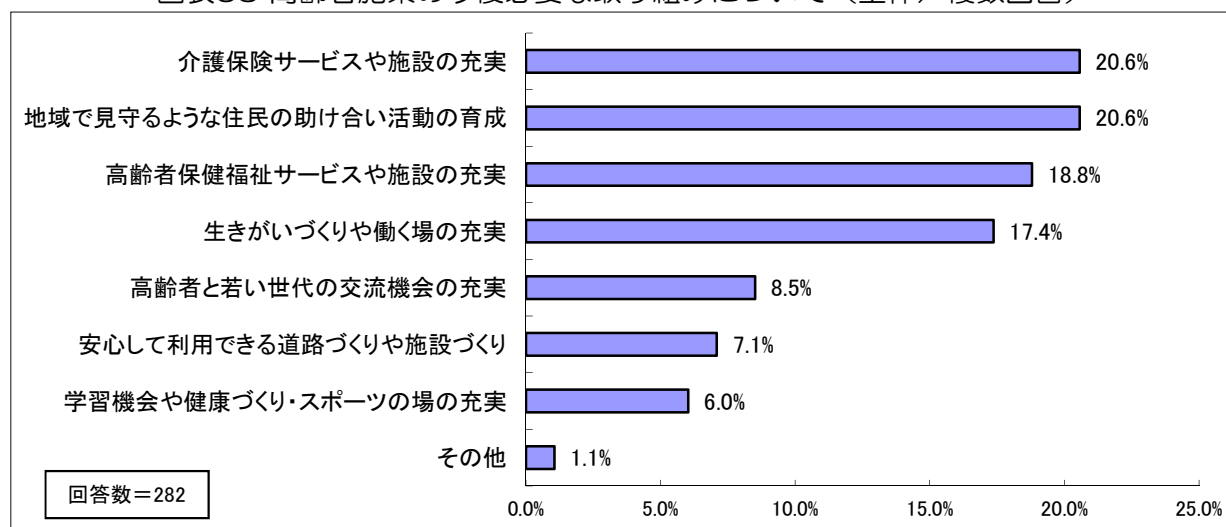
問40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●「介護保険サービスや施設の充実」、「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」が同率第1位。次いで「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」の順。

今後必要な高齢者施策については、「介護保険サービスや施設の充実」(20.6%)と「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」(20.6%)が同率1位に挙げられ、次いで、「高齢者や保健福祉サービスや施設の充実」(18.8%)、「生きがいきづくりや働く場の充実」(17.4%)「高齢者と若い世代の交流機会の充実」(8.5%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代と60代が「生きがいきづくりや働く場の充実」、30代が「地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」、40代・70歳以上は「介護保険サービスや施設の充実」、50代は「高齢者保健福祉サービスや施設の充実」となっています。[図表53～54参照]

図表53 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表54 高齢者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	生きがいきづくりや働く場の充実 21.7	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 21.7	同率複数のため省略 —
	30代	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 28.1	生きがいきづくりや働く場の充実 18.8	同率複数のため省略 —
	40代	介護保険サービスや施設の充実 26.2	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 21.4	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 16.7
	50代	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 25.0	介護保険サービスや施設の充実 21.2	生きがいきづくりや働く場の充実 15.4
	60代	生きがいきづくりや働く場の充実 21.3	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 (同率1位) 21.3	介護保険サービスや施設の充実 18.7
	70歳以上	介護保険サービスや施設の充実 22.4	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 20.7	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 (同率2位) 20.7
	中標津市街	介護保険サービスや施設の充実 19.7	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
居住地	中標津町農協区域	介護保険サービスや施設の充実 30.0	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 (同率1位) 30.0	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 20.0
	計根別市街	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 27.8	生きがいきづくりや働く場の充実 16.7	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 (同率2位) 16.7
	計根別農協区域	介護保険サービスや施設の充実 50.0	高齢者保健福祉サービスや施設の充実 25.0	地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 (同率2位) 25.0

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

送迎等、高齢者向けの交通機関
公共交通の改善

問41 障がい者サービスが整っていると感じますか。

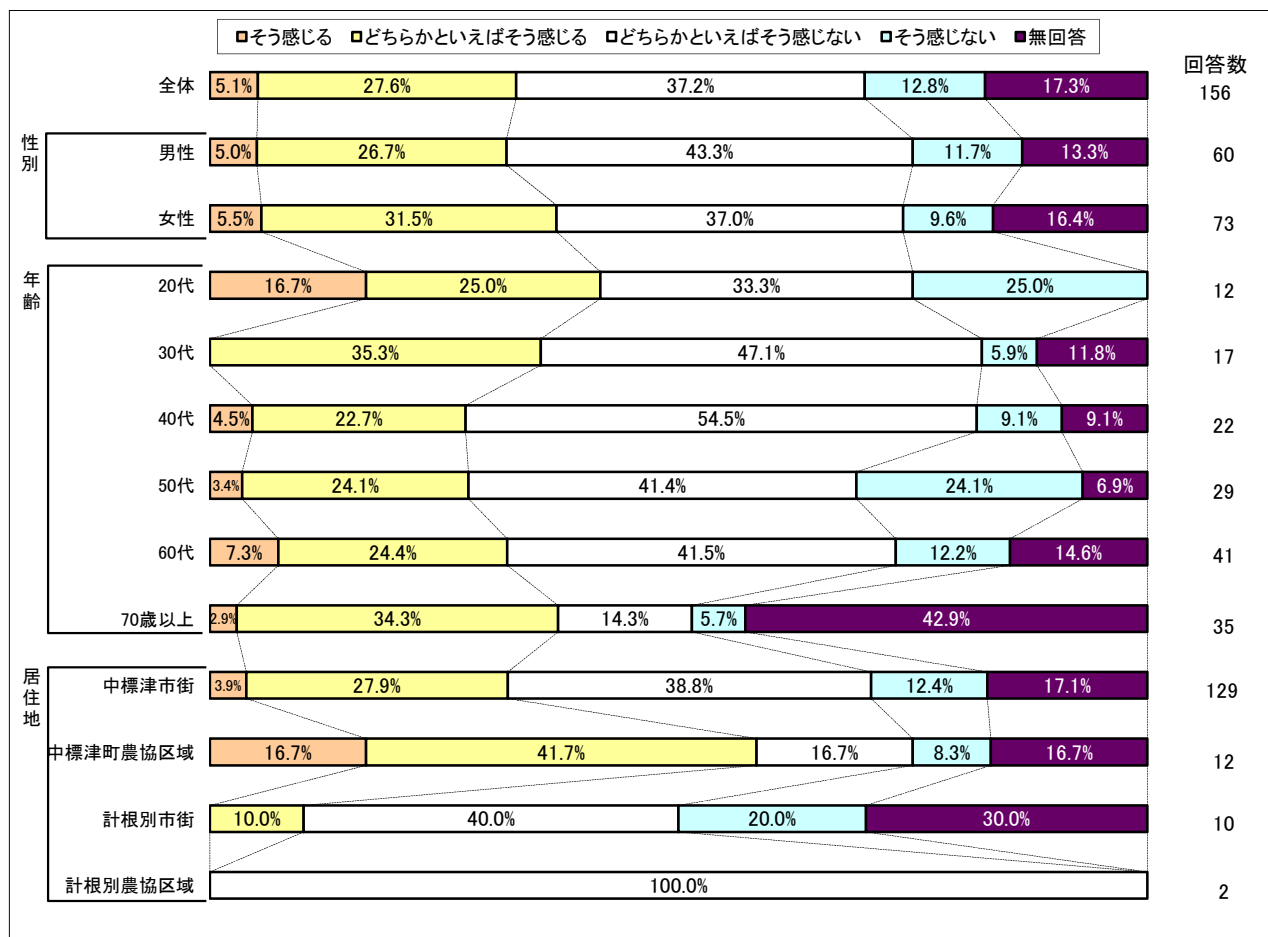
● “そう感じる” が32.7%、“そう感じない” が50.0%。

障がい者サービスが整っていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(27.6%)これに「そう感じる」(5.1%)をあわせた“そう感じる”人は、32.7%となっています。一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(37.2%)、「そう感じない」(12.8%)の合計）は50.0%となっています。

性別で“そう感じる”人の割合は男性が31.7%、女性が37.0%と女性が5.3ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は20代が41.7%となっていますが40代は27.2%と低くなっています。[図表55参照]

図表55 障がい者サービスが整っているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は102ページに掲載しています。

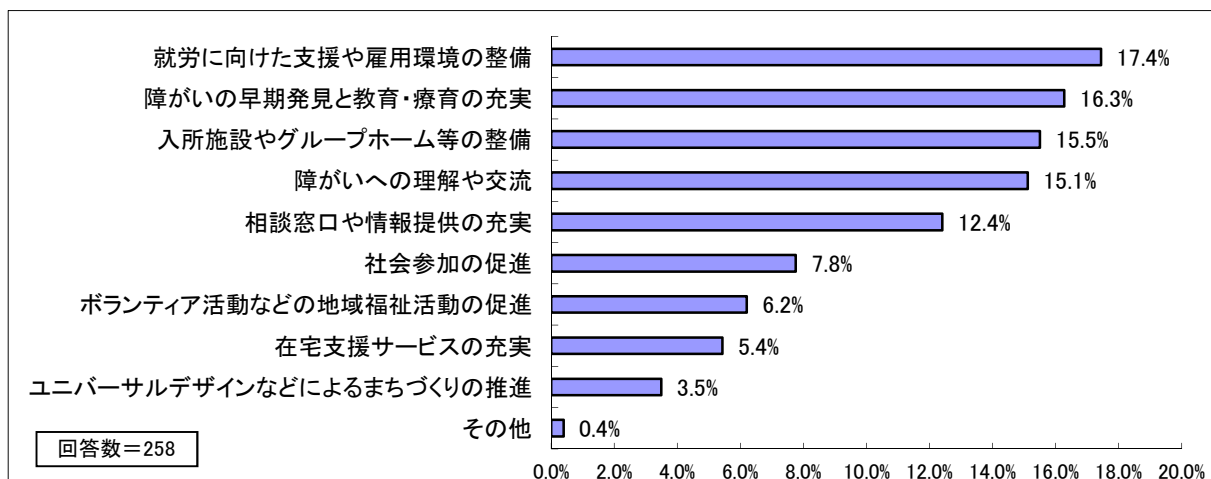
問42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 「就労に向けた支援や雇用環境の整備」が第1位。次いで「障がいの早期発見と教育・療育の充実」、「入所施設やグループホーム等の整備」の順。

今後必要な障がい者施策については、「就労に向けた支援や雇用環境の整備」(17.4%)で第1位に挙げられ、次いで「障がいの早期発見と教育・療育の充実」(16.3%)、「入所施設やグループホーム等の整備」(15.5%)、「障がいへの理解や交流」(15.1%)、「相談窓口や情報提供の充実」(12.4%)の順となっています。

年齢別の第1位は20代は「障がいへの理解や交流」、30代は「障がいの早期発見と教育・療育の充実」、40代・70歳以上が「就労に向けた支援や雇用環境の整備」、50代・60代は「入所施設やグループホーム等の整備」となっています。[図表56～57参照]

図表56 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（全体／複数回答）



図表57 障がい者施策の今後必要な取り組みについて（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	障がいへの理解や交流 39.1	就労に向けた支援や雇用環境の整備 17.4	障がいの早期発見と教育・療育の充実 13.0
	30代	障がいの早期発見と教育・療育の充実 26.7	障がいへの理解や交流 (同率1位) 26.7	同率複数のため省略 —
	40代	就労に向けた支援や雇用環境の整備 22.2	相談窓口や情報提供の充実 16.7	同率複数のため省略 —
	50代	入所施設やグループホーム等の整備 22.4	障がいの早期発見と教育・療育の充実 16.3	同率複数のため省略 —
	60代	入所施設やグループホーム等の整備 21.4	就労に向けた支援や雇用環境の整備 18.6	障がいの早期発見と教育・療育の充実 15.7
	70歳以上	就労に向けた支援や雇用環境の整備 16.0	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	その他	—	—	—
居住地	中標津市街	就労に向けた支援や雇用環境の整備 18.8	障がいの早期発見と教育・療育の充実 16.5	入所施設やグループホーム等の整備 (同率2位) 16.5
	中標津町農協区域	障がいへの理解や交流 25.0	社会参加の促進 20.0	入所施設やグループホーム等の整備 15.0
	計根別市街	相談窓口や情報提供の充実 18.2	障がいへの理解や交流 (同率1位) 18.2	社会参加の促進 (同率1位) 18.2
	計根別農協区域	相談窓口や情報提供の充実 33.3	障がいの早期発見と教育・療育の充実 (同率1位) 33.3	ユニバーサルデザインなどによるまちづくりの推進 (同率1位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

障がい者の方をサポートする職員の増員。人手が少なく、大変だと聞く。

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

● “そう感じる” が32.7%、“そう感じない” が52.6%。

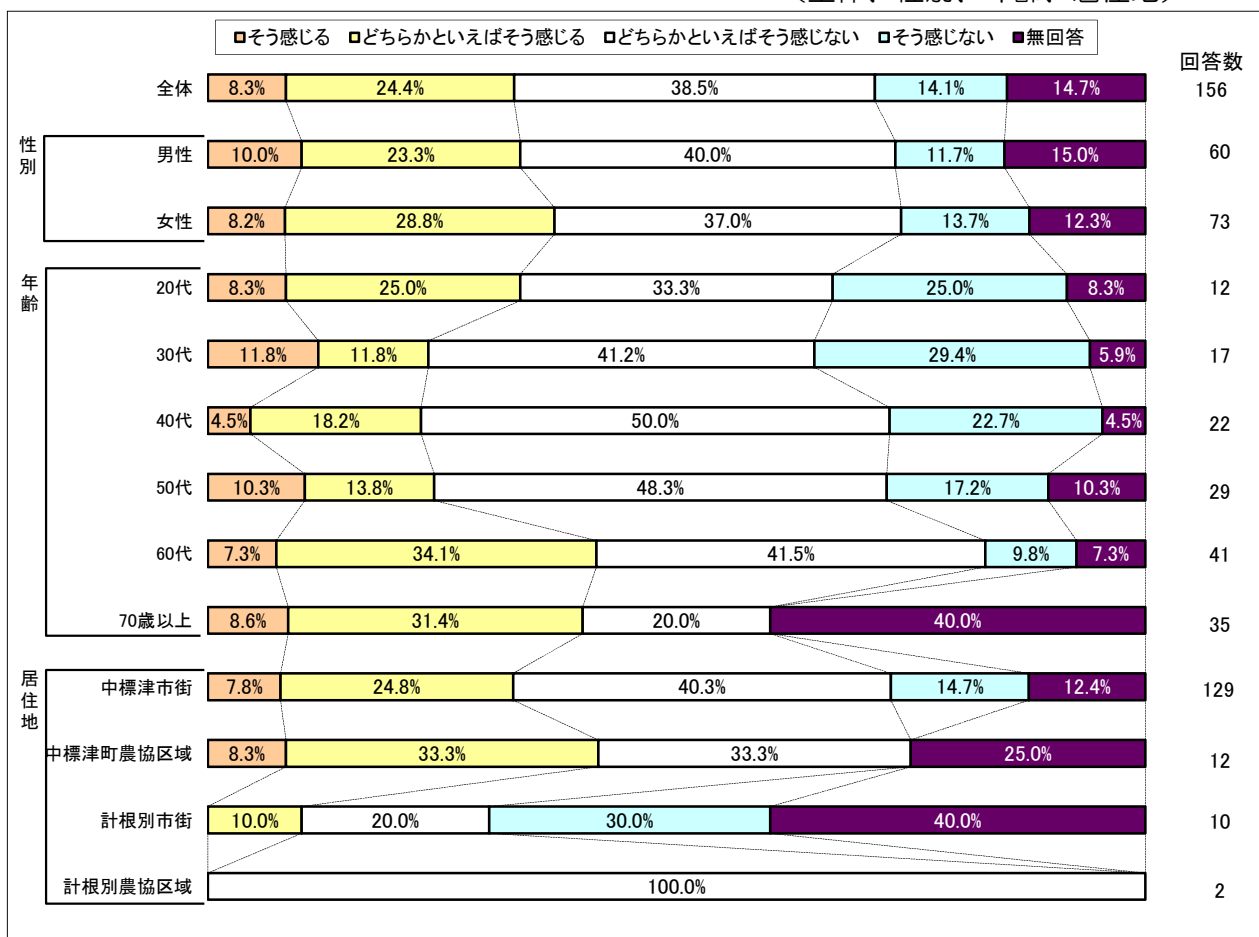
身近なところで相談でき支えてもらえる福祉の制度や活動があると感じるかたすねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（24.4%）これに「そう感じる」（8.3%）をあわせた“そう感じる”人は、32.7%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（38.5%）、「そう感じない」（14.1%）の合計）人は52.6%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が33.3%、女性が37.0%と女性が3.7ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は60代が41.4%となっていますが、40代では22.7%と低くなっています。[図表58参照]

図表58 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じるか
（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は103ページに掲載しています。

問44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。

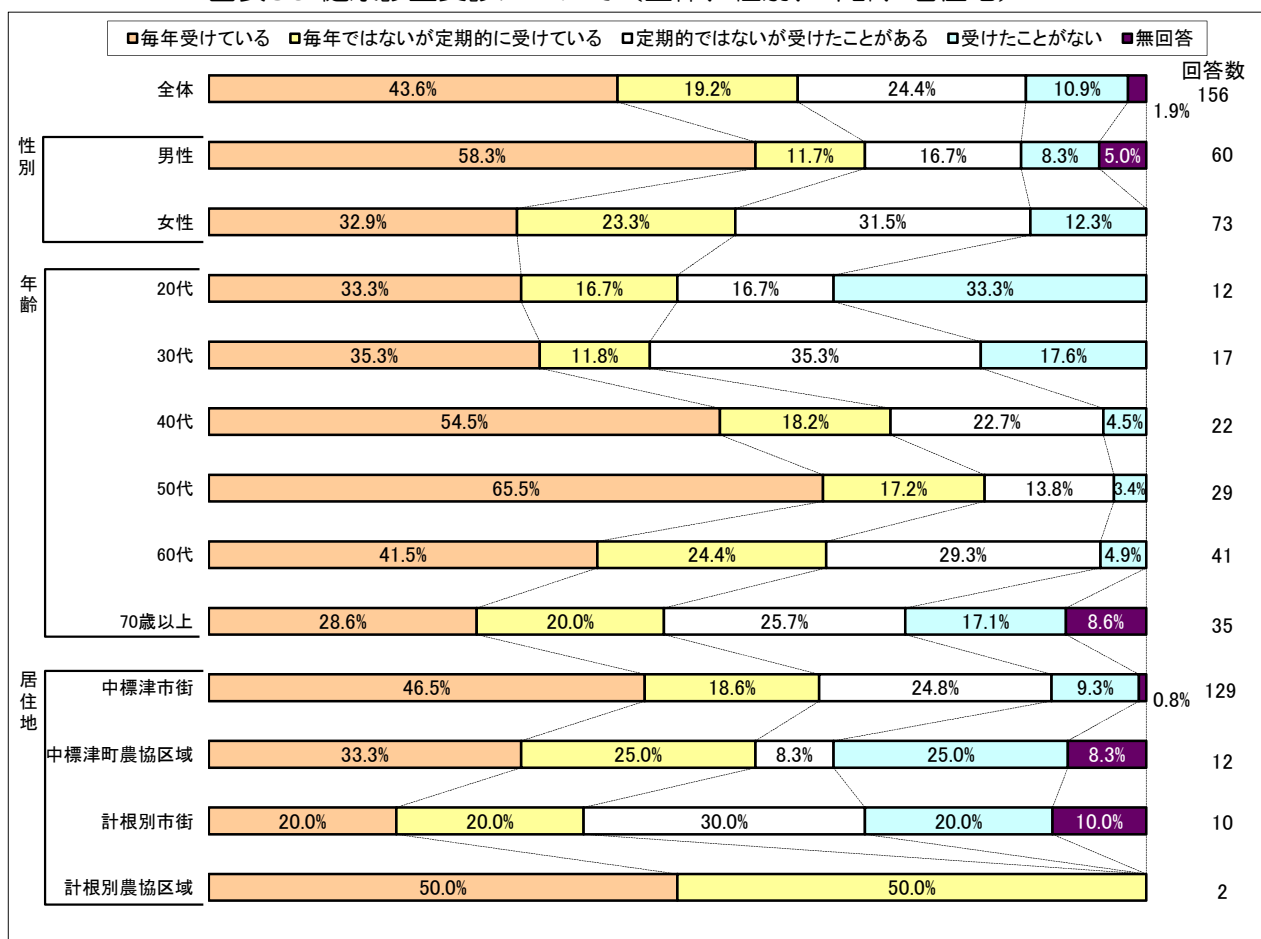
- “定期的に受けている” が62.8%、「定期的ではないが受けたことがある」が24.4%、「受けたことがない」が10.9%。

健康診査やがん検診を受けているかたずねたところ、「毎年受けている」（43.6%）と「毎年ではないが定期的に受けている」（19.2%）を合わせた62.8%の人が“定期的に受けている”と回答されていますが、一方で「受けたことがない」人は10.9%となっています。

性別の“定期的に受けている”人の割合は男性が70.0%、女性が56.2%と女性が13.8ポイント低くなっています。

年齢別の“定期的に受けている”人の割合は50代が82.7%となっていますが、30代は47.1%と低くなっています。[図表59参照]

図表59 健康診査受診について（全体、性別、年齢、居住地）



(6) 教育・文化・スポーツについて

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

● “そう感じる” が68.5%、 “そう感じない” が12.8%。

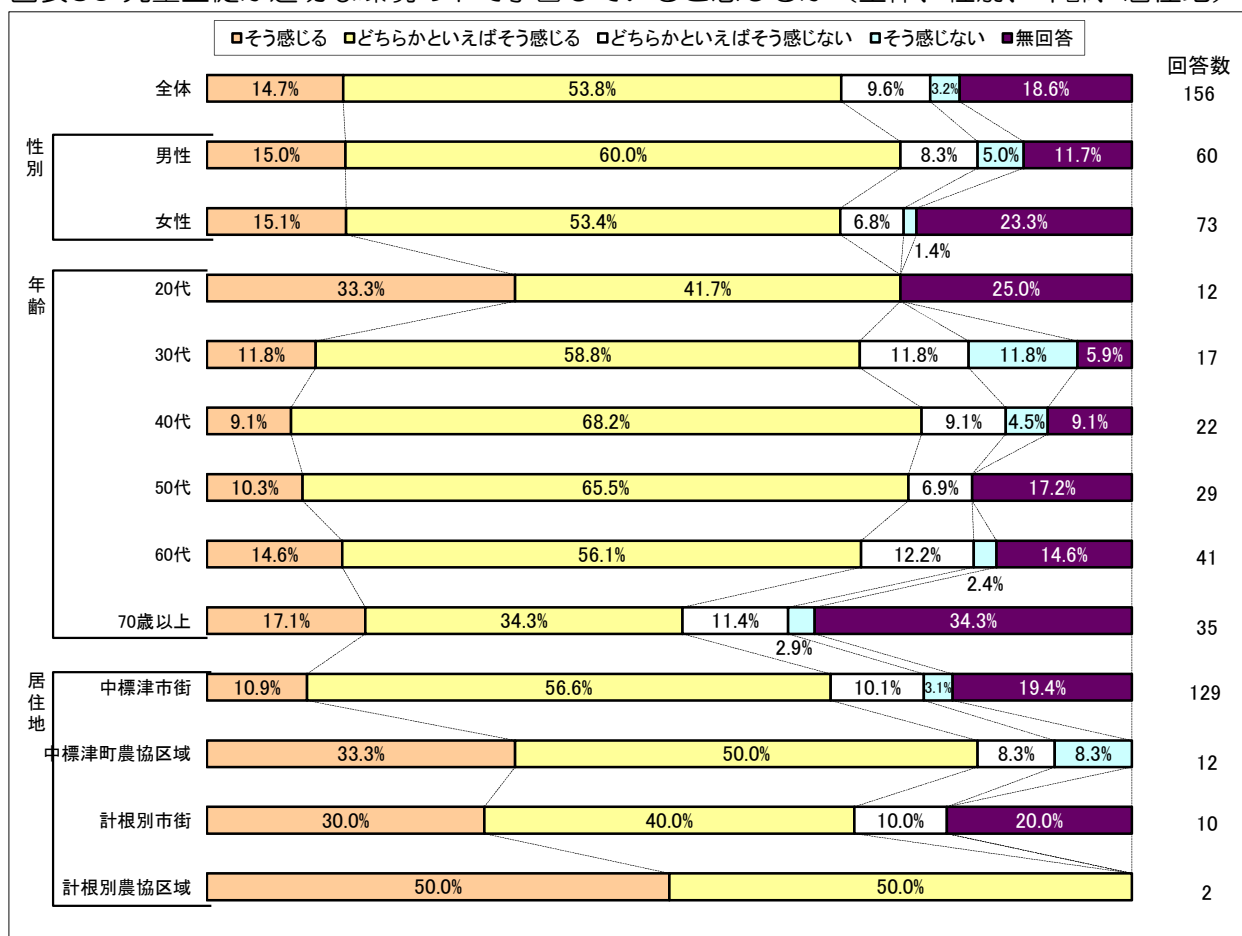
児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(53.8%) これに「そう感じる」(14.7%)をあわせた“そう感じる”人は、68.5%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（9.6%）、「そう感じない」（3.2%）の合計）は12.8%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が75.0%、女性が68.5%と男性が6.5ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、40代では77.3%となっていますが、70歳以上では51.4%と低くなっています。[図表60参照]

図表60 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は104ページに掲載しています。

問46 青少年を見守る活動に参加していますか。



- “参加している” が12.2%、“参加していない” が82.7%。
“参加したい” が49.4%、“参加するつもりはない” が45.5%。

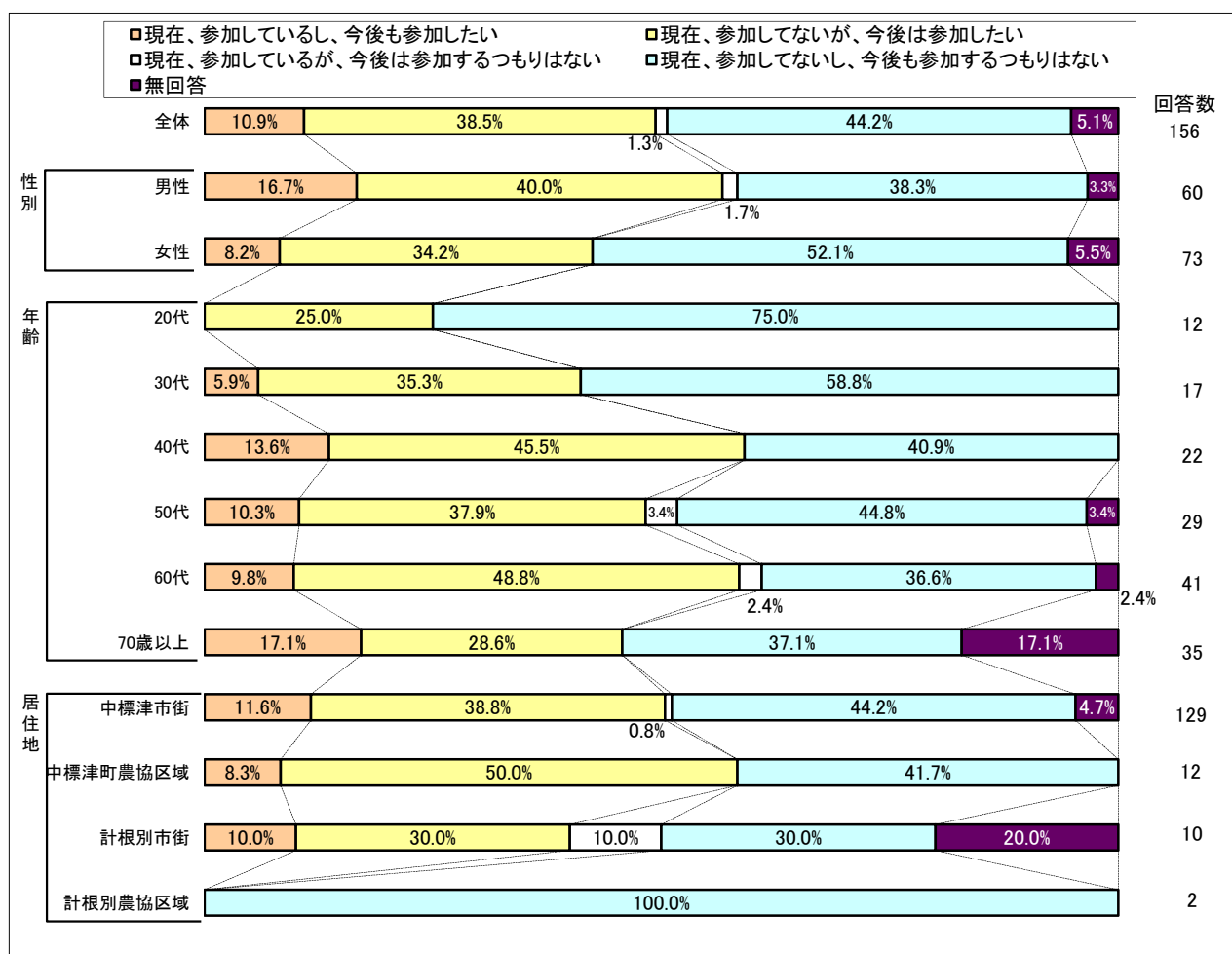
青少年を見守る活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない」（44.2%）が最も多く、次いで「現在、参加していないが、今後は参加したい」（38.5%）、「現在、参加しているし、今後も参加したい」（10.9%）、「現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない」（1.3%）の順となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（10.9%）及び「参加していないが今後は参加したい」（38.5%）の合計）が49.4%、今後“参加するつもりはない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（44.2%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（1.3%）の合計）が45.5%となっており、現在“参加している”人の12.2%から今後“参加したい”人が49.4%と大きく増加する結果となっています。

性別でみると“参加したい”人の割合は男性で56.7%、女性で42.4%となっています。

年齢別の、“参加したい”人の割合は40代が59.1%となっていますが20代は25.0%と低くなっています。[図表61参照]

図表61 青少年を見守る活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。

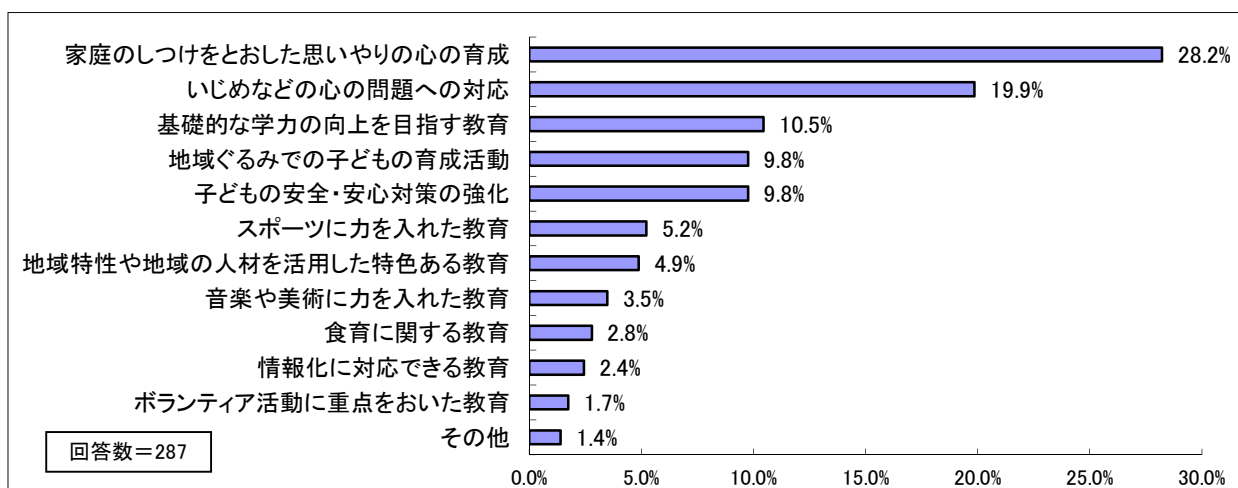


- 「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」が第1位。次いで「いじめなどの心の問題への対応」、「基礎的な学力の向上を目指す教育」、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」と「子どもの安全・安心対策の強化」の順。

子どもの豊かな人間教育に必要なことをたずねたところ、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」（28.2%）が第1位に挙げられ、次いで「いじめなどの心の問題への対応」（19.9%）、「基礎的な学力の向上を目指す教育」（10.5%）、「地域ぐるみでの子どもの育成活動」（9.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代・30代が「いじめなどの心の問題への対応」、他の年齢層では、「家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成」となっております。[図表62～63参照]

図表62 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（全体／複数回答）



図表63 子どもの豊かな人間教育のために必要なこと（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

年 齢		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	いじめなどの心の問題への対応 29.2	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 16.7	基礎的な学力の向上を目指す教育 12.5
	30代	いじめなどの心の問題への対応 30.3	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 15.2	子どもの安全・安心対策の強化 12.1
	40代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 31.7	いじめなどの心の問題への対応 19.5	基礎的な学力の向上を目指す教育 12.2
	50代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 26.4	いじめなどの心の問題への対応 20.8	同率複数のため省略 —
	60代	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 31.6	いじめなどの心の問題への対応 15.2	地域ぐるみでの子どもの育成活動 11.4
	70歳以上	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 35.1	いじめなどの心の問題への対応 15.8	同率複数のため省略 —
居 住 地	中標津市街	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 30.1	いじめなどの心の問題への対応 20.8	同率複数のため省略 —
	中標津町農協区域	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 20.8	基礎的な学力の向上を目指す教育 16.7	同率複数のため省略 —
	計根別市街	いじめなどの心の問題への対応 22.2	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別農協区域	地域ぐるみでの子どもの育成活動 50.0	家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成 25.0	いじめなどの心の問題への対応 (同率2位) 25.0

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

保育への充実
教育に関わる人々と、地域の人々との対応
読書
TVやゲームはあまりよくない

問48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が21.2%、“取り組んでいない” が73.7%。

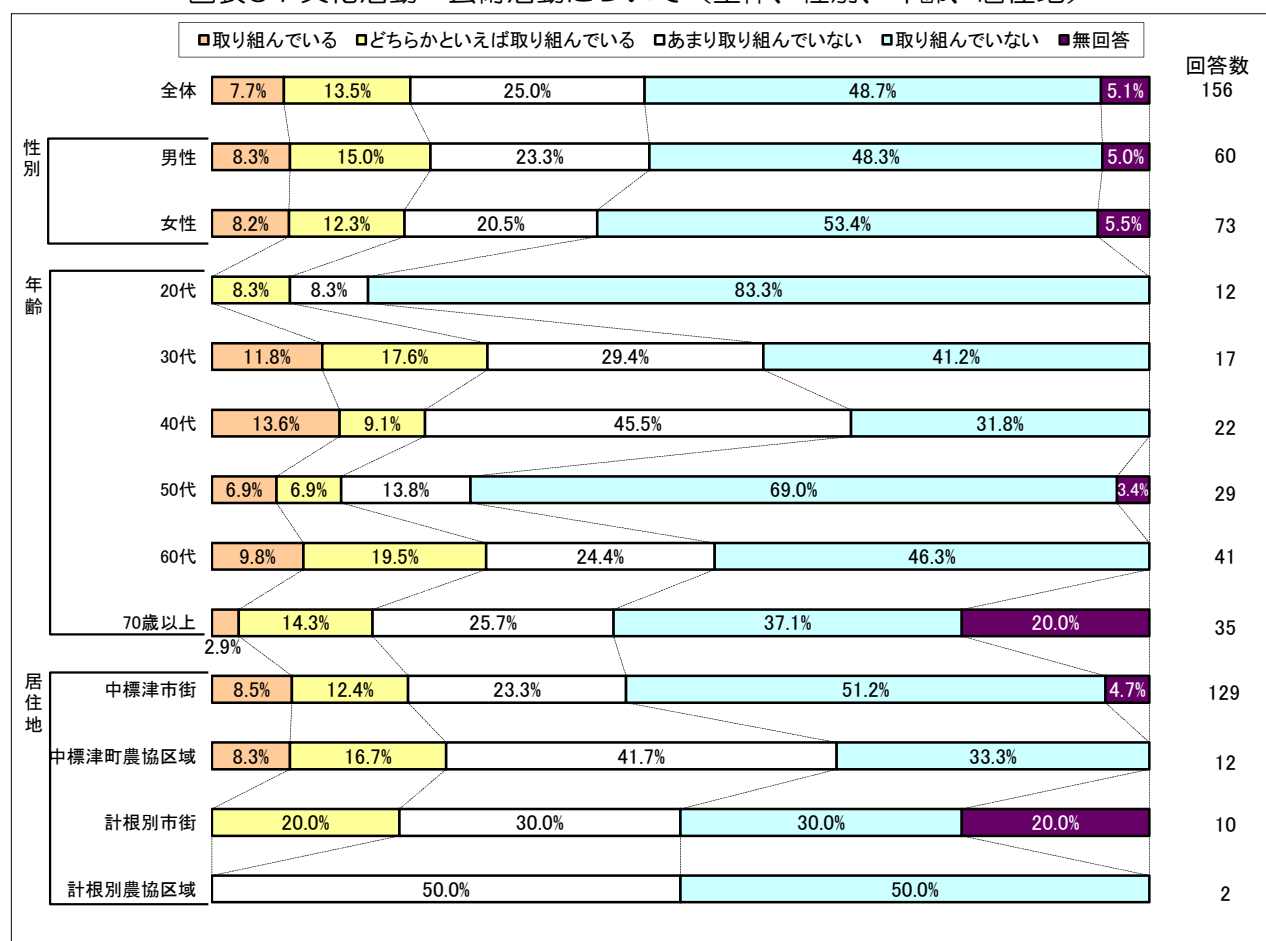
文化・芸術活動に取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(7.7%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(13.5%)をあわせた“取り組んでいる”という人が21.2%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」(25.0%)、「取り組んでいない」(48.7%)の合計）人は73.7%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が23.3%、女性が20.5%と男性が2.8ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は30代が29.4%となっていますが、20代では8.3%となっています。[図表64参照]

図表64 文化活動・芸術活動について（全体、性別、年齢、居住地）



問49 生涯学習情報誌「らいふまっぴ」から知りたい情報は得られていますか。

● “得られている” が41.0%、“得られていない” が50.0%。

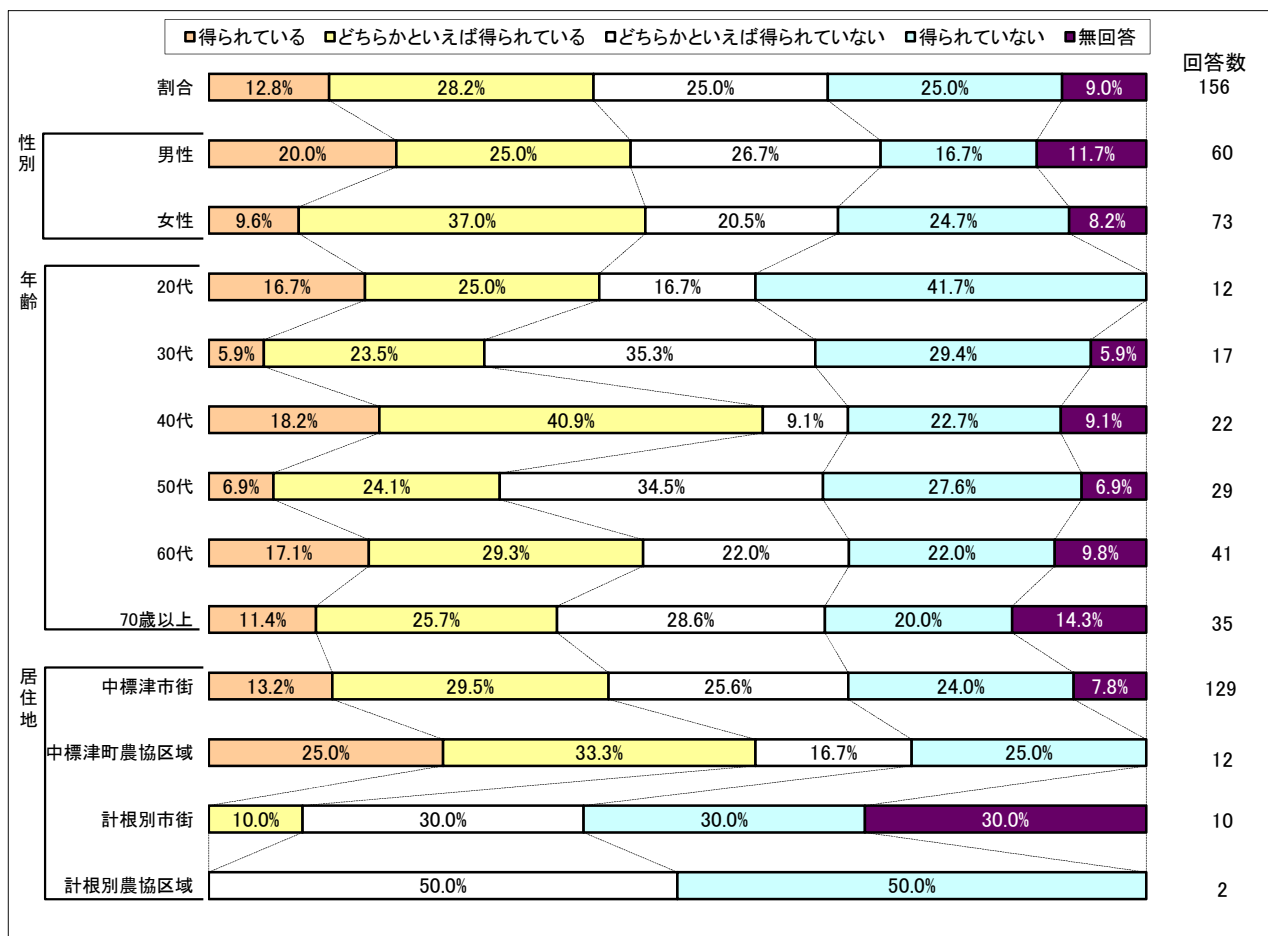
生涯学習情報誌から知りたい情報が得られているかたずねたところ、「得られている」(12.8%)これに「どちらかといえば得られている」(28.2%)をあわせた“得られている”という人が41.0%となっています。

一方、“得られていない”（「どちらかといえば得られていない」(25.0%)、「得られていない」(25.0%) の合計）人は50.0%となっています。

性別の“得られている”人の割合は男性が45.0%、女性が46.6%と女性が1.6ポイント上回っています。

年齢別の“得られている”人の割合は40代が59.1%と一番高く、30代では29.4%と低くなっています。[図表65参照]

図表65 生涯学習情報誌からの情報について（全体、性別、年齢、居住地）



問50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。

● “そう感じる” が59.0%、“そう感じない” が28.8%。

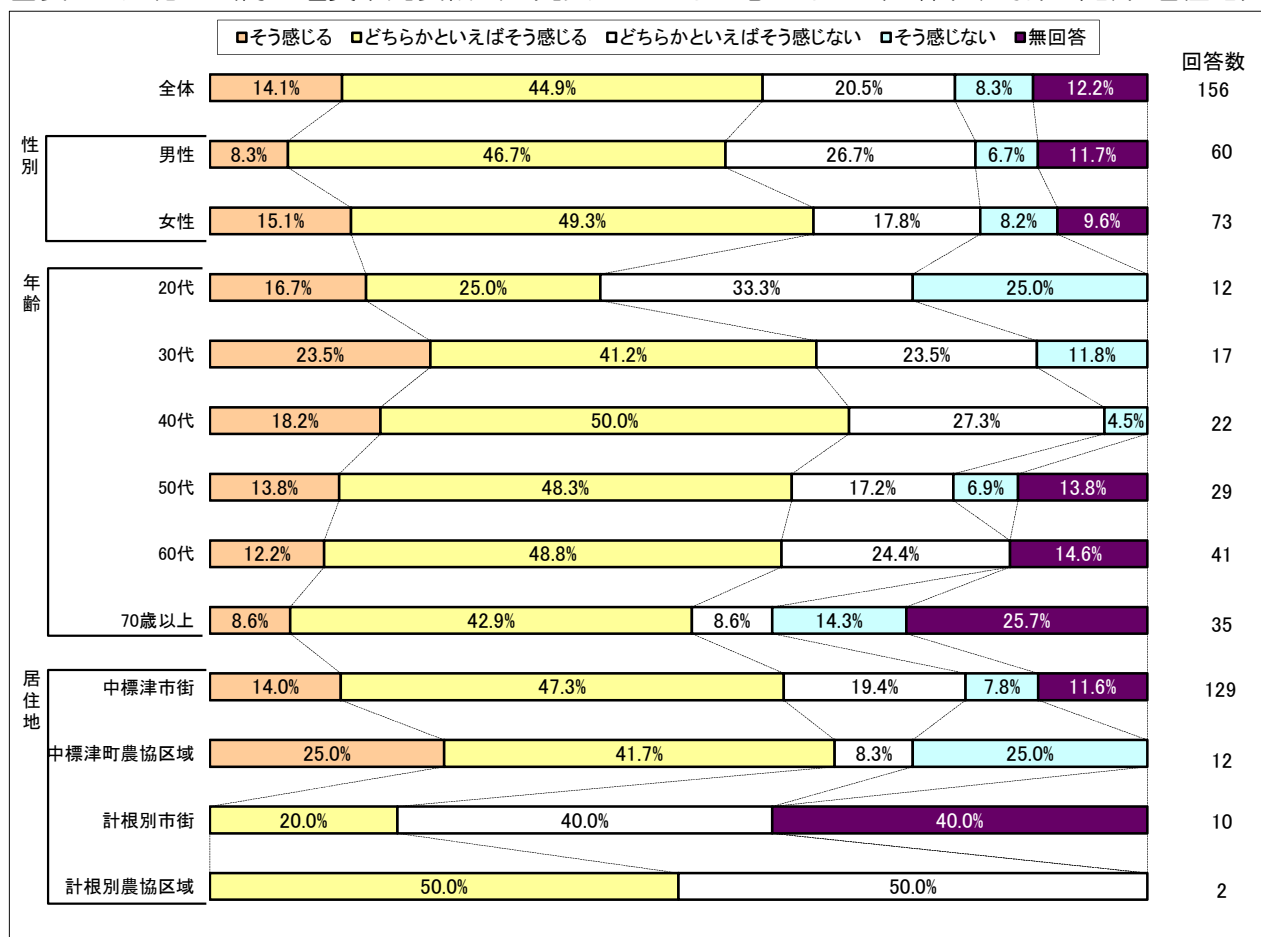
文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実しているかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（44.9%）これに「そう感じる」（14.1%）をあわせた“そう感じる”人は、59.0%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」（20.5%）、「そう感じない」（8.3%）の合計）人は28.8%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が55.0%、女性が64.4%と女性が9.4ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は40代が68.2%となっていますが、20代では41.7%と低くなっています。[図表66参照]

図表66 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は104ページに掲載しています。

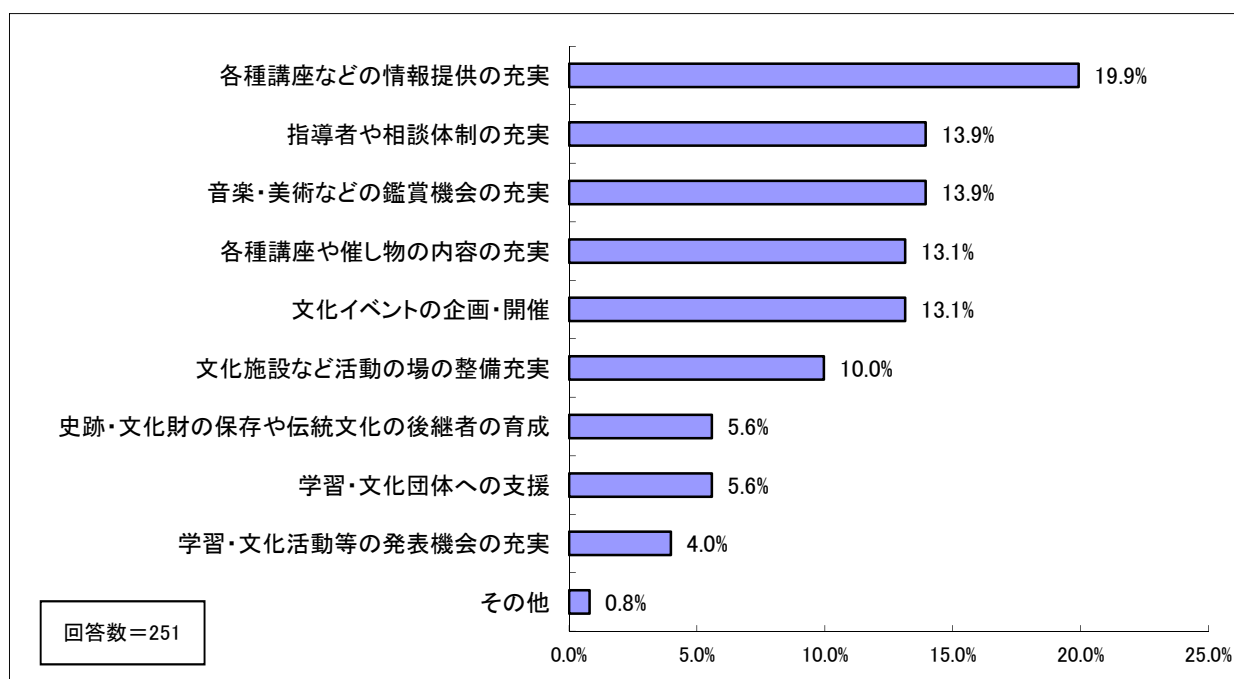
問51 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

- 「各種講座などの情報提供の充実」が第1位。次いで「指導者や相談体制の充実」と「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」、「各種講座や催し物の内容の充実」の順。

生涯学習活動や文化活動を活発にするには、「各種講座などの情報提供の充実」(19.9%)が第1位に挙げられ、次いで「指導者や相談体制の充実」(13.9%)と「音楽・美術などの鑑賞機会の充実」(13.9%)、「各種講座や催し物の内容の充実」(13.1%)と「文化イベントの企画・開催」(13.1%)などの順となっています。

[図表67～68参照]

図表67 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（全体／複数回答）



図表68 生涯学習・文化活動を活発にしていくために必要なこと（年齢／複数回答）（上位3位％）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 20.0	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	30代	各種講座などの情報提供の充実 26.7	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 20.0	文化施設など活動の場の整備充実 13.3
	40代	各種講座などの情報提供の充実 27.5	音楽・美術などの鑑賞機会の充実 15.0	同率複数のため省略 —
	50代	各種講座などの情報提供の充実 18.2	指導者や相談体制の充実 (同率1位) 18.2	文化イベントの企画・開催 (同率1位) 18.2
	60代	各種講座などの情報提供の充実 18.8	各種講座や催し物の内容の充実 14.5	同率複数のため省略 —
	70歳以上	各種講座や催し物の内容の充実 20.8	指導者や相談体制の充実 18.8	各種講座などの情報提供の充実 14.6

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

観光祭りとのコラボレーションイベントを充実すべき。（例：小樽市等）
文化イベントの昼の部、夜の部を行ってほしい。

問52 運動やスポーツに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる” が34.6%、“取り組んでいない” が60.9%。

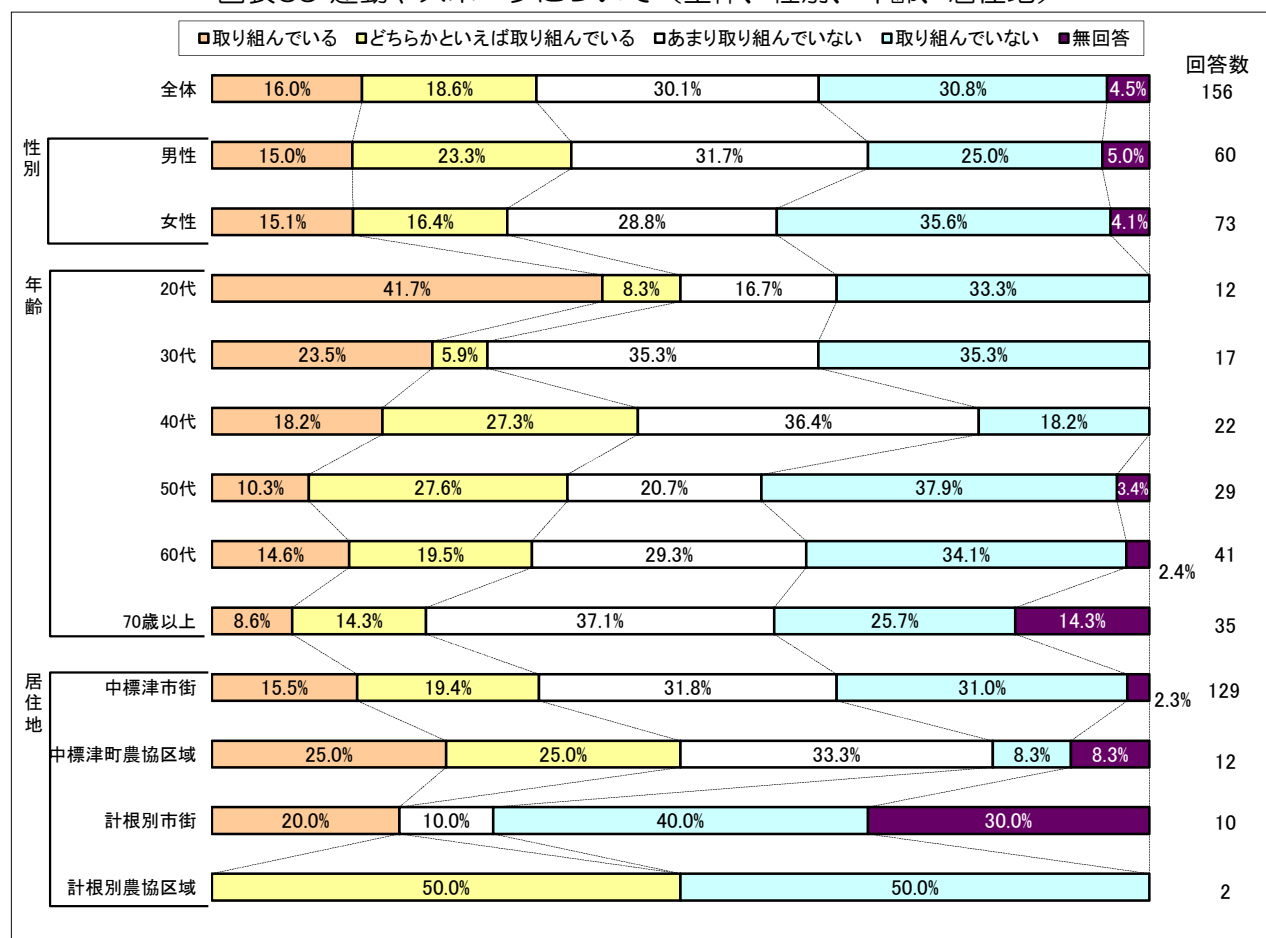
運動やスポーツに取り組んでいるかたずねたところ、「取り組んでいる」(16.0%)これに「どちらかといえば取り組んでいる」(18.6%)をあわせた“取り組んでいる”という人が34.6%となっています。

一方、“取り組んでいない”（「取り組んでいない」(30.8%)と「あまり取り組んでいない」(30.1%)の合計）人は60.9%となっています。

性別の“取り組んでいる”人の割合は男性が38.3%、女性が31.5%と男性が6.8ポイント上回っています。

年齢別の“取り組んでいる”人の割合は20代が50.0%と高くなっていますが、70歳以上では22.9%となっています。[図表69参照]

図表69 運動やスポーツについて（全体、性別、年齢、居住地）



問53 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。



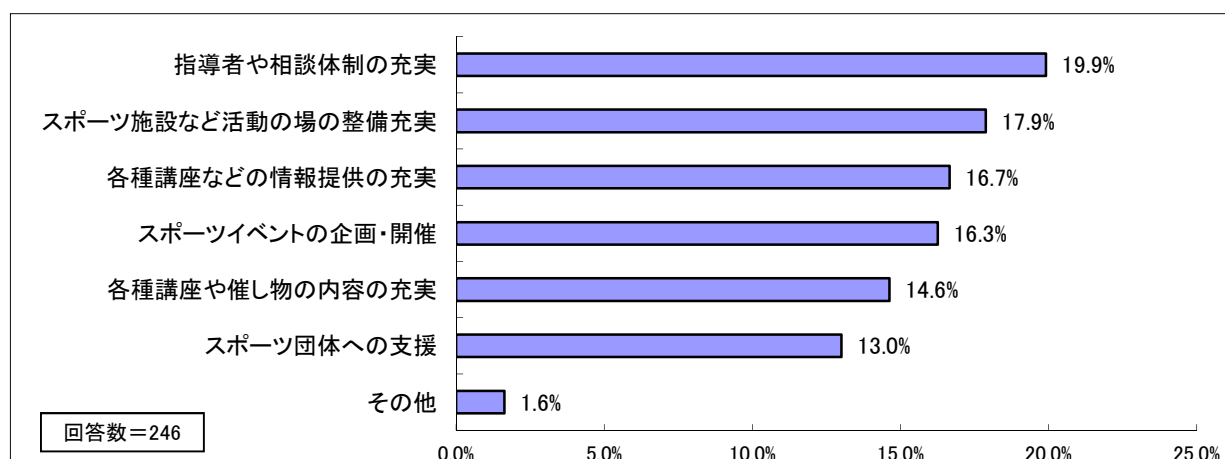
●「指導者や相談体制の充実」が第1位。次いで「スポーツ施設など活動の場の整備充実」、「各種講座などの情報提供の充実」の順。

スポーツ活動を活発にするには、「指導者や相談体制の充実」(19.9%)が第1位に挙げられ、次いで「スポーツ施設など活動の場の整備充実」(17.9%)、「各種講座などの情報提供の充実」(16.7%)、「スポーツイベントの企画・開催」(16.3%)などの順となっています。

年齢別の第1位は20代では「スポーツ施設など活動の場の整備充実」、30代では「スポーツ団体への支援」、40代・70歳以上では「指導者や相談体制の充実」、50代では「スポーツイベントの企画・開催」、60代は「各種講座などの情報提供の充実」などとなっています。

[図表70～71参照]

図表70 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み（全体／複数回答）



図表71 スポーツ活動を活発にしていくために必要な取り組み(年齢、居住地/複数回答) (上位3位 %)

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	スポーツ施設など活動の場の整備充実 23.8	スポーツイベントの企画・開催 19.0	同率複数のため省略 —
	30代	スポーツ団体への支援 21.9	各種講座や催し物の内容の充実 18.8	スポーツイベントの企画・開催 (同率2位) 18.8
	40代	指導者や相談体制の充実 20.6	各種講座や催し物の内容の充実 17.6	スポーツ施設など活動の場の整備充実 17.6
	50代	スポーツイベントの企画・開催 22.4	指導者や相談体制の充実 20.4	同率複数のため省略 —
	60代	各種講座などの情報提供の充実 20.3	スポーツ施設など活動の場の整備充実 (同率1位) 20.3	スポーツイベントの企画・開催 17.4
	70歳以上	指導者や相談体制の充実 34.1	各種講座や催し物の内容の充実 17.1	同率複数のため省略 —
居 住 地	中標津市街	指導者や相談体制の充実 20.1	各種講座などの情報提供の充実 17.6	スポーツ施設など活動の場の整備充実 (同率2位) 17.6
	中標津町農協区域	各種講座や催し物の内容の充実 22.7	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別市街	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —	同率複数のため省略 —
	計根別農協区域	各種講座や催し物の内容の充実 50.0	スポーツイベントの企画・開催 (同率1位) 50.0	同率複数のため省略 —

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

町の体育館利用の見直し
自身が健康だと参加できる。
軽スポーツ教室の開催など

(7) 人権・男女共同参画について

問54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

● “そう感じる” が51.2%、“そう感じない” が37.8%。

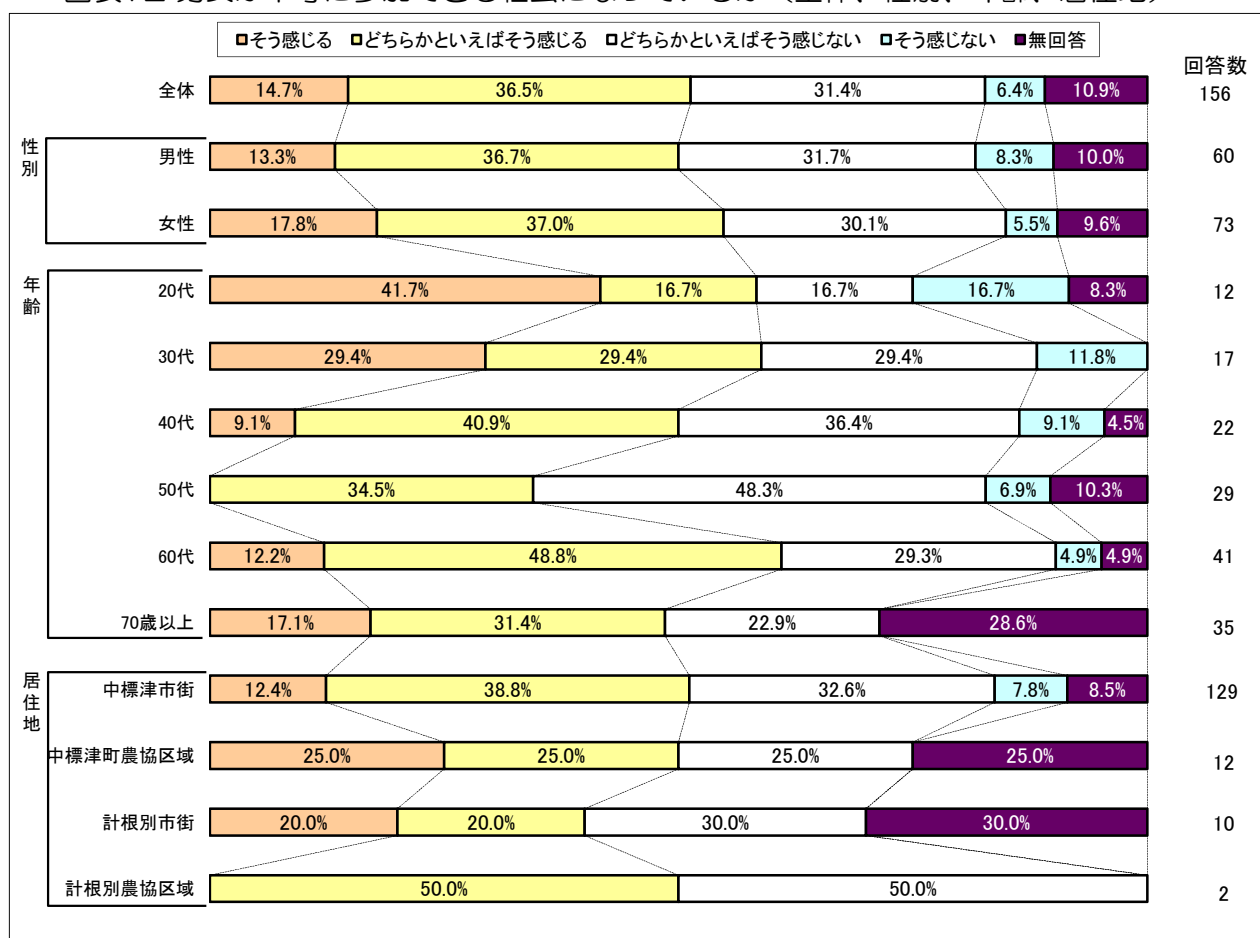
男女が平等に参加できる社会になっていると感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」(36.5%)これに「そう感じる」(14.7%)をあわせた“そう感じる”人は、51.2%となっています。

一方、“そう感じない”人（「どちらかといえばそう感じない」(31.4%)、「そう感じない」(6.4%)の合計）は37.8%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が50.0%、女性が54.8%と女性が4.8ポイント上回っています。

年齢別の、“そう感じる”人の割合は60代では61.0%となっていますが、50代では34.5%となっています。[図表72参照]

図表72 男女が平等に参加できる社会になっているか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は105ページに掲載しています。

問55 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

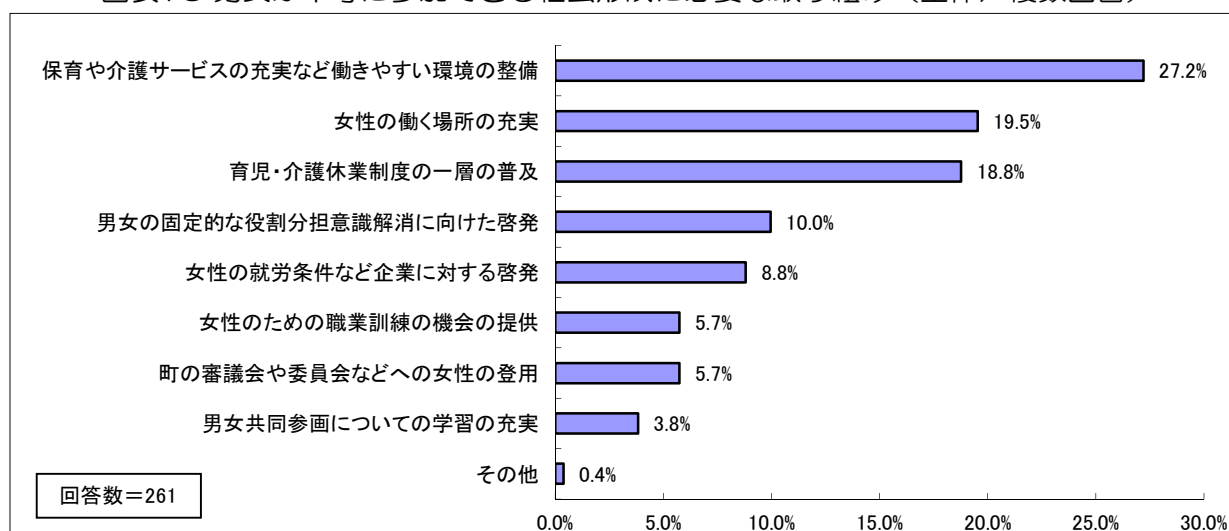


- 「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」が第1位。次いで「女性の働く場所の充実」、「育児・介護休業制度の一層の普及」の順。

男女平等に参加できる社会の形成に必要なことをたずねたところ、「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」（27.2%）が第1位に挙げられ、次いで「女性の働く場所の充実」（19.5%）、「育児・介護休業制度の一層の普及」（18.8%）、「男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発」（10.0%）などの順となっています。

年齢別の第1位は30代・70歳以上が「女性の働く場所の充実」となっていますが、他の年齢層では「保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備」となっております。さらに20代では「育児・介護休業制度の一層の普及」も同率（34.8%）で第1位に挙げられています。[図表73～74参照]

図表73 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表74 男女が平等に参加できる社会形成に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年齢	20代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 34.8	育児・介護休業制度の一層の普及 (同率1位) 34.8	女性の働く場所の充実 17.4
	30代	女性の働く場所の充実 24.2	育児・介護休業制度の一層の普及 (同率1位) 24.2	同率複数のため省略
	40代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 30.6	女性の働く場所の充実 19.4	育児・介護休業制度の一層の普及 (同率2位) 19.4
	50代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 32.0	育児・介護休業制度の一層の普及 28.0	女性の働く場所の充実 18.0
	60代	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 31.4	女性の働く場所の充実 15.7	女性の就労条件など企業に対する啓発 (同率2位) 15.7
	70歳以上	女性の働く場所の充実 24.5	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 18.4	男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 (同率2位) 18.4
	計	27.7	19.2	18.8
居住地	中標津市街	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 27.7	女性の働く場所の充実 19.2	育児・介護休業制度の一層の普及 18.8
	中標津町農協区域	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 31.8	育児・介護休業制度の一層の普及 27.3	女性の働く場所の充実 18.2
	計根別市街	女性の働く場所の充実 25.0	女性の就労条件など企業に対する啓発 (同率1位) 25.0	保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 18.8
	計根別農協区域	同率複数のため省略	同率複数のため省略	同率複数のため省略

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

経営者の意識

問56 女性が抱える様々な悩みに対応する相談窓口があることを知っていますか。

●「知っている」が14.1%。「知らない」が82.1%。

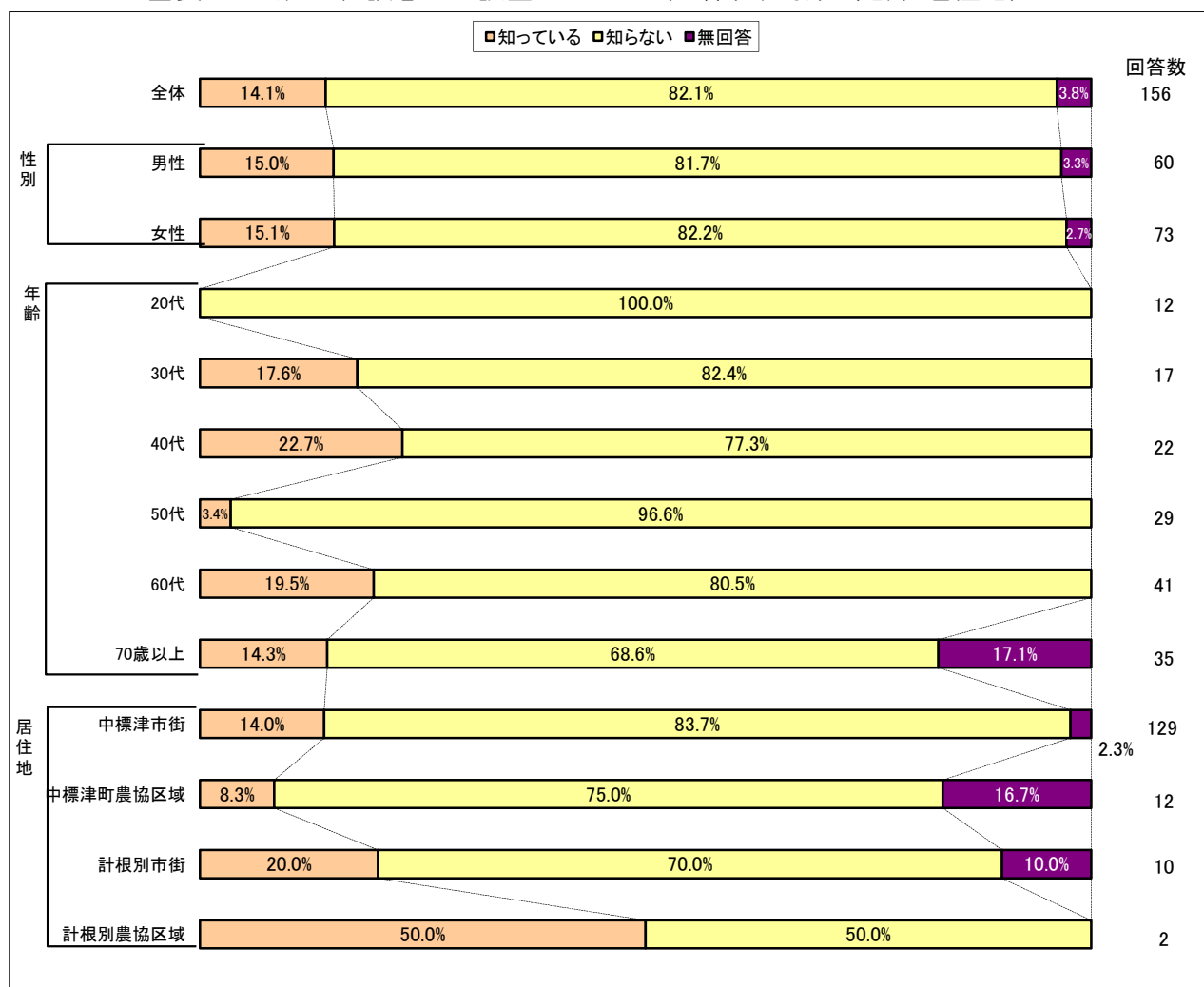
女性が抱える様々な悩みに対応する相談の窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と回答した人は14.1%となっているのに対し「知らない」と回答した人は82.1%と知らない人が上回っています。

性別で「知っている」と回答した人は男性が15.0%、女性は15.1%と女性が0.1ポイント上回っています。

年齢別では40代では22.7%が知っていますが、20代では0%と低くなっています。

[図表75参照]

図表75 女性の相談窓口の設置について（全体、性別、年齢、居住地）



(8) 地域間交流について

問57 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。

● “そう思う” が34.0%、 “そう思わない” が60.9%。

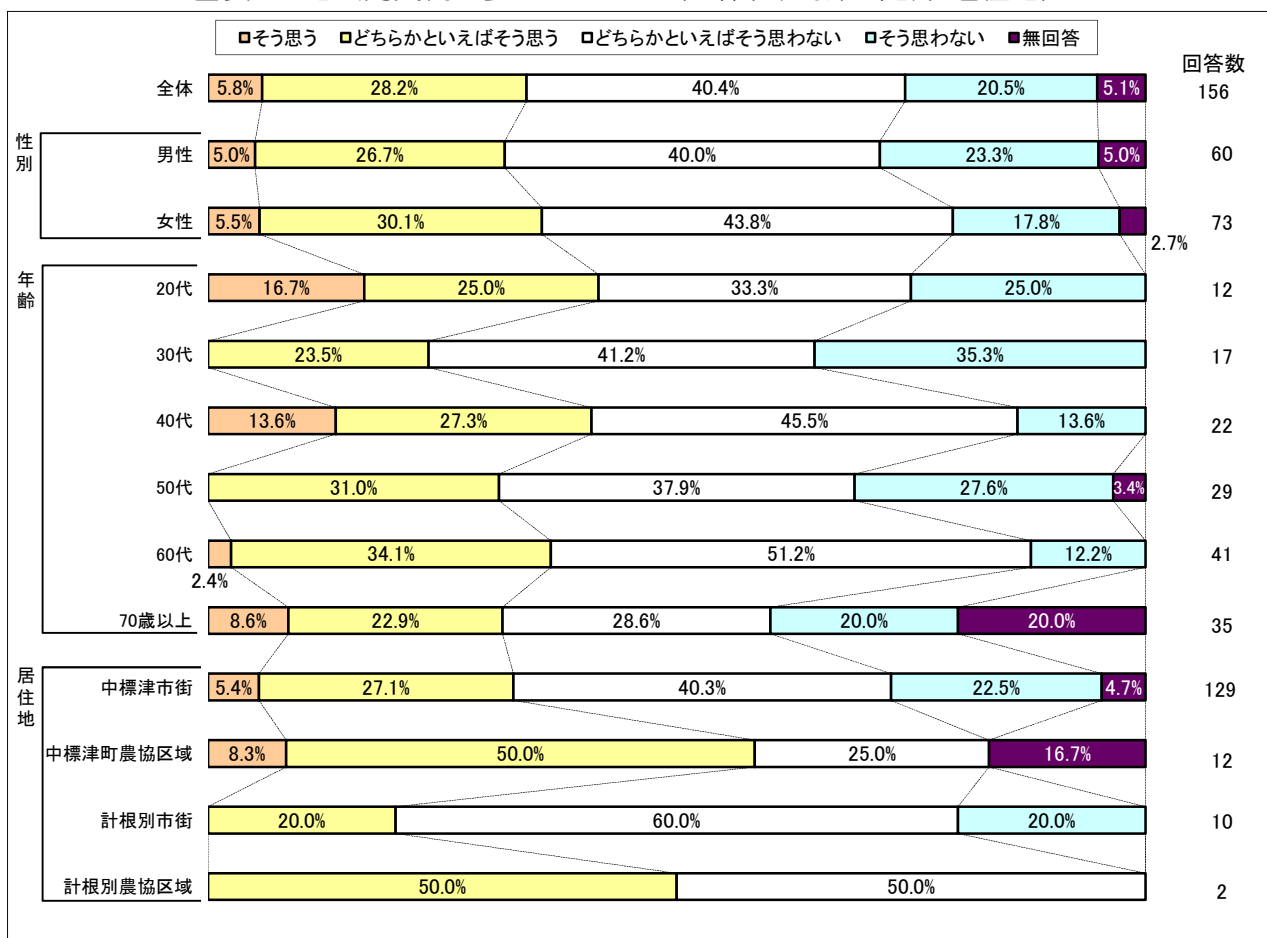
国際交流や他地域との交流に参加したいかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」(28.2%)これに「そう思う」(5.8%)をあわせた“そう思う”という人が34.0%となっています。

一方、“そう思わない”（「どちらかといえばそう思わない」(40.4%)、「そう思わない」(20.5%)の合計）は60.9%となっています。

性別の“そう思う”人の割合は男性が31.7%、女性が35.6%となり女性が3.9ポイント上回っています。

年齢別の“そう思う”人の割合は20代が41.7%となっていますが、30代では23.5%となっています。[図表76参照]

図表76 地域間交流に参加したいか（全体、性別、年齢、居住地）



問58 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。



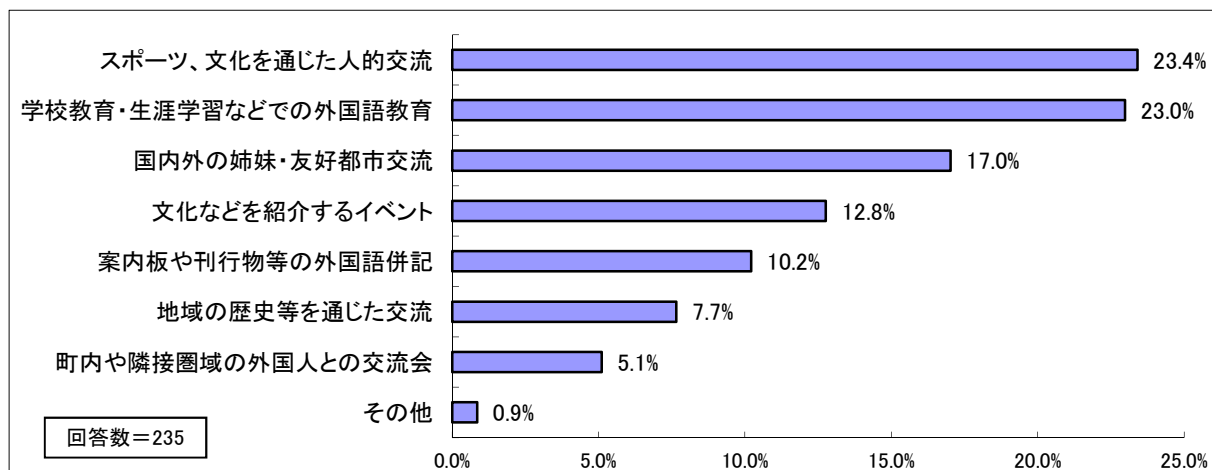
- 「スポーツ、文化を通じた人的交流」が第1位。次いで「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、「国内外の姉妹・友好都市交流」の順。

国内外との交流活動について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「スポーツ、文化を通じた人的交流」（23.4%）が第1位に挙げられ、次いで「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」（23.0%）、「国内外の姉妹・友好都市交流」（17.0%）、「文化などを紹介するイベント」（12.8%）などの順となっています。

年齢別の第1位は20代では「国内外の姉妹・友好都市交流」及び「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、30代・70歳以上では「学校教育・生涯学習などでの外国語教育」、40代・50代・60代では「スポーツ、文化を通じた人的交流」となっています。

[図表77～78参照]

図表77 国内外との交流活動に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表78 国内外との交流活動に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	国内外の姉妹・友好都市交流 28.6	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 (同率1位) 28.6	スポーツ、文化を通じた人的交流 19.0
	30代	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 37.9	国内外の姉妹・友好都市交流 20.7	同率複数のため省略 —
	40代	スポーツ、文化を通じた人的交流 32.4	国内外の姉妹・友好都市交流 29.4	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 17.6
	50代	スポーツ、文化を通じた人的交流 27.9	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 25.6	案内板や刊行物等の外国語併記 18.6
	60代	スポーツ、文化を通じた人的交流 26.6	文化などを紹介するイベント 15.6	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 (同率2位) 15.6
	70歳以上	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 22.7	文化などを紹介するイベント 20.5	国内外の姉妹・友好都市交流 18.2
居 住 地	中標津市街	スポーツ、文化を通じた人的交流 24.5	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 23.4	国内外の姉妹・友好都市交流 16.7
	中標津町農協区域	国内外の姉妹・友好都市交流 27.3	スポーツ、文化を通じた人的交流 22.7	同率複数のため省略 —
	計根別市街	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 41.7	スポーツ、文化を通じた人的交流 16.7	文化などを紹介するイベント 16.7
	計根別農協区域	国内外の姉妹・友好都市交流 33.3	学校教育・生涯学習などでの外国語教育 (同率1位) 33.3	案内板や刊行物等の外国語併記 (同率1位) 33.3

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

国内外研修派遣の補助、報告会の開催。

(9) 北方領土問題について

問59 北方領土問題を身近な問題と感じますか。

● “そう感じる” が59.6%、“そう感じない” が35.3%。

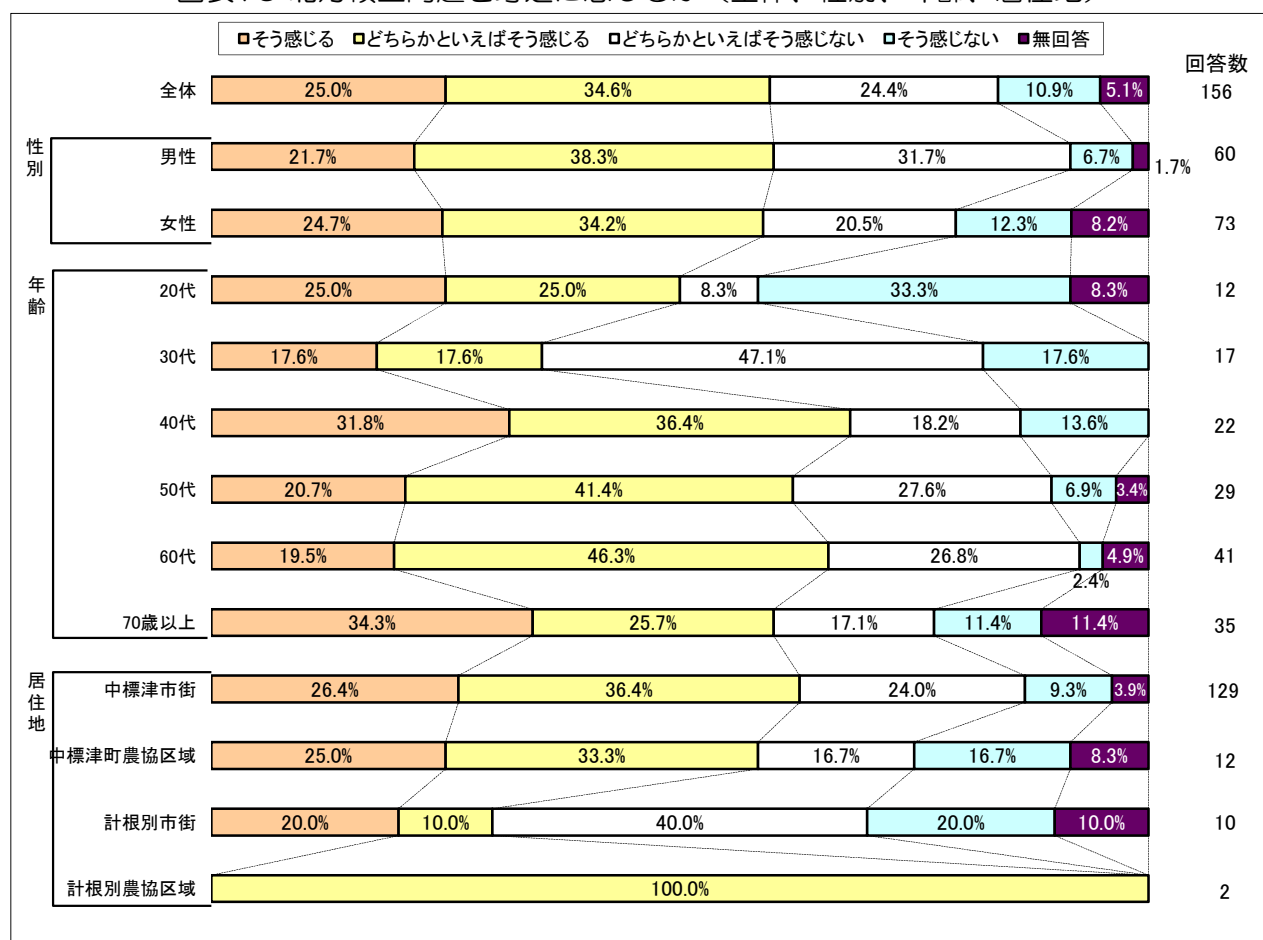
北方領土問題を身近な問題と感じるかたずねたところ、「どちらかといえばそう感じる」（34.6%）これに「そう感じる」（25.0%）をあわせた“そう感じる”人は、59.6%となっています。

一方、“そう感じない”人（「どちらかといえばそう感じない」（24.4%）、「そう感じない」（10.9%）の合計）は35.3%となっています。

性別の“そう感じる”人の割合は男性が60.0%、女性が58.9%と男性が1.1ポイント上回っています。

年齢別の“そう感じる”人の割合は、40代が68.2%と一番高くなっていますが、30代では35.2%と低くなっています。[図表79参照]

図表79 北方領土問題を身近に感じるか（全体、性別、年齢、居住地）



○この設問に対する具体的な回答は106ページに掲載しています。

3 費用負担について

(1) 取り組みに対する費用負担の可否について

問60 これまでの設問4から設問59において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。

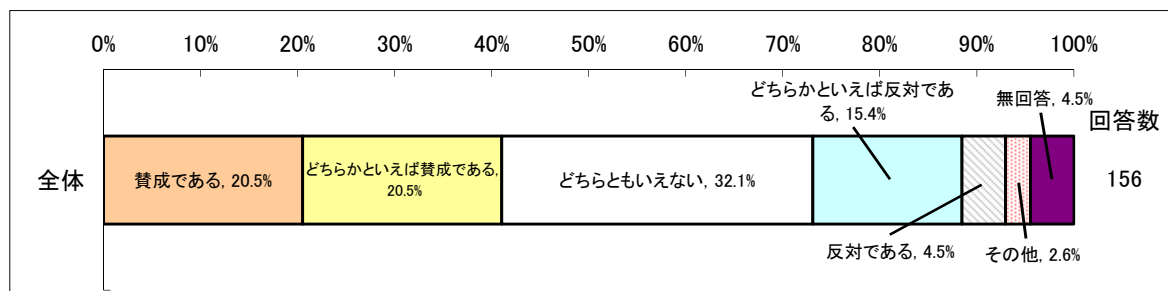
- “賛成である” が41.0%、“反対である” が19.9%、「どちらともいえない」が32.1%、「その他」が2.6%。

取り組みに対する費用負担の可否についてたずねたところ、「賛成である」（20.5%）これに「どちらかといえば賛成である」（20.5%）をあわせた“賛成である”という人が41.0%となっています。

一方、“反対である”（「どちらかといえば反対である」（15.4%）及び「反対である」（4.5%）の合計）は19.9%となっています。

なお、「どちらともいえない」の回答は32.1%ありました。[図表80参照]

図表80 取り組みに対する費用負担の可否（全体）



性別で“賛成である”人の割合は、男性（41.7%）と女性（32.9%）と男性が8.8ポイント上回っています。

年齢別にみると40代の“賛成である”人の割合は54.6%と高い割合となりましたが、30代では17.7%と2割に満たない結果となっています。

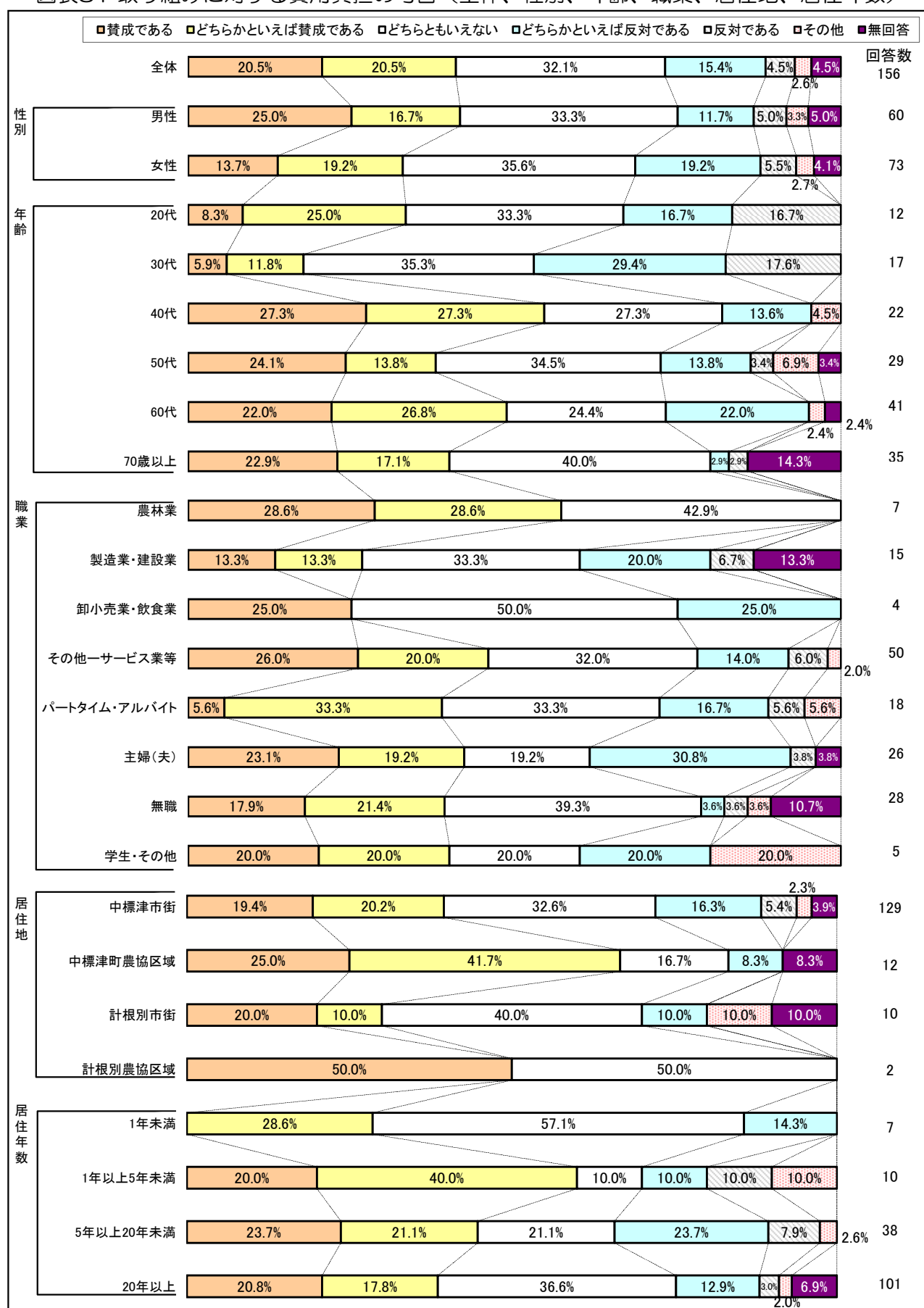
職業別で“賛成である”人の割合の高い層をみると、農林業（57.2%）となっていますが、卸小売業・飲食業においては、25.0%と低くなっています。

[図表81参照]

「その他」の具体的な回答は以下のとおりです。

有効に使用されれば。
できることなら（現在の）税金でお願いしたい。
自分の生活費にいっぱいだけの町民がほとんどです。
納税内で実現してほしい。
必要と思ったら賛成できる。
多少の負担は仕方ないと思う。
内容により判断すべき

図表81 取り組みに対する費用負担の可否（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



4 町民活動・協働について

(1) 地域活動・ボランティア活動について

問61① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。



- “参加している” が32.1%、“参加していない” が61.5%。
“参加したい” が55.1%、“参加したくない” が38.5%。

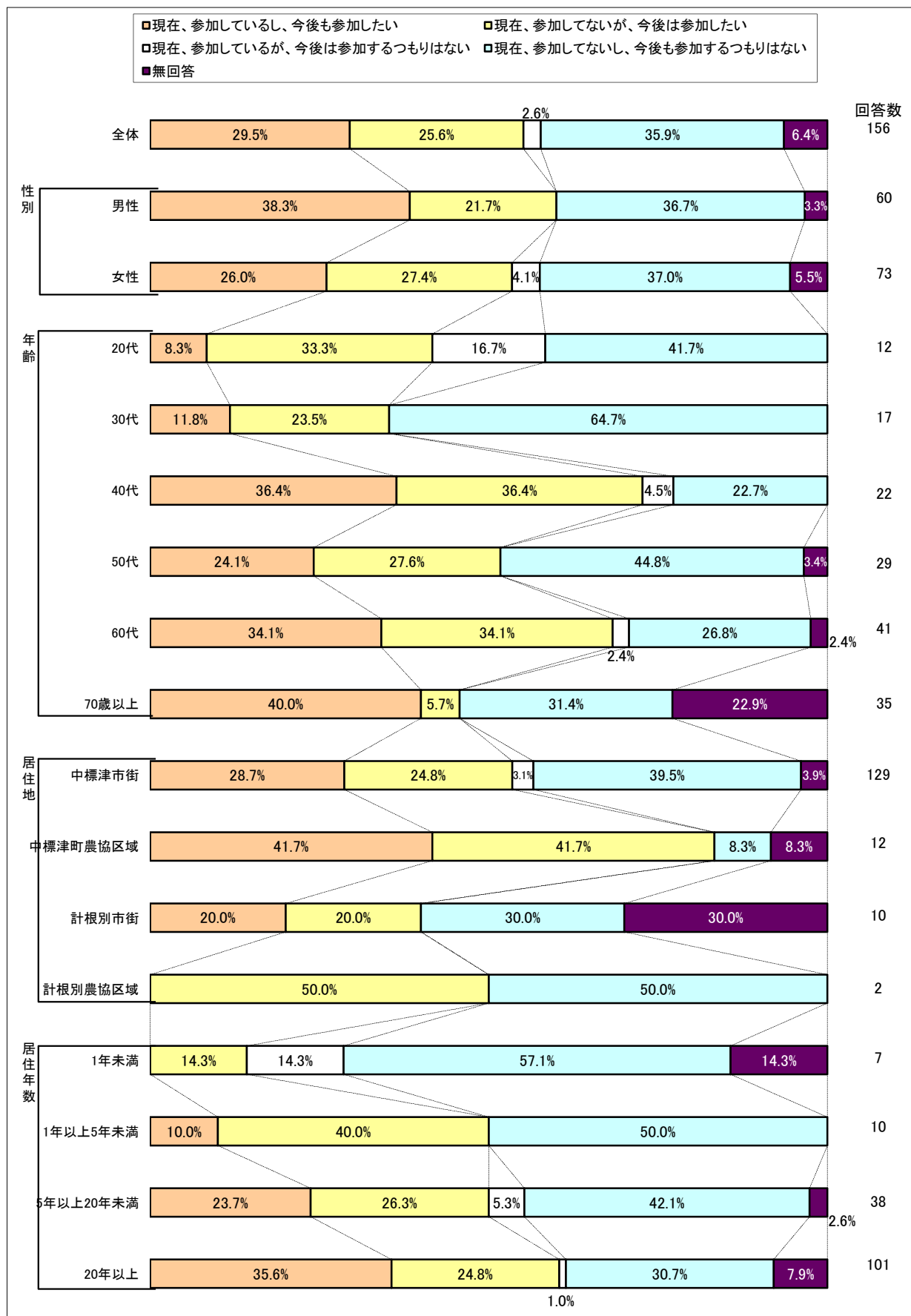
地域活動・ボランティア活動への参加状況・意向についてたずねたところ、「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（35.9%）が最も多く、次いで「参加しているし、今後も参加したい」（29.5%）、「参加していないが、今後は参加したい」（25.6%）、「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.6%）の順となっています。

これを今後の参加意向でみると、今後“参加したい”人（「参加しているし、今後も参加したい」（29.5%）及び「参加していないが、今後は参加したい」（25.6%）の合計）が55.1%、今後“参加したくない”人（「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（35.9%）及び「参加しているが、今後は参加するつもりはない」（2.6%）の合計）が38.5%となっており、現在“参加している”人の32.1%から今後“参加したい”人が55.1%に増加する結果となっています。

性別で“参加したい”人の割合は男性で60.0%、女性で53.4%と男性が6.6ポイント上回っています。

年齢別でみると、“参加したい”人の割合は40代が72.8%と高いですが、30代では35.3%と低くなっています。[図表82参照]

図表82 地域活動・ボランティア活動について（全体、性別、年齢、居住地、居住年数）



(2) 参加したい地域活動について

問61② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。

（問61①で“参加したい”と回答した人のみ）【複数回答】

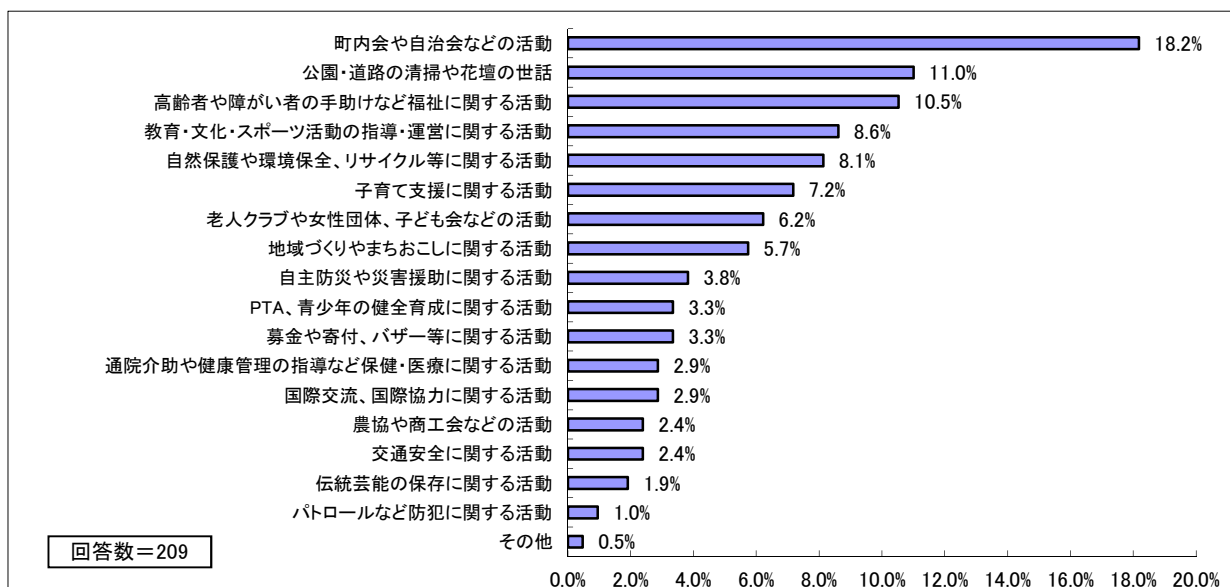


●「町内会や自治会などの活動」が第1位。次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」の順。

問61①で今後“参加したい”（55.1%）と回答した人に、参加したい活動をたずねたところ、「町内会や自治会などの活動」（18.2%）が第1位に挙げられ、次いで「公園・道路の清掃や花壇の世話」（11.0%）、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（10.5%）、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」（8.6%）などの順となっています。

[図表83～84参照]

図表83 参加したい地域活動等について（全体／複数回答）



図表84 参加したい地域活動等について（性別、年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
性別	男性	町内会や自治会などの活動 25.9	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 10.6	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 (同率2位) 10.6
	女性	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 14.4	子育て支援に関する活動 13.4	町内会や自治会などの活動 12.4
年齢	20代	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 27.3	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	30代	町内会や自治会などの活動 17.6	子育て支援に関する活動 (同率1位) 17.6	同率複数のため省略
	40代	町内会や自治会などの活動 17.6	公園・道路の清掃や花壇の世話 14.7	教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動 11.8
	50代	町内会や自治会などの活動 22.2	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 11.1	同率複数のため省略
	60代	町内会や自治会などの活動 20.3	公園・道路の清掃や花壇の世話 14.5	自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動 13.0
	70歳以上	町内会や自治会などの活動 16.7	高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動 14.3	同率複数のため省略
	中標津市街	町内会や自治会などの活動 20.0	同率複数のため省略	同率複数のため省略
居住地	中標津町農協区域	老人クラブや女性団体、子ども会などの活動 14.8	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別市街	町内会や自治会などの活動 25.0	PTA、青少年の健全育成に関する活動 16.7	同率複数のため省略
	計根別農協区域	公園・道路の清掃や花壇の世話 50.0	募金や寄付、バザー等に関する活動 (同率1位) 50.0	同率複数のため省略

5 中標津町役場について

(1) 情報共有について

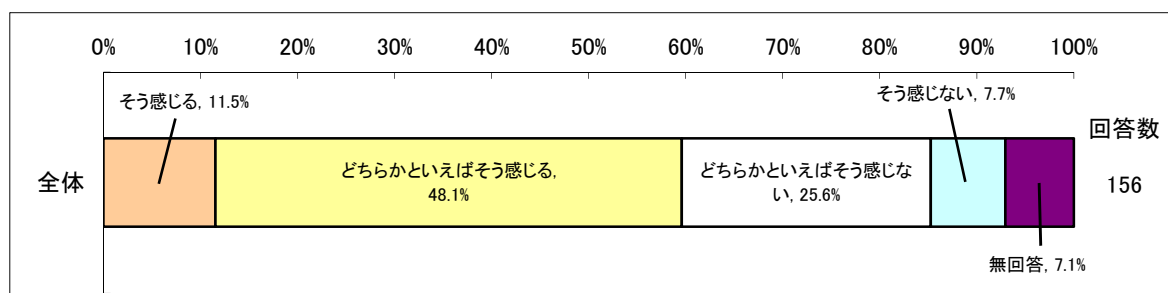
問62 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

● “そう感じる” が59.6%、“そう感じない” が33.3%。

町の情報について知りたい情報が得られているかたずねたところ、「そう感じる」(11.5%)これに「どちらかといえばそう感じる」(48.1%)をあわせた“そう感じる”人は59.6%となっています。

一方、“そう感じない”「どちらかといえばそう感じない」(25.6%)及び「そう感じない」(7.7%)の合計)人は33.3%となっています。【図表85参照】

図表85 知りたい情報が得られているか（全体）

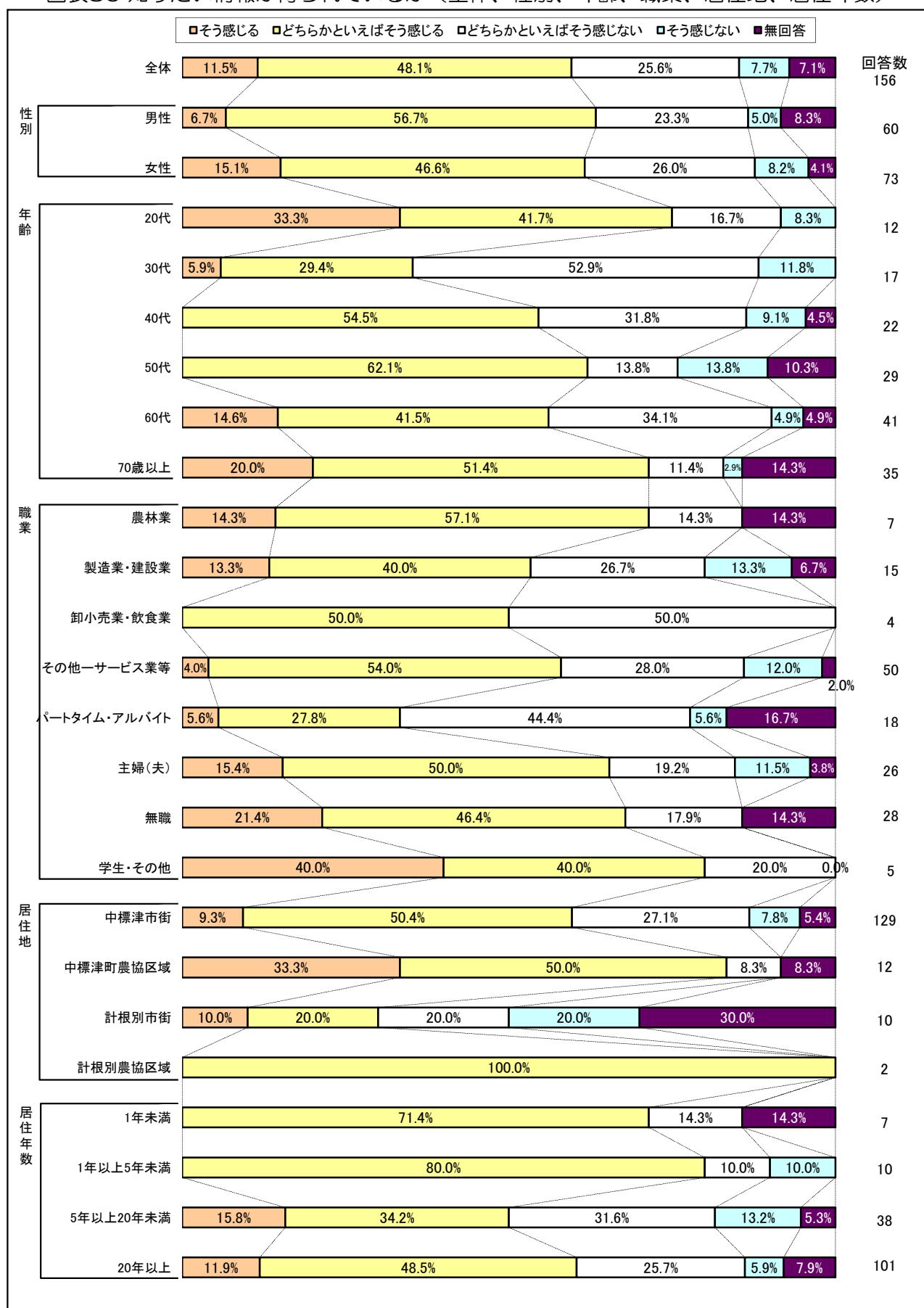


性別で“そう感じる”人をみると、男性（63.4%）が女性（61.7%）を1.7ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は20代の年齢層が75.0%と一番高く、30代では35.3%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では学生・その他（80.0%）、居住地では計根別農協区域（100.0%）、居住年数では1年以上5年未満（80.0%）などとなっています。【図表86参照】

図表86 知りたい情報が得られているか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は107ページに掲載しています。

(2) 役場の窓口について

問63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

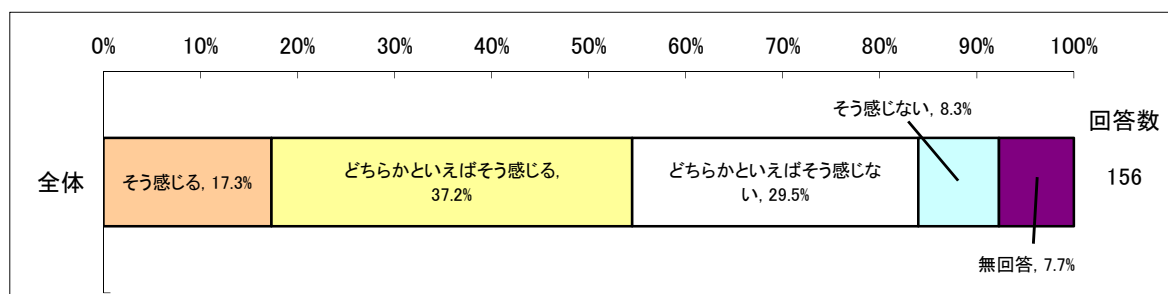


- “そう感じる” が54.5%、“そう感じない” が37.8%。

役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じるかたずねたところ、「そう感じる」(17.3%)これに「どちらかといえばそう感じる」(37.2%)をあわせた“そう感じる”人は54.5%となっています。

一方、“そう感じない”（「どちらかといえばそう感じない」(29.5%)及び「そう感じない」(8.3%)の合計）は37.8%となっています。[図表87参照]

図表87 役場窓口を利用しやすいと感じるか（全体）



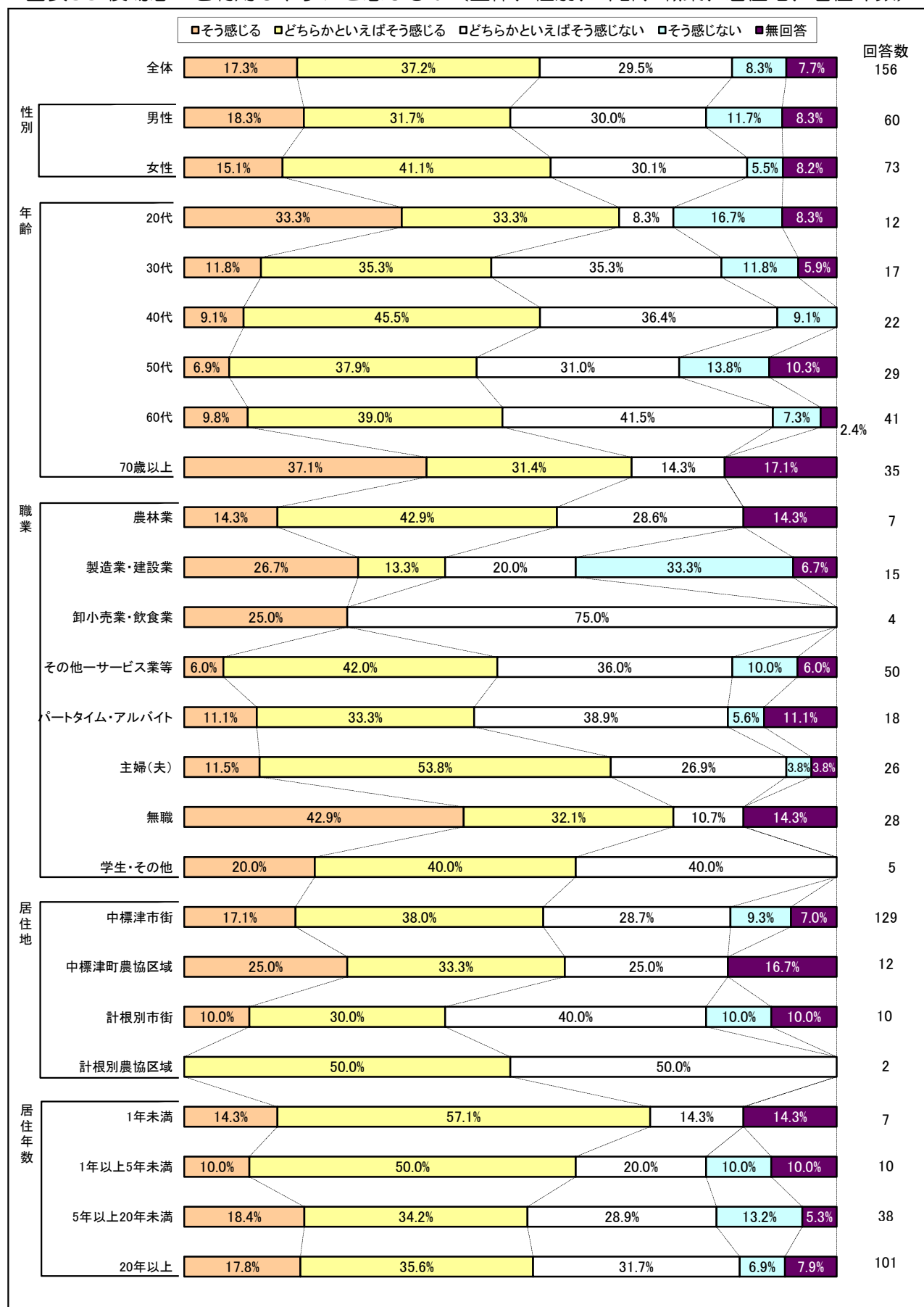
性別で“そう感じる”人をみると、女性（56.2%）が男性（50.0%）を6.2ポイント上回っています。

年齢別で、“そう感じる”人は70歳以上の年齢層が68.5%と一番高く、50代では44.8%と低くなっています。

職業別・居住地・居住年数で“そう感じる”人の高い層をみると、職業別では無職（75.0%）居住地では中標津町農協区域(58.3%)、居住年数では1年未満（71.4%）などとなっています。

[図表88参照]

図表88 役場窓口を利用しやすいと感じるか（全体、性別、年齢、職業、居住地、居住年数）



○この設問に対する具体的な回答は108ページに掲載しています。

6 将来人口目標について

(1) 目標の達成に必要なこと

問64 第6期中標津町総合発展計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）では、平成32年度の将来人口を25,000人（平成29年3月末現在23,582人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

●回答者84人、記入率53.8%、意見142件（記述式での回答）

目標達成に必要な取り組みについて、意見等を記入した人は84人で、回答者（156人）に対する記入率は53.8%でした。これらの記述された意見等を集約すると記入された意見は142件となっています。[図表89参照]

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表90～91参照]

図表89 目標達成に必要な取り組みについての記入状況（全体、年齢別）

	全体	年齢						
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
回答者数	156	12	17	22	29	41	35	0
意見記入者数	84	7	10	14	19	19	15	0
記入率（%）	53.8%	58.3%	58.8%	63.6%	65.5%	46.3%	42.9%	0
意見件数	142	9	16	26	26	39	26	0

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表90 目標達成に必要な取り組みについての分野別意見（全体、年齢別）

	全	体	年 齢						
			20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
全体	142	9	16	26	26	39	26	0	0
	100%	6.3%	11.3%	18.3%	18.3%	27.5%	18.3%	0.0%	0.0%
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	18	1	3	3	4	3	4	0
		12.7%	11.1%	18.8%	11.5%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%
	健康・福祉・ 医療分野	39	3	6	7	4	13	6	0
		27.5%	33.3%	37.5%	26.9%	15.4%	33.3%	23.1%	0.0%
	経済・ 産業分野	54	3	5	12	13	11	10	0
		38.0%	33.3%	31.3%	46.2%	50.0%	28.2%	38.5%	0.0%
	生活基盤分野	27	2	2	4	4	9	6	0
		19.0%	22.2%	12.5%	15.4%	15.4%	23.1%	23.1%	0.0%
分 野 別	生活環境分野	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
分 野 別	教育・ 文化分野	4	0	0	0	1	3	0	0
		2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%

図表91 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	項目	意見集約	件数
まちづくり・ 行財政分野	国際化、地域間交流の促進	地域間交流。	1
	人権の尊重と 男女共同参画社会の形成	働く女性に対する支援体制がきちんと機能するように各職場の意識改革をする。	1
		女性が子どもを産んでも働きやすい環境とストレス発散できる環境になればよいと思う。	1
	計画的な 行政経営の推進	計画施策の推進。	1
		役場から不祥事を出さない。	1
		受け皿（病院、学校）を確保すれば、取り込みをしなくても人口は増えると感じる。25,000人の根拠が何か触れてから質問すべきと感じる。	1
		民間の知恵を活用し、生産性の高い取り組みを実施する。	1
		空港があって人の出入りが多く、出張者等の方々はお世辞でも「よい町ですね」といってくれるが、町が作り上げた感じはしないと聞く。	1
		魅力的なサービスの提供をする。	1
		願わくば、結婚して子どもが生まれ、街の自然のうちに終生生活していきたいものと思います。そのためにも、住みよい町にと期待します。	1
		将来人口25,000人は過大設定。現状維持、微減のための取り組みが必要。人口減少を視野に入れた社会資本の整備も求められるのでは。	1
		近隣の都市のほうが買い物にしても遊ぶ施設にしても魅力があるため、若者が住みたいと思える町になればと思う。	1
		色々な施設の充実。	2
		公共施設の充実による来訪者を増やし、中標津町に来てみて良かった、また来たい、住んでみたいという気持ちになってもらう。	1
		若者に対して、夢、希望が持てる社会にする。	1
		この町に足りないものを見出し、提案し、新しいことをはじめていかないと、ただのんびりした町だけで終わってしまうのでは。	1
		人口を増やす計画があるのなら町民が出来るだけ支出の少ない環境づくりをしていかなければ難しいと思われる。	1
健康・福祉・ 医療分野	子育て支援の充実	子育て支援の充実。	6
		子育て世代が安心して過ごせる、そしてその子が地元で暮らしていける取り組み。	1
		若い方が安心して生活、子育てできる環境。	2
		子どもが少ない家庭が増えることの弊害を学ぶ方策を考える。人口増の優良事例を研修し、この町にも取り入れるようにする。	1
		子ども（子育て）がしやすい環境の整備（保育施設の充実等）。	1
		子育て世帯への優遇対応実施（保育料の軽減等）。	5
		児童手当の拡充・医療費の無料化など。	5
		出産後、義務教育が終わるまでの子どもにかかるお金の負担軽減（学費と部活等）。	1
		子どもたちが夢を持つことが出来る取組。	1
	高齢者施策の充実	介護保険、高齢者保健サービスや施設の充実。	2
		お年寄りの介護サービスが受けたくても受けられないことがないようにする。	1
		高齢者が安心して生活できるまちづくり。	2
	地域福祉の充実	福祉の充実。	3
	健康づくりの推進	健康寿命を延ばすことができるような取り組み。	1
	地域医療の充実	医療機関・医療体制の充実。	7
経済・ 産業分野	農業の振興	酪農の町といわれている中標津町が酪農家がどんどん減っている。これを止めるのは町をあげて考えるしかないと思う。	1
		酪農は中標津では盛んですが、農業の活性化。	1
	商工業の振興	企業誘致。	4
		単に人口を目的とするのではなく、中身が問題だと思います。交流人口を増やす、地域経済力をつける等。	1
		大型店ができると、働く場所も増え、人口も増えるのではないかな。	1
		大学や専門学校の誘致。	4
		教育面で大学・専門学校など地元があれば、子育て世代にも育てやすい環境になる。	2
		若者向けのお店を増やすこと。	1
		企業の誘致や、商店街等、町に活気があるようなPR。	1
		娯楽施設の建設。	1
		廃校を利用した企業誘致。	1
		LCC航空誘致。	1

図表91 将来人口目標の達成に必要な取り組み一覧

分野	項目	意見集約	件数
経済・産業分野	観光の振興	中標津の魅力はPRし、町のことを多くの人に知ってもらおう。	4
		観光の振興。	3
		他の地域に住む人にまず一度来てもらうようなイベントをもっと開催して、知ってもらう努力が必要。	1
		ゆめの森のPR。	1
		積極的に町のよいところを発信してPRする。この町にしかない特別なものを発案する。	1
	6次産業化の推進	中標津町の特徴を生かした産業を起こす。	1
		一次産業の衰退をおさえ、新しい産業の開発と普及を行う。	1
	雇用対策の推進	中、高校生へ中標津町内（根室管内）の働く場所が沢山あることを周知してほしい。若い人が戻ってこれる職業の提供。	1
		若者の働く場所の充実。	9
		雇用の創出。	8
		若い人の仕事で定着しないのはなぜか等、見直すところはないのか検討する。	1
		若者が将来安心して働き続けられよう企業、職場がほしい。官民一体となった対策を考えねばと常々思う。	1
		進学した人達が中標津に帰ってくることができるように、安定した賃金を得られ、結婚しても子どもを育てられる職場が多く必要。	1
		中標津町に就職した際にお祝い金をだすなど、何か若者が残りたいと思えるようなことを考える。	1
		安定した職場体制（給料、休暇、待遇etc）。	1
		特産品の加工工場など、働く場所を作ることだと思います。	1
生活基盤分野	コミュニティの育成	受容的、友好的な地域組織作り。	1
		婚活の推進。	1
		移住者の受入をする。	2
		移住促進をしてほしい。	1
		若い人向けの交流イベントの開催。	1
		町内だけではなく外へのアピールが必要だと思います。	1
		中標津町は住みやすい街である。道外、特に大都市にPRをして移住に向けて体験してもらう機会を多くすべきである。	1
		リタイヤしただけで、まだまだ頑張れるご年配の方々に移住してもらう。	1
		若い人の移住。	1
		空き家バンクのような事業を実施し長期滞在促進、若年層の家賃負担軽減を図る。	1
	計画的な土地利用と市街地整備の推進	商業施設も若い人がもっと参入できるようなところがあると良いと思う。	1
		大型施設やお店等の計画等。	1
		自然環境を維持しつつ、開拓を広げ土地代の補償を行うなどして、人口増を目指す。	1
		公共事業を多くする。	1
		コンパクトシティを目指しインフラ維持費用を削減する。	1
	道路・交通網の充実	交通網等の整備（高規格道路、高速道路など）。	1
		公共交通の充実。	1
	住宅施策の推進	住宅の用意。	1
		町営住宅の充実。	1
		新築住宅の費用（取得税）への優遇があればよい。	1
		住みやすい町（部屋など）にすること。	1
		貸住宅賃金の全体的な値下げ（他の市町村に比べ高い）又中古住宅等の補助金手当。	2
		サービス付き高齢者住宅のような安心して生活できる施設を多くしてほしい。	1
	公園・緑地の充実	河川敷の整備（公園化）。	1
		楽しみの施設（テーマパーク等）も少ないので、ゆめの森のような家族で楽しめる施設を増やしてほしい。	1
教育・文化分野	学校教育の充実	給食の無料化。	2
		教育費の無償または補助。	1

7 行政との関わりについて

(1) 協働の推進に向け町民が行政に望むもの

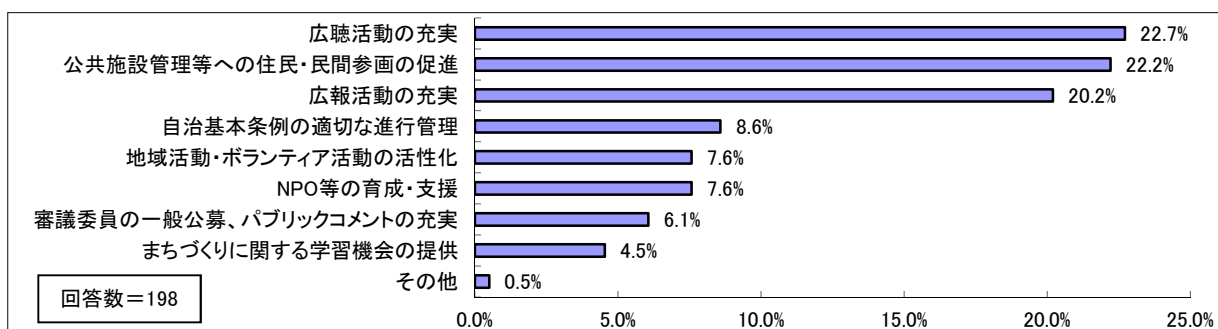
問65 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。

●「広聴活動の充実」が第1位。次いで「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」、「広報活動の充実」の順。

協働の推進について今後の取り組みは何か必要かたずねたところ、「広聴活動の充実」(22.7%)が第1位に挙げられ、次いで「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」(22.2%)、「広報活動の充実」(20.2%)、「自治基本条例の適切な進捗管理」(8.6%)、「地域活動・ボランティア活動の活性化」(7.6%)、などの順となっています。

年齢別では、20代は「広報活動の充実」、40代は「公共施設管理等への住民・民間参画の促進」、他の年齢層では「広聴活動の充実」が第1位となっています。[図表92～93参照]

図表92 協働の推進に必要な取り組み（全体／複数回答）



図表93 協働の推進に必要な取り組み（年齢、居住地／複数回答）（上位3位 %）

		第1位	第2位	第3位
年 齢	20代	広報活動の充実 22.9	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 (同率1位) 26.1	広聴活動の充実 17.4
	30代	広聴活動の充実 26.5	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 23.5	自治基本条例の適切な進捗管理 14.7
	40代	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 24.0	広聴活動の充実 20.0	審議委員の一般公募、パブリックコメントの充実 (同率2位) 20.0
	50代	広聴活動の充実 31.4	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 17.1	広報活動の充実 14.3
	60代	広報活動の充実 26.7	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 (同率1位) 26.7	広聴活動の充実 16.7
	70歳以上	広報活動の充実 24.5	広聴活動の充実 22.4	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 18.4
居 住 地	中標津市街	広聴活動の充実 24.9	公共施設管理等への住民・民間参画の促進 23.7	広報活動の充実 18.5
	中標津町農協区域	広報活動の充実 33.3	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別市街	広報活動の充実 33.3	同率複数のため省略	同率複数のため省略
	計根別農協区域	広報活動の充実 33.3	地域活動・ボランティア活動の活性化 33.3	同率複数のため省略

Ⅲ まちづくり町民アンケート自由意見

1 自由意見

(1) 自由意見の記入状況

自由意見欄に意見等を記入した人は、54人で、回答者（156人）に対する記入率は、34.6%でありました。これらの自由記述された意見は71件となっています。

集約した意見を「まちづくり・行財政分野」「健康・福祉・医療分野」「経済・産業分野」「生活基盤分野」「生活環境分野」「教育・文化分野」という6つの分野で区分し、まとめると次のとおりとなります。[図表94～96参照]

図表94 自由意見の記入状況（全体、年齢別）

	全 体	年 齢						
		20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
回答数	156	12	17	22	29	41	35	0
意見記入者	54	2	5	7	14	16	10	0
記入率（%）	34.6%	16.7%	29.4%	31.8%	48.3%	39.0%	28.6%	0.0%
意見件数	71	6	10	11	17	17	10	0

※年齢不詳は問1（2）年齢が無回答のもの

図表95 自由意見の分野別意見数（全体、年齢別）

		全 体	年 齢						
			20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不詳
全体		71	6	10	11	17	17	10	0
		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—
分 野 別	まちづくり・ 行財政分野	28	3	4	3	6	8	4	0
		39.4%	50.0%	40.0%	27.3%	35.3%	47.1%	40.0%	—
	健康・福祉・ 医療分野	14	1	3	1	3	3	3	0
		19.7%	16.7%	30.0%	9.1%	17.6%	17.6%	30.0%	—
	経済・ 産業分野	9	2	0	2	3	2	0	0
		12.7%	33.3%	0.0%	18.2%	17.6%	11.8%	0.0%	—
	生活基盤分野	11	0	1	2	3	2	3	0
		15.5%	0.0%	10.0%	18.2%	17.6%	11.8%	30.0%	—
	生活環境分野	3	0	1	1	1	0	0	0
		4.2%	0.0%	10.0%	9.1%	5.9%	0.0%	0.0%	—
	教育・ 文化分野	6	0	1	2	1	2	0	0
		8.5%	0.0%	10.0%	18.2%	5.9%	11.8%	0.0%	—

図表96 自由意見一覧

分野	項目	意見集約	件数
まちづくり・ 行財政分野	協働のまちづくりの推進	花壇の花の手入れは、町民の中から花好きを選び実行させる。他の人も交流が深まり、生きがいにもなる。	1
		議員さんたちともっと交流して話ができる場があると町民の意見を掘り下げて聞いていただけるのでは。「議員さんの1日先生」で参観日等子どもと一緒に授業を受けたいです。	1
		アンケートをとるだけでなく、耳の痛くなる町民の声を拾って議題にしてください。町外の友人そのほかにも中標津良い町だよと誇れる町にしてください。	1
		一番の財産である「ひと」を育てるために共通認識をもって地域づくりができればと思う。	1
		情報公開、情報提供など広報活動の充実を。求める情報が掲載されていないことが多い。	1
		みんなで考え、今の子どもたちが家族を持ってもずっと住み続けたいと思ってもらえる街づくり、高齢者の方もいつも笑顔でいられるような町だったと思います。	1
		役場職員が町内会に入るべきです。	1
		町民あつての役場（行政）である。町民の要望に常に耳を傾け、それに早く対応するよう研修・研究に努め、町民が安心して毎日を過ごせるよう努力して欲しい。	1
		町政・町議の活動に不満	1
		町議会がしっかり活動していただきたい。	1
		核家族が増えると思われるので子育て、高齢化に向けて相談窓口、情報を得られやすいように工夫が必要かと思っています。	1
	コミュニティの育成	花と調和する街づくりを掲げたい。花の咲く木を必ず一本植える運動をしてはどうか。人々も樹木のように根を生やして町の将来を考える社会になればと思います。	1
		地元に住んでいる人々が閉鎖的なコミュニティではなく、移住者を受け入れる開放的な地域。	1
		高齢者の方と子どもたちの交流を増やしてください。お互いに刺激になります。	1
	計画的な行政経営の推進	良いまちだと思います。今後も安心、安全に暮らせる街づくりをお願いします。	1
		がんばってください。民間目線が必要。	1
		都市マスや総合発展計画がまだ策定されるとと思いますが、50年後100年後をイメージするのも大事だと思います。特に道路整備や公共施設を建てる場所は50年先を見据えてほしいです。	1
		読むだけで疲れた。老人にアンケートは少し厳しい。	1
		こういったアンケートをもっと簡単にわかりやすくしてください。中標津町民代表の方々は町民の小さな声にも耳を傾けて「難しい」で片付けずに、十分に知恵を振り絞ってください。	1
		世代交代が必要。若者が住みやすい街づくりを考えていく。若者が元気に暮らせることは老人を支えることにつながるのでは。	1
		一人生活者には回答し得ない内容が多いと感じました。（あくまでも個人的な意見です。）	1
		人口も増え、施設も充実し、生活も格段に良くなりました。奉仕活動などにも参加させていただき、私個人としては満足いくものでした。	1
		中標津はいい町だと思って暮らしています。若い役場の職員の方々が活き活きとして働いてくだされば、なお一層よい町になるのではないかと思います。	1
		役所の不祥事が多すぎる。町を良くするためには役所の内部を良くしてください。	1
		町民が還元されるシステムの構築	1
		目先だけではなく、先の先まで考えて欲しい。	1
		限られた財源は、高齢者施策より、将来を担う子ども、若者、子育て世代の支援に向けてほしいと思います。（医療費、保育料、教育費、家賃等の助成）	1
		この町に引っ越してきて、水道料金の高さに驚きました。	1
健康・福祉・ 医療分野	子育て支援の充実	母子家庭にとって安定した収入を得られる、安心して暮らすことのできる環境を中標津町が取り組んでいただけたらいいと思います。	1
		託児所の充実（託児所開設の資金援助など）子どもを預けて働きたい方は沢山います。	1
		保育料を本当に何とかしてください。若い人たちがお金を使わないと町にお金落ちません。	1
		子育て	1
	高齢者施策の充実	中標津町は町民に対して関心が少ないように思います。老人に対して対応が少ないように感じます。他の町に比べたら不便だと思います。福祉バス（マイカーバス）を多く走らせてほしい。	1
		病院の資質の向上	5
		町立病院スタッフの意識改革（接遇など）	2
		中標津町立病院の充実により各町村よりも人口増が望めるので、充実をお願いしたい。	1
経済・ 産業分野	農業の振興	道の駅があれば観光客が訪れるかと思う。	2
		規模は小さくても既存の催事のタイアップとしてイベントを実施すべきでしょう。	1
	商工業の振興	地産地消、中標津物産展を町内で行う。	1
		語学学校を設立して、外国語教育を受け、語学堪能な町民を多く送り出す。	1
	観光の振興	子どもが遊べる、外食しても回りにあまり気を使わない場所をもっと作って欲しい。	1
		道の駅があれば観光客が訪れるかと思う。	2
	雇用対策の推進	規模は小さくても既存の催事のタイアップとしてイベントを実施すべきでしょう。	1
		若い人への雇用拡大	2

図表96 自由意見一覧

分野	項目	意見集約	件数
生活基盤分野	道路・交通網の充実	町内のどこの道路も非常に悪い。	1
		あまりにバスの回数が少ない。回数を増やすことを願う。	1
		LCCの誘致など、他とつながる交通網の充実、かつ低価格での行き来に期待します。	1
		公共交通機関の充実は急務と考えます。	1
		年配の人が免許返納したら何かしら（タクシー割引とか）特典があれば、早い段階で返納する人が増えるのでは。	1
		歩道の整備	1
		冬期間の除雪作業（地域別なのか全体なのか）、委託業者がわかるように。	1
		交通手段を大いに考えてほしい。バスについては、もっと小型化して（ワゴン車）本数も増やし上下線化。タクシーも含め割引券等検討してほしい。	1
		運転ができなくなった時の移動手段が、バス、タクシーしかないのは、不安である。小型の通院バスや、買い物バスなどがあれば、冬等もとても安心感が出ると思える。	1
	住宅施策の推進	不動産が高い。町営住宅も入居の倍率が高く、生活するには不便だと感じることがあります。	1
	防犯・交通安全の充実	押しボタン式の歩道橋が整備されてなく不便。暗くなってから歩くのに街路等が少なく不信も多く心配なのでもう少し多く街路灯をつけてほしい。（通学路は特に）	1
生活環境分野	環境保全の推進	家のすぐそばの工場のようなところでの騒音に困っています。中標津町では早朝の大きな音を立てるのは禁止…というような条例はないのでしょうか？	1
		犬猫の殺処分ゼロ	1
	循環型社会の形成	ごみの分別がこまかくてわかりにくい。	1
教育・文化分野	学校教育の充実	義務教育期間中の学校経費の無料化実施	1
		農高に寄宿舎を設置	1
		教育に関する事業の充実	1
	スポーツの振興	総合体育館の利用の見直し。これだけ多くの人が1つの総合体育館だけを利用するのは無理がある。学校の体育館の利用も再度検討お願いします。	1
		中標津スキー場があまり生かされていない感じがする。もう少し使いやすくしてほしい。	1
		開陽台マラソンは知名度がUPしてきており、他のまちからくるようになってきた。もっと大きな大会を作っていけば、町の収入UPにつながるのでは。	1

IV 設問別記述

問4 全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。

満足している理由
除雪、排雪がはやい。
不便を感じていないから。
大きな店と小さな商店があるから。
買い物等には困らない。
都会すぎず、田舎すぎず、ちょうど良い。
そこそこ充実している。
子育て支援センターがきれい。ゆめの森公園がある。幼稚園の給食、先生方が良い。
最低限の施設はある。
生活に便利
生活するのには住みやすい環境だと思います。
空港がある。(子どもが道外に住んでいるため)
不満に思う部分がないため。
静かで自然が多く暮らしやすい
住居と商業地の区分け
個人的に立地条件のいいところに住んでいるので。
町の景観計画書を目にするので
管内他市町に比べ、交通の便が良い。都市計画も徐々ながら整備されている。
買い物が近くてよい、きれいな街
病院が近くにある事、しるべつとや経済センター等を利用できること
医療関係以外は住みよい
空港がある。
子育て支援等
空港が近くにあり、便利である
住みやすいが、医療の充実をもっと良くしてほしい
自分の家があるから
多少の不便さを我慢すれば住みやすい町だから
日常、健康であれば不便はない。
現在困っていることはない。
イベントやまちのPRに力を入れていると思うから
近隣住民が優しい
生活に困らない。静かで毎日が安心して暮らせる。
町で見かける年配の方々が、家庭菜園や庭作り、パークゴルフ等積極的に楽しもうとしての方が多から。
生活に十分な施設があるから。
買い物等の移動がしやすい
生活しやすい施設(道立ゆめの森公園やスーパーマーケット等の店舗等)が充実している。
飛行場が近くて便利
特に不満に思うことがない。
住みやすさに満足している。
町が静か、空気が良い
娯楽施設があればもっと良い(映画館など)
大型店舗、有名店の進出や色々なイベント(コンサートや、観光祭り)が盛んなところ。
緑が美しい
日常が平穏である。
生活環境がよいから
悪いところが見つからないから
少しずつですが取り組みを始めている。
いろいろな店もあり、活気があると感じる。
町民が参加していける まちづくりができる
満足していない理由
具体的なまちづくり活動が感じられない。
サブカルチャーの推進が不足していると感じる。
家族が帰省する際に、イベントの日にならぬと不安定せず、帰ってきた際には終わっているというのはいかかなものかと感じる。一つも楽しみがない。
行政のやる気が感じられない。
医療が充実していない
道路の整備に不満。街路樹が伸びすぎて、交差点が見づらい。自転車で走るとデコボコ。
立派な空港があるのに外からくる観光客は少ないと思う。町のアピールが少ない。道の駅がないのが痛すぎる。
「まちづくり」してますか？
町中が栄えていない
活気がない
近隣の町と比べると、満足できない。無料配布や子育て。

公園の整備
高校、大学が充実していないので若い世代が育たない。就職しても続かない。
観光等で来町される方に不親切。観光の窓口がない、町を紹介する案内板がないなどの声を聞く
中標津をどのようにしたいのかわからない。特産品は牛乳？芋？ようかん？何を推す。来て良かったって言える街づくりをしてほしい。
観光客等を迎え入れる施設・名所が非常に少なく、道の駅・レジャー施設など中標津らしいものがほしい。
もう少し買い物できる場所を増やしてほしい。
施設の場所が分散している
もっと観光に力を入れたほうが良いと思う
休日に犬と散歩しに円山公園に散歩に行くが、公園内の歩道の整備、夏の草刈等整備がなされていない。
以前より店舗が増えたが、病院や遊ぶ場所に不足を感じ、釧路等に行ってしまう。
住所がわかりにくい
もう少し遊べる施設を増やしてほしい。
町と住民の一体感がない
もう少し子どもが遊べる無料の施設を作してほしい。
町の発展を民間企業任せにしている行政に納得していない。
遊ぶ場所が少ない。
酪農、農家の未来に希望が持てない。
冬の除雪をきれいにやってほしい。車で左右の確認などがしにくい。
道路整備、病院、除雪に不満がある。
除雪対策が雑である。
病院の先生のレベル。釧路に行かなければならないため、不便。
免許証返納の特典(タクシー券など)
バスの運航方法、道路整備の状態
町民に対して刺激を与えるようなアイデア等を提言し、元気な町職員であってほしい。自分たちの守りが強すぎる。
近所の下水の側溝に水がたまってきたまま汚い。
医療面が不便・ネットが不便・市街地のみ改善されていく
都市化して隣人関係が悪い！交通の便が悪い。車を運転できなくなった時の事を考えるとぞっとする。
町民に対しての還元が少ない、祭・イベントが少ない、活気がない、高齢者用施設が少なすぎる、物価が高い、昔ながらの「殿様商売」が強い
交通の利便性
末端の町民にまで伝わってこない。何をしてきたのか、よくわからない！

問6 町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。

そう感じる理由
他の自治体でも住民の文化を大切にする取り組みをしていて、自分の町もそうあってほしいです。
行政の人たちも町民なので、町民の意見を汲み取っていると思う。
町民も意見が出せる場がある。
公共施設等の改善や改築等。
人口が減り続けている町が多い中、思いのほかこの町は人口が減っていない。
祭りや景観街づくりフォーラム等で。
地元紙(新聞)や町広報から。
町総合発展計画により、町民、職員、一帯となった取り組みを行っていると思います。
町民と協力して進めている
道路等掃除している人を良く見かけます。感謝です。
人口の割りに交通面など整備されている。空港等満足している。
昔はなかったお祭り等催しが増えたり、新しいスポーツ施設ができたり、色々な世代の方が交流している。
道路網が良く管理されている。(道路の凹凸が気になるが)
役場と町民との交流(意見の話し合いの場)が多い。
少しずつではあるが活性化されていると思う。
広報での町の動きが見える。
しるべつとや体育館、ゆめの森公園など町民の活用度が高く、いつも人々が集う場所となっている。除雪はかなり役立っている。
老朽化した施設をきちんと建て替えているから。
こういったアンケートを出し、広く町民の意見を入れようとしているから。
生活面や医療福祉など
らいふまっぷ、社協だよりなど拝見すると、努力しているのが良くわかります。
行事に町民の参加が多いときがそう感じる。
そう感じない理由
行政の積極性がみられないため、まちづくりの気運が低い。(ある程度の先導的役割は重要)
具体的な取り組み等を知らないの。
特定の人だけが自己満足のよう感じられる。
中標津町の出入り口や市街等、道路の沿道の花壇等全く手が行き届かず、他の地域より印象が薄い。
一部の意見だけで物事が進められている。
町民と言うよりも、町議員と行政と感じる。

そもそも問われることがないし、意見を言う機会がない。
暮らしている中でそういう場に自分が参加していないから。
町内の移動がスムーズではない。
色々な施設があるが、無駄なところがあったり、不足するところがある。
一部の町民しか協力していないと思う。行政もたいしてまちづくりに関心がないのでは？関心があるならもっとアピールできるはず。
「まちづくり」？「協力」？そもそも疑問です。町民が難しいのであれば町内会を通して活動したいです。
町民が意見できる場がさっぱりわからない。このアンケートも町政に反映されているのか疑問。
イベントの有無がわからないため
町民＝行政と思えることがない。
事業、施設を決定する前に、広く町民の意見を聞いてもらいたい。
具体的に何をやろうとしているのかわからない。
提案は沢山情報誌で目にしますが、どのように進んだのかという情報が入ってこない。
何をしているのかよくわからない
行政の計画にそった方向に結論が出されているように感じる。町民の意見が反映されにくい。
行政指導の力の不足を大きく感じる
アパート居住で町内会に未加入のため
もっと身近に関われる活動などがあると良いと思う。
老人が参加できる活動の場が少ない。
情報公開が不十分だと思う
計根別地区が取り残されているように感じる
どのように関わってよいかわからない。
PR不足。町民の無関心
町外から来た人間が、もう一度来たいと思うような町ではない。
バス回数の不足。
道の駅がない、連合町内会に対して不満
自分自身が意見を述べたことはないから、行政が計画し、街づくりを進めているとは思う。
町立病院の医者不足。
医療が充実していない。
郊外に住んでいるため、あまり感じない。
町民との対話は足を使って接触すべし
へき地の整備が遅れている。農家の子育て支援がされていない。
どんなアピールをしているのか伝わってこない。そもそもまちづくりが何かかわからない。
住み始めて一年未満なので町の行政についてわからない
町づくりの情報が少ない
行政がどのように協力しているのかわからない
まだ具体的に町づくりに参加している町民を見ていない。
お互いの意見を聞く機会があまりないと感じるため。
行政が協力しているかまでは感じられないので・・・
町民と行政の考え方が一致していないと思います。
町民と行政が協力している印象を受けない。

問8 中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。

そう感じる理由
コンビニ、スーパー等の買い物には全く不便をしないので。
病院や買い物の利便性がよいから。
大きな商業施設ができてきているので、釧路等に出向かなくても用が足りる。
商業施設がコンパクトにかたまっている。
スーパーが多くある。服を買うところは少ない。
運転もできるのでどこにでもいける。
中心市街地に居住しているので、何か用事があると、近場で済ませられる。
人口が中心に集中しているし、施設等も中心地にある。
郊外では店舗が充実している。
銀行や商店等が近くて充実している。
車なので行きたいところへ移動できる。
さまざまな種類のお店が多数あり、距離も遠くないため。
買い物は大体そろう。
買い物ができるので便利
銀行は利用する
ある程度手入れが行き届いているように感じられる。
居住する場所にもよるが、学校、医療機関、商店等、比較的近距離にある。
商業施設が充実している。
買い物するのに町内で間に合っている

良い意味での明るい街。中年層ががんばっている
店舗等充実している
空港が近くにある
車での移動で不便を感じたことがない
必要最低限のものは買うことができる
買い物等に便利である。
緊急に必要とされる場所（病院、学校など）へのアクセスが不便
商業地、公共施設がコンパクトにまとまっているので利用しやすい。
チェーン店や銀行、スーパー等、近くにあるため利用しやすい。
商業施設の規模がちょうどよい。
施設が充実してと感じます。
もっと地方に力を入れるべきだと思う。
現在困ることがないから。
渋滞がなく、車がスムーズ。役場、病院、銀行、郵便局等の公共機関が車で15分以内のところにある。
店舗が増えて買い物しやすい。
生活に必要なものが大体そろうから。
町の規模が小さいのでどこに移動するのに時間もかからない。
町が小さいため行動範囲が狭く、移動が楽。
町に近く、大型店舗も駐車場が広くてよいと思います。銀行も郵便局も沢山あると思います。
大型店やコンビニ、病院などが集中している。バスは本数が少ないが、何路線も利用できる。
道東にいる中では便利は良い方
日常生活においてはいいと思いますが、専門的に扱う店が少ないと思います。
郊外に大型店舗があるので中心市街地はがらんとしている。人をあまり見かけない。
地理的に近い所にいるので
市街地に住んでいるから
そこそこ便利
中心市街地には商店など沢山あり利用しやすい。
店も多いし、銀行等も多数あり便利である。
感じているが、遊ぶ施設が少ない
そう感じない理由
郊外店舗を主に利用しているため。
郊外に大型店があり、中心地は空洞化になっている。中心地に人が集まる施設があればよいと思う。
道路の幅が狭い。
中心がわからない。
昔の駅の場所や旧東武の跡地は殺風景で活気がないから。
何かと制限がある。
若い人には便利に感じるが、老人には不便なことは多く思う。
公共の駐車場が少ない
車がないと大変だと思うから
大型店舗が郊外にあり、必要なものを近くの店で買うことができない。
大型店舗のほうは何でもそろうので利用しやすい。
車を使わず徒歩で町を利用するのは難しい気がします。
駐車場（多目的）が足りない。
交通の便が悪いため
空き地が目立つ
中心市街地は寂れている感じがする。バイパス側に人が流れている。あまり便利とはいえない。
バイパスのほうが便利
中心市街地とは？市街地の中心と考えると機能の集積はされていないと感じる。
大型店等がバイパスのほうにあるので中心市街地にも安売りスーパーや手芸店などがあると良い。
駐車場が少ない。土日はすぐにいっぱいになる
市街地としての街づくりができていない
ショッピングモールが充実していない。
中心部の空洞化が進んでいる。
地元商店の取り組みが不足
冬場の除雪による道路の道幅が狭く、事故につながる。
買い物地域に偏りがある。（バイパス地帯は遠い）
銀行しかないから
郊外に集まっている
中標津中心市街地とは何処の場なのか。中心市街の商店街の活性化を。
どこに行くのにも距離があり、駐車場が狭い。
あまり利用しないので
銀行利用しか中心市街地に行かない

中心市街地って何処？バイパス沿い？役場、体育館付近？昔の商店街？
市街地の店舗関係は少し元気がなく思えるが、しかしホテル群と金融機関があり、夜になると飲食店がにぎわう…。バランス取れてる？
中心地より外れているので

問9 道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。

そう感じる理由
除雪が丁寧だから。
花壇整備。
他の自治体、地方に比べても特に差異を感じなく、わりあいきれいに管理されているため。
シルバー人材センターの人たちがまめに作業している姿が見受けられるから。
何度か草刈をされているが、もう少し回数を増やしたほうがよいと思う。
管理が行き届いていないと感じたことがない。
きれいな町だと思う。
見える範囲できれいにしている。
各業者に委託しているので管理されている。町内会でも年3回草刈を行っている。
冬期は除雪や見回り等朝から晩まで本当にありがたいです。道端の雑草、木、花の手入れなど暑い日も作業してくださり、ありがとうございます。
計根別の道路は舗装されきれいになった。
あまり意識してみたことはないが、荒れていると思ったこともないため。
管理されていると思う
定期的にやってくれてるため
清掃、草刈をしている風景を見かけるから。
地区毎の道路ふちの清掃に感謝してます
ある程度手入れが行き届いているように感じる。
地域住民の意識の高まりで整備されつつある。
除雪と河川の増水が心配
冬の除雪等
清掃や草刈をよく見かける
歩道部分の草刈や花壇の花等きれいになっている
各町内会で清掃を行っているのか、不快に感じたことがない。
気になったことはないから
道路網が良い
汚れているところもあるが、大体がきれいにされている。
道路等の危険箇所について役場に電話するとすぐ対応してくれる。
ボランティアの方々が花壇の掃除等されているのを見るので。
泉町内会で一年に1回清掃をしている。
草刈をもう少し丁寧にしてくれるとなお満足
市街内はゴミがほとんど落ちておらず、外国から来た友人・知人に「すごい、こんなきれいな町で！」と驚かれる。
公園等の草刈がきちんとされている。
ゴミが落ちているのを見ないので、清掃されているのを感じます。
タワラマップ側の清掃やイベントの他、中標津町の管理緑地の草刈が行われているから。
シルバー人材センターの人が行っていて、とても良い。
汚いところをあまり見たことがない
枝切り等されていて良いと思います。
最近は橋の上の水はけが良くなっている。冬場の除雪状況は良くなっている。
シルバー人材センターが行っているのを見たことがある。一部企業や町内会の方が清掃しているのを見たことがある。
町の財政も大変なのでこれ以上とは言えない。
公園内がきれい
道路にごみが落ちていても、その日のうちに清掃されてることが多い。
そう感じない理由
町内会活動に位置づけ、住民参加を促すべきだ。
個人的に虫が苦手なので、もっと草刈を徹底してもらえると助かる。
道路わきの植え込みのせいで視界が悪い。冬場の除雪の雑さが目立つ。街路樹の枝葉のせいで街灯が暗い。
町内はほぼきれいだが、郊外へ行くと草刈がほとんどされていない。
草刈に関してはもっと町内会を中心として特に道路沿い、町の中などをやるべきと思う。
堤防の辺りの管理が以前より行き届かない状況にある。
道に雑草が生い茂っている。
老朽化してきているので、見た目的にも古い感じがするのできれいに見えない。
仮舗装のところもまだある。雨が降った後や春先等は穴が開き危険。また、交差点の植え込みは車が見えにくい。
夏場は特に感じることはないが、冬場の除雪は最悪です。
道路に放水車が水をまいているが、すぐ乾いてしまい費用ももったいないと感じる。舗装するか、他の優先的なものに取り組んでほしい。
中心市街地が花壇等の美しさに欠けると思う。
歩道と車道の隙間は以前から草が伸びすぎていて、町から外れると人も歩かないし、学童も減っているせいでどこもすごい草でいやだ。

バイパスはいつもきれいにされていてありがたいが、他の道路わきは非常に気になる。(保健所～大通り1までの坂道)
川が汚い(ガラスが入ったりする)夏に裸足で入れない。銀行裏の川、木の段差？柵が折れている。
町の中だと維持管理されてと思うが、町からちょっと離れたら歩道は草が生え、道路はひび割れが目立つ。草刈の後のほうが汚く感じる。
標津川の河川敷がきれいになっていないように思う。道の施設だが？
運転中、歩道が草で隠れているのをよく見る
除雪が悪い
歩道に草木がある。冬には除雪がよくない。
年一回の草刈では不足を感じる
川が汚い
景気のせい道路等の維持管理が悪い
草木の枝等で視界が悪い。左右の確認等手間取ることが多い。
雨の前に道路掃除をしていたり、無駄が多い。
町を外れると草が生えている場所があり、景観が悪く見えてしまう。
舗装道路の傷みのひどいところが目に付く
丸山公園の整備、清掃が悪い。
簡易舗装の路地が多く、でこぼこが目立つ。
冬の除雪がとても不満
砂利道や穴だらけで道路の整備が足りない。
見かけたことがない
道路にマンホールの段差がひどいところがある。
町民が参加できる方法を考え、努力すべし
町道にも関わらず、舗装されないのではこりで大変です。
側溝の水はけが悪く、春先や大雨のとき流れない。
道路のふちの木の枝が車道まで伸びてもそのままになっている。
道路が舗装されていない所が多い。歩道が傷んでいても修理されていないところが多い。
河川が活かされてない。
雪が解ければ、車道を清掃車が早速通っていく。しかし歩道側は一部のマナー違反が犬の後始末・空き缶・お菓子の袋等が目立ちました。
草刈をもう少し早めにしてほしい。車で走行していて、道路の左右確認が草で見えにくいときがある。
いつでもそうとは限らない。
草刈をしていないところが多々がある。
汚い部分が多い。

問10 自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。

満足している理由
中心地にプランターで花があり、272号線(南町付近)にさくらもある。
川やゆめの森公園など。
わりあいきれいに管理されているため。
小鳥のさえずりや墓地の花等、季節感を肌で感じることができる。
緑は多いと感じる。
不満を感じないから
四季の変化が味わえる。町を通っていて感じる。
緑、緑ですばらしい。
道路と歩道の間の植え込みに背丈の伸びる木はいらない。電線があると干渉する。
公園は多い。
近所の公園は緑もあり、子どもたちも楽しく遊んでいるので、何の問題もないと思う。
十分だと思うぐらい。春が楽しみです。
どこをみても田舎なので緑が多い。
正美公園はいつもきれいです。
中心市街地でも木や花が多くあるため。
自宅の周辺はよいと思う。
近くに緑があるため。
子どもが公園で遊んでいたし、緑が足りないと感じたことはないから。
春先の緑と桜、夏のコスモス街道の景観は嬉しいです。
3つ公園がある。丸山、森林、ゆめの森
街路樹、沿道の花壇等目を見張るものがある。
原木等を切ったら、植樹をしてほしい。
四季折々すばらしい自然を感じていて、施設も整備されていて良い。
パークゴルフ場がすばらしい
家の周辺を散歩していても、桜やタンポポ等たくさん咲いている。
季節ごとの花が植えられている
歩道の植樹により除雪がしづらいのでは。
緑が多くてきもちよい。

道路わきの花壇など、春に花が植えられている。手入れも良くされている。
もう少し緑を増やしてほしい
公園や墓地はきれいにされていると思う。
過不足がない。四季の風景がすてき。
家の前にきれいに桜が咲いている。
除雪が通勤に支障がない時間に入ってくれる。
程度がよい。
町中の桜の木が多くてきれいだと思います。
適切に管理がされている
家の周りに花を植えている。
近くに公園があり、満足している。
緑が多くてよい。特に春のさくらはいたるところできれいである。
歩道等に花や木があるので、良いと思う。
ゆめの森公園のほか、森林公園など自然が多い。家の周りには山菜や木の実等も沢山あると感じる。
桜の並木道がある。
道路のわきの植え込みの木が高すぎて、道が運転中見づらい。
森林、川などがあると思います。
季節によって花が咲き、木の緑の葉が揺れていて気持ちがいい。
ただ、ここ数年からまつ林の伐採が周辺で増えているので少しさびしい
ゆめの森、開陽台等自然が多い。
自然の宝庫です。
何処に行っても緑がないところはない。
満足しているが一部手の回らない部分もある。仕方ないと思う
周辺に緑を感じることができている。
公園などはよいと思います。緑が多く感じられる。
整備されていると思う。
満足していない理由
雑草の繁茂地が見られる。「まちの緑」を維持する活動を定着させるべき。
虫が苦手なため、緑が得意ではない。
伸び放題で、特にきれいと感じない。
緑は多く思うが、統一がない。美しい(きれい)とはあまり思わない。
舗装路にある樹が手入れをされていないので、左折、右折の場合見通しが悪く危険。
雑草が生えていたり、秋には枯葉が多くて掃除が大変。冬は除雪の邪魔になります。
ゴミや吸殻のポイ捨てが目立つ。
こちらもバイパスばかり整備に力を入れている気がしてならない。
子どもが安心して遊べるようにしてほしい。
トイレが汚い
まちの緑は良いが、公園できつねや犬のフンなどを見かける。緑があっても汚く感じる。
公園の設備が不十分。草刈されておらず。生えっぱなしの公園がある。
公園が汚い
道路沿いの松が伸び放題で運転時に視界が悪い。
緑は少なく感じる
丸山公園の整備が悪い
枯れ木のところを植え替えてない。
少ない！
町全体を見ると緑の印象は薄い。標津川のウォーキングコースの水遊び場など道管理かも知れないですが、使うのは町民です。
道路につきの花など、少ない。たんぼぼが多い。(ちょっと離れると…)
もう少し整理する必要がある。

問11 公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことが出来ると感じますか。

そう感じる理由
現在の町内巡回バスの拡充をお願いしたい。
釧路一中標津のバスが毎日あるから。
乗ることはないですが、公共交通で助かっている人が沢山いると思います。
近い将来自分も利用することになるので考えたい。
バス利用客が少ないように感じる
年配や運転免許のない人には便利じゃないだろうか。
巡回バスもあり、よいと思います。
今後利用する可能性があるので、補助が出るように考えてほしい。
便利に利用できる。運転手の運転が荒いときがある。
バスが通らないので病院にいくのに困る。
他の町よりバスが走っている。料金が安い。

養老牛のバスは朝・夕しか走らないので、昼間は全く利用できない。
料金が安い
欲を言えば、バスの本数を増やしてほしい。
そう感じない理由
あまり乗っている人を見かけない
人の集まるところと、バス停の位置が相違していて困ることがある。
老後、バスだけでうまく自分の望むところへ移動できるのか不安。
車に乗りなくなった際に、今のバスの本数では不安に感じる。
普段自家用車を使っているから。
自分の住む町内会にバスが(町の中、買い物等の)走るのか不安。
本数、場所
利用したことがない。
もう少し郊外近くまで走ってほしい。
便数が少ない。
運転が荒かったり、言葉遣いが乱暴だったりするので、使わない。
便数、路線数とも全てだめです。老人への補助がない。
バス停まで遠く、車が運転できなくなると買い物や通院に不安がある。
もう少し年をとったときに、安心して利用できる自信はもてません。
自家用車が多い中、どうしてもバスを利用しなければならない方はいると思いますが、たびたび見かけるバスの中はさみしいです。
今は車で自由になっているが、時刻表などを見ると不便に感じる。
便数が少ないので思ったように出かけられない。
バスが大きすぎる。マイクロバスを活用してはと思います。
バス停がわかりづらい。
お年寄りの方が便利になるようにしたらよいと思う。
今のところ利用していないが利用している人は便が減って不便という声を耳にする。
高齢者に対応した町内循環バスなど増やせないものか。
高齢になるとバスがづらい。バスの本数が少ない。
自家用車を利用しているため、バスを利用したことがない
もう少し便数があるとよい。そういった対応が必要だと感じる。
運航本数もバス停も沢山あって便利だが、時刻表やバス停の場所等、高齢者にとって利用づらいように感じる。
不便に感じる
子どもがいるため利用しないが、子ども連れには不便に感じる。
あってほしいところにバス停がない。
町全体に循環線がほしい
バス停に屋根やいす等があるような場所になれば、バス利用が楽になる。冬にバスが遅れてもつらくない。
本数が少ない。小さいバスでもよいのでは。
町のバスの運行はとても助かるが、冬場は運休も多い。地区によりバス停の数が違うことや本数の少なさがある。
一回も利用していない。
路線と便数が少ない。
路線が大回り過ぎる
バス路線から外れているので。
1日にあまり走らない
路線が少ないのと、時刻が合わなく、どうしても車を使ってしまうため
釧路までの便数が少なく、乗換えが不便。
大きなバスより小さいバスで山のほうも回ってくればよいと思う。
利用者からは時間がかかり本数が少なく、一方通行で不便だと不満を聞きます。
バス停までの距離と、時間帯が合わないことの方が多い。
本数が少ないのか、時間が合わない。
便利に暮らすことができるとは感じない。

問12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。

満足している理由
東京行きもあるので助かる。もっと本数があれば…関空行きもあればなお助かる。
札幌便はよいが、東京便を朝、夕の2便にしてほしい。
札幌、東京に行きやすい。
飛行機は便利。
ものの何分かで空港に着くなんてほかでは考えられないことなので、中標津は良い。
人口的にこの位かなと思っている。
新規にレストランがオープンしたのが良い。待合室もきれいで広い。
不満がないです。
東京行きが一便あるし、千歳まで行くと色々な便があるので、二種類の便がある事はよいことだと思う。
便数は少ないが、札幌と東京に行ければ、そこから他の地域にも行きやすいため。

丘珠空港行きがなくなったのが残念ですが。	
札幌も羽田もいけるから。ただ、便が足りない。	
町から近い。便数を増やしてほしい。料金が安い。	
市街中心から空港までの距離がこんなに近いところは珍しい。北方四島との交流に期待したい。	
東京便が二本あれば便利ですね(ツアー、沖縄方面へ行くとき)	
人口の割には恵まれていると感謝している。	
駐車料金がかからない点がよいと思う。東京便、札幌便があれば十分。	
市街地から近いし、駐車場が無料	
町に飛行場があって良い	
空港があり便利	
駐車場も多い。便がもっと増えればもっといい。	
千歳に往復で利用できる便があり、便利。羽田では便数、時間の影響で利用に不便。	
旅行でしか使わないため、特に問題を感じない	
近くに空港があるのはとても便利だが、便をもう少し増やしてほしい。	
千歳便があるのが良い	
近くにレンタカーもあるので良い。	
利用したことはないが、きれいだ	
利用しやすい。	
利用者数を考えれば、現状は妥当だと思う。	
町の近くにあるので利用しやすい。	
市街から近い。空港内で長い距離を歩かずに済む。駐車場が無料のため、利用しやすい。しかし、最近では混雑している。	
本数がもう少し多くなればより便利になる。	
市街から近いが、便数が少ない	
冬場の帰省や羽田の直通便は、研修等で活用しているので、とてもありがたいから。	
用事が足りている。	
夕方発の東京便がほしい。	
駐車料金がかからない点	
便数が多いと思います。	
たまに利用したとき、便利だと感じる	
実家への里帰りに利用しているが、羽田便の時間が一便しかなく、帰宅ラッシュに重なるため大変になります。	
車で約10分程度で利用できる空港はあまりない。	
あまり空港を利用しないがなんとかやっていると。思う。	
満足はしているが第一駐車場に数泊している車が多く、送迎時に不便もっと注意と喚起をするか、有料にしてもよいのでは？	
地理的に近いので満足している。	
東京、札幌に運航しており、外の町村より恵まれていると思う。	
市街地からはこれほど近い空港はないと思う。駐車場も無料で利用しやすい。	
東京便をもう少し増やしてほしい。	
家から近くて便利	
満足していない理由	
東京便を日帰りができる発着時間にしてほしい。	
便数は問題ないが、ローカル線があまりにも値段が高く中々利用できない。	
丘珠便を復活していただきたい。	
東京便の時間帯、便数の不足。値段の高さ。千歳便のジェット化。空港利用時のバス利用が不便。	
もう少し、便数を増やして利便性を良くできたらいいと思います。特に東京便。	
もっと安い料金で。	
以前の丘珠空港のほうが札幌中心に近くてよかったです。	
天候によって欠航などは仕方のないことだが、問い合わせが不便。連絡がつかない。	
空港周辺の見直しが必要と思う。	
金額が高い。東京便の時間を変えてほしい。	
丘珠がなくなり、札幌についてからが不便。	
千歳便はそれなりに利用客は多いと思う。夏場の東京便は小さな機体でいいから、便数を増やしてほしい。	
早朝便を増やしてほしい。日帰りができるように。	
ANA以外にもあればよい	
千歳便については満足しているが、羽田便は午後の一本では不足。	
不便を感じる	
運賃が高い。	
東京への便が少ない。他の空港にも行けたらいいと思います。	
羽田便をもう一便増やしてほしい。	
車椅子利用者専用駐車場に高級車が停まっている。	
タクシーがない	
搭乗率を高めて料金を下げるべし。料金が高すぎる。	
ほとんど使用していない。旅行で空港を利用するときは釧路から乗る。(料金が安い)	

問14 安定して水道水が利用できていると感じますか。

そう感じる理由
問題がない。(河川流域の林帯の保全拡充に取り組むべきだ。)
美味しい水だと思います。
味に違和感がない。
断水もほとんどなく、汚れることもないため。
利用はできていると思うが、薬剤を多めに入れていると聞き、免疫の低い人に飲ませるときは一度沸騰させてから飲ませるようにしている。
困ったことがないため。
利用できるのが当たり前になっている。
満足している。
春に水の濁りがなくなった
今のところ、大きな災害もないため安定した水道水が利用できている。ありがたい。
困ったことがいまのところないです。いつもきれいな水をありがとうございます。
冷たい水、おいしいです。東京の孫が水を飲んで「お父さん水美味しい。ここに住もう」と言うくらい。
毎日不便なく利用できているため。
今日も大切に利用しています。
とにかくおいしい。
都会から来た方が水が美味しいと言っているので
浄水場の管理が行き届いていて安心して飲食している。
引っ越してきてから断水の記憶はないので。
雪国ということもあり、夏の水不足の心配もなく、安心安定に使っている
きれいだし美味しい。
長く住んでいるが、全く不便に感じたことはない。
場所によっておいしいところもある。
水不足で困ることもなく、現状で満足している。
水が一年中おいしい。
常に美味しい水が飲むことができるので。
断水や浄水中の工事中のトラブルがないから。
水道水が汚いイメージがない。
事故や断水がないと思います。
水は夏でも冷たく、とても美味しい。葉の匂いも気にならない。花壇の水遣りに料金が気になる。もう少し安いともっと満足。
事故が少ないので

そう感じない理由
夏になると、時々カルキ臭が強くなる。浄水器を使ってるが、夏場になるとカルキで不味くなってフィルターを交換。
あまり安心して飲めないので、水道水は飲みません。
直接飲んだことがない。多少は不安があるのかもしれない。
農家整備されてと思うけど、汚水が流れ込んでる感じがして、浄水器を通して利用している。
数年前より水圧が弱くなり不便に思っている。
飲み水としては使用していない。
古い家だからか、水がにおうことがある。
普段は大丈夫だが、時々塩素が多いのか味に違和感がある。
塩素の匂いが強いときがある。

問15 墓地の施設に満足していますか。

満足している理由
整備されている。
第2墓地も確保されている。
住んでいるところから近く、墓地が清潔に保たれている。
第二墓地を利用している。満足している。
できれば一箇所に墓地が集中できればいいと思う。町の中心地に一箇所ある。
広さは十分である。
一年に何度も行く回数がない所なので不満は余りありません。ただし、お手洗いはひどくて、用は足せません。
草刈等いつもありがとうございます。
こちらは当番で墓の草刈をしているので、問題ない。
整備されていると思う。ただ、トイレを新しくしてほしい。そして、駐車場を広くしてほしい。
街の中で便利で利用しやすい。
広くてきれいに管理されている。
年数回の利用なので、現在でも満足している。
第2ができて整備も良くしてもらっている。
2ヶ所の墓地が現在きれいに管理されているため。
利用頻度がすくなく、あまり気になったことがない。

町の中心地は避けてほしい。	
墓地内の車道について(道幅、舗装)が整備されるとなおい。	
水のおけが置いてある。	
もう少し駐車場の整備をしてほしい。	
草刈してくれているから。	
他の墓所を利用している。	
いつもきれいに整備されていると思います。	
墓石の近くまで車が入れる。(東京では考えられない。)	
あまり行ったことがないが不便と聞いたことがない。	
墓地は一箇所しか知らない。	
満足しているが老人としてはあまり手入れにいけない。	
割と近いから	
お墓も公園と隣接して、とても環境がよい。	
利用はしていないが拡充スペースがあるように思う。	
満足していない理由	
第一墓地はあの規模の割に駐車場が全く少ない。出入り口の道路も不便さを感じる。公衆便所が汚い。	
第一墓地の空き地が多い	
冬期はなかなかいけない。室内墓地があってもよいかと。	
第二墓地が遠い。	
車を止める場所少ない。	
核家族化しているので共同墓地も作ってほしい。不安である。散骨場所も考えてほしい。	
第二墓地のため遠すぎる。	
第一墓地の駐車場が狭く、きちんと整備されていない。また、道路の整備もしてほしい。	
生活様式の変化、少子化の影響等で、墓のあり方が多様化している。この地にも合葬墓(規模の大きい)がほしい。	
共同墓地を強く希望しています。	
人口増が望めない。若者の中央化がより進む。共同墓地化を望みます。	
雑草のみ課題だと感じる。	
汚い。	
どこの墓地にはいれるかわからない。	
墓地の場所が町中のしかわからないのでなんとも言えません。	
冬期の除雪	
市街地の中心部に位置している。	
場内の道路がわるい	
将来的に、墓を管理することが困難になってくるので施設にお金かけないほうがいい。	

問17 お住まいの地域は「良好なまちなみ(住環境)である」と感じますか。

そう感じる理由
多少の不便は我慢。
平和でのどかなイメージがあるから。
公園、コンビニ
他所に比べて治安がよいため。
冬の大雪の除雪作業等近所同士の交流があり、みんなで助け合って作業できる。
買い物等便利
住みやすい。
静かで治安が良い。
学校が近くにあるためか、周辺の環境が比較的整備され、清潔。
あまり高い建物が無い。自然の中に町がある感じが良い。
スーパーやコンビニが近く、学校も近いので。
中心地に花が少なく思う。
ご近所さんと協力しながら、環境は良好に保っています。
程よいと感じています。
スーパーも近く、緑もある場なので
自然の中での暮らしに満足
人間関係が良い。
静かさと、緑もあり、整備されていると思う。
先にも述べたが、生活道路が整備されつつあり、欲を申し上げれば中通りの舗装も。
静かで隣人関係等良い環境です。
高台ですので、町がよく見える
町内会としてもまとまりもよい。みな行事等協力的で感謝している。
敷地が広く緑が多い。
特に不便に感じることはない
静かできれい。近くにコンビニに、徒歩圏内に役場等があるので生活しやすい。

悪いと感じたことがない
山林を減らし、農地を増やし、事業を拡大にしてさらに人口を増やすことが望ましい。
静かである。
桜や自然がきれい
近隣の方々が親切。
隣の家がすぐ近くにある。
緑が多く、周辺に人家があるから。
他の住民が温かく見守ってくれているから。
空き家が少し気になる。
近くにコンビニにもあり、静か。
道路側の花壇が整備されている。
町に近いし、森林もあります。
騒がしいこともなく、平和に感じる。きつねや鹿が畑を荒らすのに困っている。
古い建物がなくなってきた。
のんびりしている。忙しいような人もいるのだろうが、全体的に見て、ゆったりしている感じがする。
街路灯があり夜は静か
住めばよい所と思う
全体的にはとても満足していますが、一部の人と思いますが、フンの始末、缶、タバコ、ティッシュなどのポイ捨てがとても残念です。
街灯もついているし、特に困ったことはない。

そう感じない理由

家の前の道路の舗装がされていない。
近くの公共駐車場が、冬期間に雪捨て場に利用されており、駐車場としてはもとより、災害時の使用が不可能な状況（末広会館そばのパーキング）
道路が仮舗装。
市街地における道路や街路樹、花壇、歩道の広さ等整備が追いついていない。
病院まで最短でありたい。標津川橋が遠いため
飲み屋が近いので、うるさい。
雪の捨て場がない
舗装道路にしてほしい。街灯を増やしたり、LEDに変えてほしい。
外が暗い
住宅街なのに夜はとても暗く、危ないと感じる（特に西町）
街灯が少ない
空き家が多い
下水道がないため、バスの循環線がないため。
除雪のとき、主要道路は早いですが、地方は遅い。
夜、街灯が少なく暗い。
冬に雪の捨て場がなく、道路が見えづらい。排雪が遅い。
除雪が悪い
物足りなく感じる。
下水の流れが悪い。家の中にアリが入ってくる。虫が多い。
公共交通の不便
道路状況が良くない
街灯不足、簡易舗装がすぐ傷む（ほこりっぽい）、除雪が良くない、空き家が増えた。
道路の整備をしてほしい。
利用されていない古い建物を壊して、整理してほしい。

問25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由

ネット、広報で知る。
役場窓口で丁寧に対応してくださっている。
広報などで知ることができるから。
わからないときは聞きに行っている
広報等で知らせている。
広報などに出ているので。
窓口の方が優しく教えてください。
今のところは得られている。
広報等で情報を得ているが、深いところまで知らされていない。
広報等、記述スペースを広げ、具体例を示す等努力してほしい。
十分感謝している。
問い合わせに適切に対応してもらっている
ネットで情報等を得ることができるため
必要があれば情報を得ることができる。
わからないときは役場に良くと教えてくれる。インターネットでも知ることができる。

広報や年金定期便など、知らせを見て確認できる。
町役場の広告を良く見かける
パンフレット、インターネットなど。
自分から調べることのできる環境があるから。
役場の方の対応が丁寧。
パンフレット等がわかりやすい。
町のPRIに感謝している。
将来の年金受給額が知りたければ、年金課に相談に行けばよいと聞いたので。
職場に専門部署があるため。
パンフレット等があるのは見てるが、必要性をあまり感じないため、見過ごすことが多い。
保険を利用したお金等、ハガキで送付されてくる。
情報誌が来るので
今のままで十分だと思う
ネット検索できるから
年金者なので、窓口での説明や封書での説明で知ってるつもりです。
相談に行くと良い対応をしてくれる。

そう感じない理由

特に情報を気にしていない。
情報発信されていることを知らない。
情報発信不足を感じるため。
役所の人たちも勉強不足なのか、聞いてもはっきりした返答がなく、人によって返答に違いがある。
自分で調べるから。
あまりよくわからないときに、損をすることが多い気がする。
計算の式が複雑。全国的に平等なのか不明。
これから感じる年齢である。
窓口に伺ったとき、難しい言葉を言われて、考えている間に「そういうことですから！」といわれた。
広報やインターネットであまり情報を得られていない
得られていると感じない
健康保険や年金制度が簡単に詳しくわかりやすい、保存版のようなより、本があるとよい。
わかりやすい情報の発信が必要
制度が変わりすぎる。
知らないことが多い。
難しくわからないことが多い。
町の関係しているものを利用したことがない。
自分で調べないとわからないことだらけ。
情報があまりなく、わかりづらい。
根本として、国民年金と厚生年金を一本化すべきである。
自分でちゃんと調べていないので会社に全て任せているため。
国も含めてわかりづらい内容が多い。改訂も多く、将来への不安が多いから。
年金事務所の開設が月1回で、予約制なので不便である。(釧路に行くのは遠く、難しい)
自分で気がつかないと知らないでいたことがあった。
何を見ればわかるのか知りたい。
年金事務所から、相談受けたがわかりやすくなかったし、不親切な感じがした。
年金定期便は届くが、もう少し詳しい内容を記載してほしい。
あいまいな知識しかなく、どのようにして情報を得ていいのかが、わからない状態。
情報が遅い

問28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。

そう感じる理由

よく中標津のしいたけを買うので。
以前よりも地元産の商品を店頭で見えるようになったから。
ジャガイモや野菜等旬のものが食べられるので、とても幸せです。
牛乳、乳製品等を良く見かける。
スーパー等で身近に買うことができるから。
製品に産地が書かれている場合。
中標津牛乳など毎日買っている。中標津産野菜も購入しています。
乳製品。
地元食材を意識した店舗が増えている。
中標津産と書いてあると買うようにしている。
地元産のものを利用しています。
スーパー等でよく見ますし、買っています。
ゴーダチーズが大好き。海の幸も多く食べれるところだから。

スーパーや飲食店などでよくみかけないため。	
中標津ポーク、牛乳、チーズ	
中標津産がよくある。	
スーパー等で見かけるため	
中標津産のものが売られていたらなるべく購入している。中標津＝牛のイメージがある。	
利用しているし、食している。	
地元産物・食品を利用するよう心がけている。	
地元産の購入を心がけている。	
ヨーグルト、野菜、きのこはいいと思うが、牛肉はあまり美味しくないと感じます	
利用しながら普及している。	
現状で満足している。	
毎日利用している。	
地産地消を考えている。	
商品としてスーパー等に並んでいるから。	
中標津産の牛乳や野菜など、お店にあるため	
商業施設などで見かける	
給食などで	
中標津産のラベルの商品、生産者名を書いたポップをよく見かける。	
時々購入する。	
美味しい。	
風味がいいが、値段が高い。	
中標津産を意識している。	
農業高校などの加工品が身近にある。	
日常利用している。	
多少値段が高くても、地元の産物を買うようにしている。	
地元の農畜産物を食することが多い。値段等の還元が少ないように感じている。	
乳製品をいつも食べている。	
少し高い。	
生産者なので特に身近に感じる。	
知人に関係する人がいるので	
酪農家なので	
乳製品、野菜は特に感じます。	
テレビ、ラジオ等でたまに見る、聞くことがある	
乳製品を毎日食している。	
町内の店で手に入るので満足している。	
店頭で買える	
町内のお店で地元の農畜産物を買うことができるので	
工場等あり、身近に感じている。	
地元の野菜や肉が増えている。	
そう感じない理由	
品数が少ない。	
JA中標津の牛乳はあるものの、地産地消となっていない。管内全体がよいものは外へ出している。	
近隣の町のように、町の特産品を町民に無料配布したらよいのと思う。	
無料配布がない。おいしいと魅力を感じない。	
乳製品はよく使っているが、あとは地元ではない。	
製品の値段が高すぎると感じる	
地元のものののに値段が高く、購入できない	
乳製品は感じますが、その他は陳列されている品数が少ない。	
特産品の馬鈴薯、乳製品など格安で販売。または、標津町のサケの無料配布など。馬鈴薯は可能と思うが。	
安価のため、外国製品が多いと感じる。	
近隣の町の取り組みが目立って見える	
地元の農産物（印刷入りの商品）があまり目に付かない。	
地場産は値段が高い	
価格の安いものを手にする。	
もう少しアピールしたほうが良い。	
スーパー等で売っているが、高くて手が出せない。	
地元の製品としての宣伝不足を感じる。	
あるのは知っているが、値段は少し高いと感じる。	
特産物が何かわからない	
一般的な流通とは思わない。	
スーパー以外に直売所があるとすれば、知名度が低く、地産地消とは言いがたい。	
少し高めなので	

見たことがない
乳製品・野菜・肉などスーパーでよく目にしますが、地元のわりには価格が高い。
乳製品と中標津ビーフくらいしかわからない。地元野菜をもっと気軽に手に入れたい。

問32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。

満足している理由
ちょうちん祭りよいですね。
景観、食。
イベントが楽しい。
景観はよいので、アピールできる。若い経営者のレストラン等が増えた。
イベントがたくさんあるため
景観はすばらしい。
町のPRになっていると思うが、もう少し大きなイベントがあるとよいと思う。
愛町心で特に若者ががんばっていると感じる。
季節ごとのイベント
夏祭りの「ちょうちんやぐら」は観光資源だと思う。
地場産の商品も多く出てるし、色々な場所でイベントも行われているので中標津はきれいな町だと思う。
問題ないと思うため。
町内の景観も、食べ物も満足しています。
中標津にしかない特権だと考えている。
催しが計画的に実施されている。
色々な試みがされているのか。新聞などで知ることができる。
いろんな取り組みをしているのは見ている
イベントが充実している。食に関するイベントが多いと感じる。
有名人が来る。
中標津の特産品を人目で買える見れる場所をつくればいいのでは
イベントは多いほうだと思う。
近い所にいるため幸福です。
開陽台は良い！町中にぎわいも楽しい。
この2万の人口で食に関するお店が多いのに驚く。
満足していない理由
自然人的資源は豊かであるが、観光資源になっていない。
特にこれというものがなさそうだから。
イベントが下手。近隣の町は努力していると感じる。
サブカルチャーを主題にしたイベントが少なすぎる。これでは若い人間が楽しいと感じない。
これといった特色がないから。
何も目新しいものがない。他のまねばかり
観光スポットが少ない。
どこでしているのか、わからないことが多い。
商店の専門店化や品揃えの充実等がなされていない。
まだ何かありそう。
開陽台、ゆめの森公園、夏祭りをもっと有効的なものにしたい。
イベント等はほとんど土、日、祝日なので休業日に合わず、参加できない。
伝統的ではないのに、毎年同じ。
宣伝不足を感じる
地元の野菜をもっと買う機会を。
もう少し中標津に観光客が来るように何かできるといいなと思っている
道の駅がない
観光資源の掘り起こし
イベントへの参加が町民、企業ともに少数化していると思う。
マンネリ化している。
例えば丸山公園は以前は車中からでも水鳥など見ることができたが、周辺の土手（堤防）で視界が遮られ、残念に思う。
観光イベントが少ないと思う。
町内で人が集まるようなイベントを年に3～4回行ってほしい。
全部が十分なレベルでない
観光資源が少なく、PRも少ない
道の駅があればよいと思う。夏祭りの内容の充実
道外から来客があったとき、観光に連れて行くところがなく、困ってしまう。
イベントなどは少ないと感じる
イベントが少ない。魅力が少ない
若い人が参加できるイベント等をもう少し増やしてほしい。
さまざまな面で不足している。

他の市町村に比較して劣っている。
あまり参加したことがない。
PR不足（近隣の町に負けている気がする。）
期待できるものがない。
他の町に比べ、旧来のやり方しかしていない。
バスの回数、路線の都合で出席できないことがある。
土、日以外のイベントがないので参加できない。
近隣の町では町民全体へ食料品の（利益等）還元がある。
可もなく不可もなく
中標津町の土産品の充実。
もっと年配の人が気軽に入れる飲食店があれば。
イベント等の駐車場が少ないと思います。
まとまりがない
いったことがない
見直しが必要かも
一時的なイベントは何回があるが、それが観光資源とはあまり感じない。観光というのがピンと来ない。
農畜産物が豊富なのに、近隣の町に比べ、使いやすい土産品（町名が入っているもの）が少ない。
もう少し色々なイベントを企画してほしい。

問34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。

満足している理由
就労に困った話を多くは聞かないため。
今は良い条件のところで働かせてもらっている。
シルバー人材センターの活動がよいと思う。
それなりに職はあると思う。
雇用対策としてさまざまな事業を行っているため。
安定していると思う
冬期間、大雪等で十分な活動ができないのはつらい。自然災害で仕方ない。
自分の職場以外についてはよくわからないが、ハローワークでの対応は良かった。
働く気があれば、働き口がある。
どこも人手不足ではあるが。
自分や周りの人もちゃんと働けているので。
自分にあった仕事を見つけるのは難しいと感じる
仕事があるから
雇用確保できている。
満足していない理由
第一次産業への雇用対策（研修）が不十分である。
仕事はあるのに若い人たちが戻ってこれる仕組みとなっていない。
通年雇用を進めている団体があるが、全くの無駄使いに見える。（毎年立派なパンフレット、報告書が来る。）
母子家庭には厳しい。雇用条件が多すぎる。
小さい子どもを持つ主婦のパートの求人が少ないと感じる
実際に身内が出稼ぎに行っている。
専門的知識や技能を身につけ、地元に戻っても職にありつけない青少年を見かける。地元出身者を最優先すべきと思うが。
正社員化の促進不足
パートで働こうと思えば場所は結構ある。しかし、募集企業にも偏りや季節雇用、低賃金等、さまざまな形態がある。
雇用の創出
若者の流失を防ぐために、企業の誘致が必要
全体的に人手が不足している。
雇用対策がなにもされていないように感じる。
働き手が少ないところもあるので、その確保をすべきだ。
スーパー、コンビニなどで人手不足を感じる。
町に雇用があれば、たとえ大学に町外・道外に出ても、町のよさを感じている人は戻ってくるのでは。
雇用対策ができていない
今後退職後に再雇用していただき、働いていけるのか、不安が多い。
会社の制度の問題で60歳以降の仕事が不安。
いい状況とは言えない。
賃金が安い。
最低賃金で働いている。
色々な面で雇用人数が足りません。
町が率先して新しい職場を。
若年層の非正規雇用
60歳過ぎると、雰囲気的にづらい。

60代を過ぎると非常に厳しいが贅沢を言わなければならぬかなる。
いつも同じ企業の求人が多く、色々な分野の求人を増やしてほしい。
酪農者への出入不足

問35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。

満足している理由
町立病院のスタッフの対応。
病院を利用し、不満はない。
町立病院が信頼、信用できる。
他の自治体よりも少ない資源で充実した医療、救急体制を確保できているから。
今後もドクターヘリに期待する
救急でのお世話に。適切な対応でよかった。
ドクターヘリがある。
多少不満はあるが。
地域でさまざまな治療ができるから、大きい町へ行かなくて済む。
知人も救急ヘリで助けられている。
町立病院を利用している。
地域医療は医師不足に感じる。災害時医療ではいまのところ大きな災害はないが、災害時における訓練等していると感じる。
健康診断等の事前連絡がなされている。
休日の小児科診療があるため。
不満はない。
現状以上は難しいと思う。
適切な処置をしてくれる
対応が早い
緊急も対応してもらえるのでありがたいです。
土日に小児科があるのはありがたい。
過不足を感じたことがない。
病院や消防もあり満足している。
医師の確保が難しいようで、出張医が多いようですが中標津という地域的から一生懸命やっているといます。
町立病院は、大変だと思うが、がんばっている感はある。
満足していない理由
町立病院にもっと固定の医者がいたほうが安心できるのでは。
安心してかかれる病院が少ない。
医療が不安。医師がいない。
医療設備の不備
夜間医療の専門医師不足
病院が不便。いつも混んでいて、医者不足(町立病院)
苦しみや痛みは時間関係なくやってくるので、気持ち的にも苦しみをやわらげてくれる、診療体制を整えてほしい。
釧路市への通院はつらい。特に冬期間は通いづらいため、地元でお願いしたい。
町立病院へ安心してかかれるように
医師不足
病院は町外に行くことが多いです。
仕方ないとは感じている
町立など医師不足
町立病院をもっと充実させてほしい
重症時の緊急アクセス手段完備、緊急時に患者を入院させられるような体制の整備が必要だ。
病院で受診できる専門的な科が少ない。
医療体制の充実が必要
地域の総合病院としてほとんどの診療科をカバーできる町立病院がほしい。
病院の診療体制が悪い。
FMでもっと情報が知りたい。
専門医の不足
不安がある
町立病院の医師不足、土・日の救急の整形外科等対応できない。酪農という無休産業が主の産業にとってこれは困ります。
町立病院の医師不足や短期間での異動など、定着してほしい。
災害時には対応していけるのか。医師、看護師の不足を感じる。
地域医療の充実、町でまかなえるようにしてほしい。
もっと町立病院の充実をはかってもらいたい。
待ち時間が長い

問37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。

そう感じる理由
特に大きな問題が生じていないため。
児童館があるので安心。
そう感じているが心配もあり、一人で出かけることが不安に思うが地域の方が見てくれていると思うので、安心している。
変質者情報で心配することもあるが、大事に至っていないから。
町内会で見守りをしているので。
周りにいる方々は親が気を配っているのを良く見かけます。
保健センターなどで子育て相談等、好評と聞く。児童センター、各児童館の活動も好評。健全育成のために、予算を増額すべき。
主婦の利用しやすい環境(職場)
そのように感じたいが、各家庭の事情もあるかと思います。
犯罪が少ない
近所の方などとの関わりの中で、教育にかかる費用の負担が多いと聞く。
働く親のため、幼稚園、小学校の下校後、児童館や幼稚園でしっかり見てくれている。
子どもが通っている保育園をとて気に入り。
まわりの人たちが優しい。
子どもがあいさつをする
不自由なく過ごさせてきた。
のびのびできると思う。
今は危険を感じないが、多くの人々が来るようになれば対策が必要になる。
祖父母が近くに暮らしているという家族も多く聞く。児童館も充実している。
子どもと一緒に遊べる施設、病院の存在はありがたい。
町内会でイベントをしている。
近所付き合いもあるし、子ども同士遊んでいるので
児童館がある。
孫たちが元気で学校に行っている
昔に比べて守られていると感じる。
通学時間は低学年の子どもも元氣よく朝のあいさつ、若い母さんたちは乳母車や手をつないで明るい声で挨拶。平和を感じる。
自身の子育ては終わったが、児童館保育など、充実していると思う。
職場で子育てで不安をあまり聞かないので...

そう感じない理由
子は町の宝。他の行政より制度が不十分。
子どもが身近にいない。
なかなか簡単に幼稚園に入れないで困っている。
収入が少ないため、子どもに満足な生活をさせてあげられない。
病児保育があるのは大変ありがたいが、1か所だけでなく、2、3ヶ所作るべき。
公園は汚いときがあるし、手押し信号では赤信号無視の車が多い。
子育て支援やファミリーサポート等があるが、家庭支援までやるべき。家庭支援員の養成を望む。
住宅街の歩道が狭い。除雪にムラがある。近所とのかかわりはほとんどない。
家庭環境の個人差が大きいと感じる
外での遊び場が少なく感じる。
病院に不満
身近に子どもが少ないので、実感が無い。
他人が子どもをしかることが問題になることがある。
町中はいいが、町外れのほうは歩道等の整備がない。
新規就農者で、子どもを預ける人がいないため突発的な行事に苦労している方が多い。一時的に預けられるところが近くにあってほしい。
時代の違いなのか、とても不安
だんだん地域でも子どもたちと関わるができなくなっていると感じます。

問39 高齢者が生きがいをもち、安心して暮らしていると感じますか。

そう感じる理由
都会すぎず、おだやかなイメージがあるから。
両親が生きがいを持って暮らしている。
入所施設が多くあるため。
イベントやサークル活動、また、旅行など仲間同士で楽しんでいるから。
シルバー人材センターの登録や雇用等を見る機会があるから。
高齢者向きの趣味、生きがい作りの場が比較的多い。
趣味活動の場が意外とある。
サロンが増えてきた。
生きがいまではもっていないまでも、それなりの暮らしはできていると思う。
皆さん元気で楽しんでいると思います。
シルバー人材センターの方の仕事が私たちよりも充実しているように見えるほど。

今の老人はある程度趣味など多く持ち、老人クラブや老人大学へいったり、歌ったり、踊ったりしているみたいだが、家から出なくなった方は心配です。
文化会館などで高齢者が参加できるイベント等がたくさんあるため、そういったものに参加して交流も深められるため。
ゲートボールやラジオ体操、町内会などで、元気な様子を見る
町内会等の利用をしている。
本人の感じ方、考え方で生きがいを持てると思います。
畑で野菜作り、旅行等楽しく暮らしてると感じる。
要介護者の「見守り・声かけ」など行政は地域町内会と連携を密にすべき。地域町内会へ遠慮しているのでは。町職員の町内会参加協力を望む。
利用する施設や交流の場がコンパクトに行動できる範囲であってほしい。
高齢者が今後年金だけでは生活できない。二人暮らしはよいが、ひとりで生活を送るのが難しい。
多くの方がスポーツ活動されているのを目にする
シルバー人材センター等元気ががんばっている。
よくゲートボールをやっているのを見かける
現在、住みやすいと感じているから。
元気な方が多い。
広い場所で趣味が楽しめる。
その気になれば、機会、施設が整っている。
さまざまな形で集まりがもたれているように思う。
色々な団体とか施設があると思います。
今デイケアに通っているがいろんな人がいる。大抵はいい人が多く、私たちを和ませてくれる。
なんとか元気なので安心して暮らしてる。
老人大学のサークルや老人クラブでの旅行、パークゴルフにカラオケ、元気な人はエンジョイしているよう。
それぞれに、安心して、暮らしているのだと思う。

そう感じない理由
学習意識を高める取り組みが少ない。
便利な施設が少ない。
高齢者の方が希望しているサービス等が受けられていないようだから。
医療が充実しない限り安心ができない。
老人に対してのサービスが不足していると思います。
もっと高齢者と子どもなど、触れ合える場所、機会があればよいと思う。
店に行っても何でも高く、雑多なもので生活している。生きがいがないので先が思いやられる。
老人が気軽に参加できる場所等が少ない
常に不安と隣り合わせである。
町内会のサロン、スポーツクラブに入会して楽しく暮らしている方も多くいますが、生きがいを持てずにいる人も多くいると思う。
入院し、復帰することができても在宅サービスなどがいないため、自宅に復帰できない。
老人ホーム等の施設が少ない
老人の生きがいを高める方策の充実
以前に比べ、高齢者が暮らしにくくなったと感じる。
病院などの医療施設に行くための移動手段が少なく、大変。
シルバー人材センター等の施設はあるが、今後の生活での不安(生きていけるか)の心配が大きい。
高齢者の生きがいが多様化しているので、難しい。
年金が少ない。
老人ホームが入りづらい。また、家族も面会の回数が少ない。
高齢者の運転に不安がある。
生きがいを持っている人は少ないと思う。もっと高齢者の話を聞いてほしい。
病院が遠い。交通の便が悪い。
高齢者が寄り合う場が足りない。
独居老人が除雪に困っている。
年金も減る一方で生活に不安を感じているようです。
高齢者が働ける場があればと思う。
健康への不安が一番。一人暮らしに不安を感じます。

問4-1 障がい者サービスが整っていると感じますか。

そう感じる理由
釧路管内の友人の子どもが中標津の学校に通っている。
徐々に整備されていると思うが、まだ不足していると思う。
見ている範囲で困っている感じがなさそう。
あまり詳しくはないが、高等養護学校から社会につながる施策がある程度整っていると思う。
障がい者の方が活動しているのを見かけるから。
以前に比べたら整ってきていると・・・。
NPO活動、団体が多くある。
近年地域住民の障がい者に対する意識(支援)が高まりつつあると思う。
グループホームが建ったこと

就労施設など増えてきているため
施設が増えている。
施設も整ってきていると聞く。
将来のことを考えると、もう少しサービス向上に期待したい。
地域と密接な関わりがあると思う。
働く場が多くなってきている。
高等養護学校がある。
障がい者の方も働いている方を沢山見かけるので
就労支援施設など多種多様な人々が働ける環境は整いつつあると思う。
働く場がある
公共の施設では整っていますが、一般商店、飲食店などはまだまだです
バリアフリー等充実している。
そう感じない理由
サービスに携わるスタッフが少なく感じるため。
商店、娯楽施設など車椅子専用のトイレが不足。商品の陳列においても、目の高さが低い。出入り口など、自動ドアでないところが多い。
住居が足りない。グループホーム等。
サービスを知らない。目に見えない部分での、障がい者へのサービスが少ない。
交通環境が悪い。
ユニバーサルデザインによるまちづくりが大切。
ユニバーサルデザインの建物や公共施設が増えているがまだまだ少ない。
障がい者専用を平気に使う健常者がいます。
デイサービスは何件かあると思うが、介護不足のように感じる。
サービスの存在が見えてこない
バリアフリーが少ない。
障がい者のサービス施設が整っているとは思えない。
不足している。
介護福祉に携わる、職員の待遇を改善しないとサービスする側に人が集まらない。
幼児から高齢者まで、一貫したものがない。
中標津町の障がい者サービスの内容がわかりにくいです。
あまり障がい者の方と関わりがないのですが、対象のサービスが少ないように感じます。
障がい者の働く場が少ない

問43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。

そう感じる理由	
町内会の中に障がい者に対する相談場所や支援の設備がある。ふれあい活動等を通じ、一緒の場を持つことがあり、理解につながっている。	
社協の動きが良い。	
保健センター	
周りから情報が入ってくる	
NPO活動、団体が多くある。	
各町内に民生員がいる。	
民生児童委員さんの訪問活動に期待します。	
あくせす根室の職員ががんばっていると思う	
総合福祉センターがあるので	
自分が必要な制度については知ることができている。	
体制ができているが、その利用の仕方がまだ伝わっていない。PRの必要あり。	
役場での対応がよいので、何かあったら相談に行こうと思える。	
中標津町地域包括支援センターがある。	
町立病院に電話したら、丁寧に対応している。	
役場で相談する	
感じるが、制度や活動がわかっているとは思えない、情報提供が少ないと思う。	
そう感じない理由	
相談先の敷居が高いと感じる。	
低所得者への行政、町内会のかかわりには限界がある。	
必要と思っていない。	
PRがない。聞いたことがない。	
情報が全く入ってこない。	
狭い町過ぎて行きづらい。	
相談や支えてもらえる制度といっても、何処にそんな場所や制度があるのかも知りません。	
活動を促進するために地域住民のボランティア活動など町内会と連携し、優良な実践者等を何らかの形で褒め称えるなど工夫できないものか。	
役所は敷居が高く感じる	
何がどこにあるのかわからない。行政の中に、相談窓口の紹介をする専門があるとよい。	
自分で調べなければわからない。	

相談窓口などがよくわからない。
普段生活している中で感じないので、人が集まるお店や、施設でもっとPRすべきだと思う。
情報を受け取りにくい。(広報などでもよくわからないこともある)
部外者は近寄りがたく感じる。
役場まで行って相談することができない人が多い。
身近なところにはありません
聞いたことがない
自分の知っている限り、身近に相談できるところはないと思います。
わからないという事は、周知されていないということか
相談先がわからないと言っている人を多く見るため。
相談の場がわかりづらい

問45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。

そう感じる理由
良い環境だと思うので。
以前より児童数が減っているため、先生が対することのできる時間が増えたから。
スポーツ施設が充実している。
よいと思う。
スポーツ、ピアノを習っている子どもが多い。
施設、先生ががんばっている。
学習させてもらえるだけありがたいです。
孫を見ているとそう感じますが、指導する先生は遅くまで大変でしょうね
先生方が良くやってくれてることが伝わってくるから。
クラブ活動を楽しんでいるようだ。
学校、児童館、塾などで学んでいると感じる。
直接学校や施設など訪問できないが、学校通信、広報から垣間見ることができる。
学校、幼稚園など何箇所もあるため、不足は感じない。
施設が充実している。
学校の協力の基盤ができていると思うから。
充実していると思う。
その気になれば利用できる施設、内容も充実してきている。
教育委員会の皆さんの対応はすばらしいと思う。
校舎がきれいになっている。
挨拶してくれる子がいる。
小学校が町内に3つあり、特色を出している。
施設があると思います。
周辺地域は安心できると思う
自分の子どものときにあまり不安や不満はなかった。
子どもから不満を聞いたことがない
周りの児童は元気な子が多い。
通学路に家がありますので、登下校の子どもの姿や、先生との野外授業を時々は見ることがとても健康的に見える。
図書館や体育館等充実している。
そう感じない理由
親による子どもへの教育が良くない。
5年生の学級が40人と多すぎる。
家庭環境による格差

問50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。

そう感じる理由
しるべつとに大きめのホールもあるので。
子どもが小学校の頃にダンスを習っていた。
たくさんのイベントがあって充実。
コンサート等が活発に行われていると思う。
見に行ってます。
文化会館の充実、イベントが多い。
文化会館などで発表会などを目にします。
映画、芝居、音楽等好きだが、他のときは行きづらい。
文化会館でさまざまなイベントを行っているため。
陶芸で作品を展示している。
ところどころにチラシ等を目にするので充実してると思う。
しるべつとが有効活用されてると感じるから
情報誌などを通して感じる

町主催の発表会に参加している。
発表会、講演会などたくさんやっていると感じる
鑑賞や発表の機会をよく目にする。
広報か新聞で知る程度であるが。
時間があれば鑑賞の機会を持ちたい。
各文化に熱心だ。
健康でいれば参加できる。
毎年鑑賞しているので
しるべつなどで鑑賞会等やっているので。
大人や子どものサークルなど、発表会がよく行われている。しるべつとに色々なコンサート他、見ることができる。
鑑賞する機会はないけれど、文化会館の稼働率がすごいと思う。
場所や機会があるから。
その気になれば文化芸術に触れることができる。
手ごろな値段のチケットで、町民が出かけて楽しみやすい。
有名な芸能人などがライブを行っているので
しるべつとでさまざまなジャンルのイベントが開催されていると感じている。
しるべつの駐車場の車が、一年をとおして多い。
色々な活動を行っていると思う。
昔、若かった人ががんばっている。
そう感じない理由
在住の隠れた有識者の講演会を企画すべきだ。
文化や芸術の種類が同じようなものばかりで、参加者も固定しているから。
ホールに人の動員数が少なく、集まっても身内ばかり。
見に行ったことがない、興味がわからない。
時間が取れない
関わりがない。
発表する場が少ないと思う。
回数が少なく思う。
チケットのネット販売
あまり参加していない。

問54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。

そう感じる理由
社会的にも女性が進出しているように感じる。
時代とともにだんだんとそうなってきたと思う。
昔よりはなっていると思う。
男女共の参加型が多い。
女性の責任者が多くなった。
女性も仕事を持つ人が増えたから。
まだ難しさはあるが、普通にできていると思う。
女だからだめ、男だからだめということもなく、平等に働ける社会になっていると思う。
なってきたと思う。
当然そのとおりと思う。
企業によって違うと思うが、子どものことで何かあっても、休みや早退など対応できていると感じる。
特に差を感じない。
まだまだ不平等な部分もあると感じる。
今は平等に男女に開かれた社会になっている。
育児について、父親が無関心であるようなことはなくなったと感じる。
女性で働いている方をたくさん見かけるので。
公務員はそうなっていると感じる。
雇用が多いように思います。
昔と違い、女性も自由度が高まった気がする。
以前は男性の仕事とされていた職業でも女性を見ることが多くなったから
女性の社会進出が多くなってきた。
働く女性が増えている。
ごく普通に……逆に不平等と感じたことがない。
そう感じない理由
町内においてはやむを得ないが、まだまだ平等とはいえない。
仕事場のトイレ等、設備が整っているとは思えない。
各団体では女性の不足、女性役員の不足
仕事は夫、家事は妻と分けていることが多いから。
男性は子の看護による特別休暇の取得が難しい。

まだまだ女性が働きやすい環境になっていないと思う
まだ男中心でもっと開かれた参画・今の時代にあった考え方
子育てと仕事が両立しない社会環境
子どもを生んでから、男女平等でないと感じる人が多い。職場等での母親の負担やストレスが多い。
何も感じない
育児や介護が女性の仕事のようなイメージがある。
なかなか難しいと思う。
「男だから」「女だから」とあきらめることが多いように感じる。
女性(主婦)の働く場所が少ない。(正社員での)
子どもにとって母親の存在は大きく、その分、女性(母親)の社会進出は遅れていると感じる。
体格差など、どうしてもない部分がある
平等にはなっていないと思う。
男女の差はなくなる。
やはりまだ男女平等とはいえない。平等と感じる場面はない。
やっぱり、男中心社会か…と思う。

問59 北方領土問題を身近な問題として感じますか。

そう感じる理由
距離、地理的特性
近くにあるから
父母がいた。
日本固有の領土だから。
元島民と話をする機会が多い。
両親が東沸(国後島)引き上げ者だから。
昔から言われ続けている問題だから。
元島民が多数いるので。
北方領土が近くにあり、町で色々な活動も行っているから。
四島の返還は無理と思うが、二島の返還に全力であるべし。
身近な方(に関係者)がいるため
一応出身なので
道東の地域性
両親が引揚者なので
身近なことなので、島民の方々のことを思うと早い返還を望んでいる。
歴史的に見ても日本固有の領土。粘り強い返還運動を推進してほしい。
昔から北方領土運動に参加している。
両国で行き来できるように
身近な場所で生活しているから
友人の親が元島民なので、島の話聞くことがある。
すぐ近くの地域のことであり、小さいときからずっと耳にしている。
早い返還を望んでいる
実際に島が見えるから。
子どもの頃から聞いているから。
ニュース等で見かけるから。
根室出身のため、身近に感じていた。
自分が北方領土に住んでいた元島民であり、早い解決を望んでいる。
漁師のひとたちにとっては死活問題だろうと思う。
すぐそばにある島のことであり、解決すれば色々なことに影響もあると思うので。
いまだ未解決で、いつ解決されるかわからないが、身近な国土だと感じている。
水産資源が地域経済に与える影響は大きい。
安倍総理とプーチン大統領との交渉の成り行きが気になっている。
漁業等の経済面で感じる。
元々日本国だから
テレビで見かける
妻の親が色丹島出身
身内に北方領土出身者がいるから
海で生活をしている人が身内や近いところで見聞きしているため
中標津町は近いので
行ってみたい
北海道民として興味がある。
以前、ある団体で返還活動をしていたことがあり。
少し足をのばせば北方四島が近くに見えるので身近に感じる。
高齢者より聞く機会が多い。

元々日本の領土なので
島民2世であり、関心がある。
そう感じない理由
元島民の問題という視点で見られている。
生活していて、周りでは誰も気にしていないので。
意識していない。
親族に島民がいないから。
中標津町では直接的に関係ないと思っている人が多い。
学生の頃に勉強したっきり。
署名はしている。
親しみがなく、歴史をあまり知らない。
あまり関わりがないのでそう感じる事が少ない。
ルーツ等直接的な関わりがない。
冷めている。戦後70年たっているのに返ってこない。
ロシアに動きがない。
出身者との交流がない。

問62 町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

そう感じる理由
不便は感じていないので。
公式HP等、細かい記事もあり、大体知りたいことを知れるため。
窓口に行って聞いて解決している。
広報誌の発行等々議会だよりから情報を得ている。
町の広報誌、FMIはな。
知りたいことはわかっていると思う。
わからないことや知りたいこと等は役場に電話して伺ったりしてます。
ホームページなどに掲載しているから。
広報中標津は毎月見ている。
お盆やGWのごみ収集をHPで見ている。
必要な情報は得ている
町内誌を利用している。
中標津町だよりなどで毎月の情報がわかりやすい。
「広報」「議会便り」は年々内容が充実されている。「らいふまっぷ」の編集はよく工夫されていて、手元に届くのが楽しみである。
十分と思います。
広報誌を読んでいる。町議の人にきく。
広報中標津から得ている。
知りたいことは回覧板で知ることができていると思います。
毎月の広報で色々知ることができる。役場の窓口でも丁寧に対応してもらえる。
HPや広報等で特に足りないとは現在感じない。
広報の充実
町役場の広告宣伝を良く見ている。
関心のあることには注意して読んだり聞いたりする。
窓口によって相談できるところがあり、便利
文書等で必ず知らせてくれる。
今まで大きな都市に住んでいたもので、中標津は街の行政等についても身近に感じられる、良いサイズの町だと思っている。
ホームページから連休中のゴミ収集車の情報等をチェックするなど、身近な情報を得るのに利用している。
電話で対応してもらえる。
インターネットはないが役場に行けばよいので。
町からの広報誌、議会だより等から感じる。
知らないこともあるのだろうが、「なかしべつだより」で情報は多少は得られていると思う。
町内会の回覧で回る
広報誌からだが、ある程度の必要な情報は得る。
町報紙やHPで情報が得られている。
ホームページ、広報等で感じる。
相談対応を心良くしてくれる。情報が得られる。
そう感じない理由
町ホームページの改善が必要
ある程度のことは町の町政便りや広報誌で情報を得るが、いざとなった場合には役場に連絡し確認する。
何を聞きに行っても肝心な部分は答えない。
ホームページを見ても知りたいことがない。
ホームページが充実されていない、更新スピードが遅い。広報誌の充実。そのほか団体の情報がほとんどわからない。情報共有が一番大事である。
白黒でもいいのでもっと見やすい広報。小学生でも読めるものがあると、子どもも考えられるので、一緒に考えたい。

冬の道路状況。税金がどのように使われているか。
広報しか情報が得られない
インターネット等を利用していない者は情報が少ない。
もう少しホームページの充実をお願いしたい。
広報誌の記載内容の充実
HPの工夫が必要
利用したことがない。
もう少し情報開示をしたほうがいいと思う。
今のところ知りたい情報がない。
あまり見ない。見たいと思うことがない。
町広報誌くらいしか見ていない
年寄には、パソコンなど使いこなせないのも
HPなどで情報を確認できるけど、町立病院の診療スケジュールを先のを早めに見れるようになれば、医師等を確認して予約できるのに

問63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。

そう感じる理由
わかりやすい
ていねい。
慣れているから。
対応が丁寧で親切である。
都会の役場よりも親切
以前と違い、職員の対応が良くなり、親切にもなった。
昔はえらそうにしている聞くほうはわからないから聞いているのに、そっけなく冷たかった。今の窓口の方は大体親切なかつたです
役場内でどなたにたずねても、優しく教えてくれるから。
行くところが決まっているのでわかりやすいと思う
自分の目的と合致すれば利用しやすい
丁寧に案内してもらえる。
どこを訪ねればよいかわからないときはどの窓口でも教えてもらえるので。
欲を言えばきりがないが満足している。
十分機能していると思います。
もう少し明るいイメージがほしいと思う。
吊り下げている案内板を見るとすぐわかる。職員の方に聞いても案内してくれるので利用しやすい。
普通だと思う。
上をみればだいたいわかる。
問題なく利用しています。
たまに利用するので感じます。
わかりやすい。
現在、計根別支所の近くに住んでいるが、わからないことを聞いても親切丁寧に対応してくれる。
各窓口の位置が書かれたフロアマップでおおよその場所がわかる。受付の人達は言葉少なではあるが親切。
ちゃんと対応してくれる。
行った時に親切だったので
親切だと思います。
ただ福祉課が奥すぎる。狭い。
やさしく教えてくれる
各階の窓口案内のパネル等があれば利用しやすいと思う。
役場に行くことがわりと多いので。
以前、身体の不自由な方のお手伝いでよく役場に行きましたが、皆さんとても親切に接してくれました。
特に不便は感じなかったの。
あまり行かないが、親切に教えてくれる印象はある。もう少し明るい雰囲気だともっと良いのに。
親切に教えてくれるので
そう感じない理由
カウンターに衝立を設置するべきだ。(プライバシー保護)
以前利用したとき、わかりやすく説明してくれた人と、あまり態度が良くない人がいたの。
職員に元気がないように感じます。
各課の標記がすごくわかりにくい。表記が高すぎるので、人の目線にあった場所に表示してほしい。
窓口にいる方は親切な方を希望、不親切な人がいる。
めったにいかないが、玄関に入ったら、わかりやすい案内板や表示機器などがあるとよいと思う。
正面玄関、裏玄関どちらから入っても顔を合わせない人がいない。受付の人がいてもよいのではないかな？
感じの良い人と悪い人の差がありすぎる。
感じの良い方を窓口においてください。町の顔である事をもっと意識して。
雰囲気が悪い。
課によっては嫌々対応されているのがわかるから。

雑然としていて、見た目だらしく。例えば、ポスターが曲がっていたり、破けていたり。
課の看板がわかりづらい。ごちゃっとしすぎ。
わかりにくい
対応が悪い。
福祉関係はもっと近くにあるべき
職員の対応が良くない
総合案内があると良い、全体的に雑然としていていると感じる。
どの書類をあつかっているか、全くわからない。
何課にいけばよいのかわからないことが多いから。
住民課に限って窓口が混んでいるが。
なぜか敷居が高い
どこに何課があるのかよくわからない。受付とかあれば…
感じ良くない人もいる。
入り口が2階にあるということ。
高齢者にわかりやすく対応して欲しい。

V 參考資料

《第6期中標津町総合発展計画》

まちづくり町民アンケート ご協力をお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、中標津町では、今後のまちづくりを進めるうえで指針となる第6期中標津町総合発展計画に基づいて各種取組みを計画的に推進しております。

本調査は、町の取組みに対する町民の皆様の声を調査し、今後の町政に反映することを目的として、町内にお住まいの20歳以上の方の中から500名を無作為に抽出してお願いしております。

このアンケートは統計的に処理し、本調査の目的以外に利用することとはなく、ご迷惑をおかけすることは絶対にありません。

まちの将来像「空とみどりの交流拠点・中標津」を目指し、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいという趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いします。

平成29年5月

中標津町長 西 村 穰

-
1. ご回答は宛名のご本人にお願いいたします。
 2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定していますので、おまちがえのないようお願いします。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）
 3. ご記入いただいたアンケートは5月31日（水）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
 4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記の連絡先までお願いします。

中標津町 総務部 企画課

電 話：0153-73-3111（内線327）

FAX：0153-73-5333

あなたご自身のことについてお伺いします。

問 1 それぞれの項目ごとにあてはまる番号1つに○印を付けてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性
(2) あなたの年齢	1. 20歳代 4. 50歳代 2. 30歳代 5. 60歳代 3. 40歳代 6. 70歳以上
(3) あなたの職業 (※主たるもの)	1. 農林業 5. パートタイム・アルバイト 2. 製造業・建設業 6. 主婦(夫) 3. 卸小売業・飲食業 7. 無職 4. その他サービス業等 (公務員を含む) 8. 学生・その他
(4) あなたの通勤・通学先	1. 町内 2. 町外 3. 該当なし・その他
(5) あなたの家族構成	1. 夫婦(子どもはいない) 4. 単身(あなた1人) 2. 親子(2世代) 5. その他 3. 親・子・孫(3世代)
(6) あなたの出身地	1. 中標津町 2. 根室管内 3. 道内 4. 道外 5. 国外
(7) あなたの居住地	1. 中標津市街 2. 中標津町農協区域 3. 計根別市街 4. 計根別農協区域
(8) あなたの居住年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上20年未満 4. 20年以上

愛着度・定住意向についてお伺いします

問 2 あなたは、中標津町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 感じている | 3. どちらかといえば感じていない |
| 2. どちらかといえば感じている | 4. 感じていない |

問 3 定住意向についてお伺いします。
①あなたは、今後も中標津町に住み続けたいと思いますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい | 3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない |
|--------------------------------|--------------------------------|

※①で「1.」または「2.」に○をつけた方は
②にお答えください。

②住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

1. 自然が豊かだから
2. 教育環境がよいから
3. 通勤や通学が便利だから
4. 医療や福祉が充実しているから
5. 日常の買い物が便利だから
6. 生活する環境が便利だから
7. 職場があるから
8. 親や親戚がいる住み慣れた土地だから
9. 友人など人間関係があるから
10. 町の将来に希望がもてるから
11. 特に理由はない
12. その他

(具体的に：)

※①で「3.」または「4.」に○をつけた方は
③にお答えください。

③住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで○印を付けて下さい。)

1. 日常の買い物が不便
2. 道路事情や交通の便が悪い
3. 地域の行事や近所づきあいが面倒
4. 子どもの保育・教育のことが心配
5. 町内に適当な職場が少ない
6. 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分
7. 消防・防災・防犯体制に不安を感じる
8. スポーツ施設や文化施設が不十分
9. 生活基盤施設の整備が遅れている
10. コミュニティ活動など住民の交流がない
11. 情報通信基盤が整っていない
12. その他

(具体的に：)

※ 質問には、あなたの尺度であなたの感じるままにお答えください。自分が関わっていない部分などでわからない場合は、周囲の状況をもとに考えてお答え下さい。

中標津町全体についてお伺いします。

問 4

全体的にみた中標津町のまちづくりに満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
<u>○満足している理由</u>	<u>○満足していない理由</u>

問 5

まちの計画や取り組みに関心を持っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 関心を持っている | 3. どちらかといえば関心を持っていない |
| 2. どちらかといえば関心を持っている | 4. 関心を持っていない |

問 6

町民と行政が協力してまちづくりが進められていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
<u>○そう感じる理由</u>	<u>○そう感じない理由</u>

問 7

今後のまちづくりにおいて、中標津町をどのような特色のあるまちにすべきだと思いますか。(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 健康で安心して暮らせるまち | 6. 広域的な拠点都市機能が集積したまち |
| 2. 酪農や商工業など活力ある産業のまち | 7. 教育文化スポーツ等の水準の高いまち |
| 3. 自然と共生する美しいまち | 8. 多くの人が訪れる観光・交流のまち |
| 4. 便利で快適に暮らせるまち | 9. その他 |
| 5. 町民同士がふれあい豊かに暮らすまち | (具体的に：) |

生活環境についてお伺いします

問 8

中心市街地は便利で利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 9

道路や河川などが適切に維持管理（側溝清掃、草刈りなど）されていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 10

自然、公園、家の周辺などの「まちの緑」に満足していますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 11

公共交通（バス）を利用して、便利に暮らすことができると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 12 中標津空港利用の利便性に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 13 今後、町及びその周辺ではどのような道路、交通手段が必要と考えますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 広域幹線道路（国・道道）の整備充実 2. 町内幹線道路の整備充実 3. 地区内の身近な生活道路の整備充実	4. 中標津空港の航路の充実 5. 路線バスの利便性向上 6. その他（具体的に：
---	---

問 14 安定して水道水が利用できていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由 	○そう感じない理由

問 15 墓地の施設に満足していますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している	3. どちらかといえば満足していない 4. 満足していない
○満足している理由 	○満足していない理由

問 16 身近な生活環境のなかで、今後どのような施設の整備充実が必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 道路の改良、舗装 2. 道路側溝の整備 3. ガードレール等交通安全施設 4. 下水道・排水路 5. 駐車場 6. 公園、子どもの遊び場（ひろば）	7. 集会所 8. 高齢者福祉施設 9. 障がい者福祉施設 10. 商店・スーパー 11. 街路灯・防犯灯 12. その他（具体的に：
---	--

問 17

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○<u>そう感じる理由</u>	○<u>そう感じない理由</u>

問 18

1. 環境美化活動の支援 2. ごみ減量化・リサイクル活動の支援 3. 不法投棄など取り締まりの強化 4. 河川の水質浄化対策の推進 5. 省エネルギーや新エネルギーの導入	6. 緑あふれる景観づくりの支援 7. 自然保護運動の支援 8. 自然環境の調査・監視体制の強化 9. 環境保全意識の啓発 10. その他（具体的に：
--	---

問 19

1. 活用している	3. どちらかといえば活用していない
2. どちらかといえば活用している	4. 活用していない

問 20

1. 情報通信基盤（光ファイバーなど）の整備 2. 町のホームページの充実 3. 申請・届出など手続の電子化 4. 各種行政情報など多様な分野での情報サービスの提供	5. 学校・生涯学習など情報教育の充実 6. 個人情報保護対策等セキュリティ強化 7. 情報弱者への対応 8. その他 （具体的に：
---	---

問 21

1. している	3. あまりしていない
2. どちらかといえばしている	4. していない

問 22

1. 参加している	3. あまり参加していない
2. たまに参加している	4. 参加していない

問 23 町の消防・防災対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 消防・救急体制（消防署）の充実 | 7. 防災施設（避難場所や消火栓など）の整備充実 |
| 2. 消防団の体制の充実 | 8. 災害時の情報連絡体制の充実 |
| 3. 防火・防災意識の啓発活動の充実 | 9. 河川など災害発生危険箇所の整備 |
| 4. 消火訓練・避難訓練の充実 | 10. その他 |
| 5. 地域における自主防災組織の育成 | (具体的に：) |
| 6. 防災ボランティアの育成 | |

問 24 消費生活に関する相談窓口が役場にあることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 25 健康保険や年金の制度に関して、知りたい情報が得られていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

環境問題への取り組みについてお伺いします

問 26 日頃から環境問題（温暖化、省エネルギー、ごみ減量など）について意識していますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 意識している | 3. どちらかといえば意識していない |
| 2. どちらかといえば意識している | 4. 意識していない |

問 27 3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. している | 3. あまりしていない |
| 2. どちらかといえばしている | 4. していない |

産業振興についてお伺いします

問 28 地元の農畜産物（乳製品、肉、野菜、加工品等）を身近に感じますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 29 森林づくり活動（植樹、下刈・枝打ち体験等）に参加していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 参加している

2. どちらかといえば参加している

3. どちらかといえば参加していない

4. 参加していない

問 30 地元で買い物をすることを意識していますか。
（1つに○印を付けて下さい。）

1. 意識している

2. どちらかといえば意識している

3. どちらかといえば意識していない

4. 意識していない

問 31 町の商業振興について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 商店の専門店化や品揃えの充実

2. 歩道やトイレ、ベンチ等の環境整備

3. 地元商業者主体の共同店舗等の整備

4. 休業日、営業時間の改善など

5. イベント、売出し等共同事業活発化

6. 駐車場や自転車置き場の整備

7. 後継者（若手経営者）の確保・育成

8. 核となる大型店の誘致

9. その他

（具体的に： _____ ）

問 32 まちの観光資源（景観、場所、食、イベントなど）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している

2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない

4. 満足していない

○満足していない理由

問 33 町の観光を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 美しい景観の保全・整備 | 7. 観光ルート設定や観光案内標識整備 |
| 2. 既存観光施設の充実 | 8. 町外への観光PRや情報提供の強化 |
| 3. 地域特色のある観光・体験施設整備 | 9. 地域性のある各種イベントの充実 |
| 4. 観光サービス施設の整備 | 10. 来訪者へのサービスの向上 |
| 5. 地域特色のある料理、土産品の開発 | 11. その他 |
| 6. リゾート施設やテーマパークの整備 | （具体的に： _____ ） |

問 34 雇用対策（通年雇用、雇用の創出・確保など）に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない

○満足していない理由

保健・医療・福祉についてお伺いします

問 35 地域医療、救急・災害時医療体制に満足していますか。
（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している

○満足している理由

3. どちらかといえば満足していない
4. 満足していない

○満足していない理由

問 36 町の保健・医療対策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 医療機関の充実 | 7. 健康づくり活動の充実 |
| 2. 救急・休日・夜間医療の充実 | 8. 健康に関する知識の普及 |
| 3. 往診・訪問看護など在宅医療の充実 | 9. 保健師などの訪問活動の積極的推進 |
| 4. 各種検診の充実 | 10. 食育や食生活改善運動の推進 |
| 5. 感染症対策の充実 | 11. その他 |
| 6. 健康教育や健康相談の充実 | （具体的に： _____ ） |

問 37 地域や家庭で子どもが安心して育てられていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 38 町の子育て環境を充実させるため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 保育所の充実 2. 子育てに関する相談・学習・交流の場の充実 3. 子育て関係団体・ボランティアのネットワーク化 4. 学童保育の充実	5. 子どもの遊び場など公園の整備 6. 児童館の整備 7. 児童虐待の予防・解消対策の推進 8. その他
(具体的に：)	

問 39 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らしていると感じますか。
 (1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
○そう感じる理由	○そう感じない理由

問 40 町の高齢者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
 (2つまで○印を付けて下さい。)

1. 生きがいづくりや働く場の充実 2. 安心して利用できる道路づくりや施設づくり 3. 高齢者と若い世代の交流機会の充実 4. 学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実	5. 介護保険サービスや施設の充実 6. 高齢者保健福祉サービスや施設の充実 7. 地域で見守るような住民の助け合い活動の育成 8. その他
(具体的に：)	

問 41 障がい者サービスが整っていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	}	
○そう感じる理由		

3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない	}	
○そう感じない理由		

問 42 町の障がい者施策について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 相談窓口や情報提供の充実 2. 障がいの早期発見と教育・療育の充実 3. 在宅支援サービスの充実 4. 入所施設やグループホーム等の整備 5. ユニバーサルデザインなどによるまちづくりの推進	6. 就労に向けた支援や雇用環境の整備 7. 障がいへの理解や交流 8. 社会参加の促進 9. ボランティア活動などの地域福祉活動の促進 10. その他 (具体的に：)
--	--

問 43 身近なところで相談でき、支えてもらえる福祉の制度・活動があると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	}	
○そう感じる理由		

3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない	}	
○そう感じない理由		

問 44 健康診査やがん検診を毎年受けていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 毎年受けている | 3. 定期的ではないが受けたことがある |
| 2. 毎年ではないが定期的に受けている | 4. 受けたことがない |

教育・文化・スポーツについてお伺いします

問 45 児童生徒が適切な環境の下で学習していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 46 青少年を見守る活動に参加していますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 参加しているし、今後も参加したい

2. 参加していないが、今後は参加したい

3. 参加しているが、今後は参加するつもりはない

4. 参加していないし、今後も参加するつもりはない

問 47 子どもの豊かな人間教育のために、どのようなことが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 家庭のしつけをとおした思いやりの心の育成

2. 地域ぐるみでの子どもの育成活動

3. ボランティア活動に重点をおいた教育

4. 地域特性や地域の人材を活用した特色ある教育

5. スポーツに力を入れた教育

6. 音楽や美術に力を入れた教育

7. 情報化に対応できる教育

8. 基礎的な学力の向上を目指す教育

9. 食育に関する教育

10. いじめなどの心の問題への対応

11. 子どもの安全・安心対策の強化

12. その他

(具体的に：

)

問 48 文化活動・芸術活動に取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 取り組んでいる

3. あまり取り組んでいない

2. どちらかといえば取り組んでいる

4. 取り組んでない

問 49 生涯学習情報誌「らいふまっぷ」から知りたい情報は得られていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 得られている

3. どちらかといえば得られていない

2. どちらかといえば得られている

4. 得られていない

問 50 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 51 生涯学習活動・文化活動をより活発にしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. 音楽・美術などの鑑賞機会の充実 |
| 2. 指導者や相談体制の充実 | 7. 学習・文化活動等の発表機会の充実 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 8. 学習・文化団体への支援 |
| 4. 文化施設など活動の場の整備充実 | 9. 文化イベントの企画・開催 |
| 5. 史跡・文化財の保存や伝統文化の後継者の育成 | 10. その他
(具体的に：) |

問 52 運動やスポーツに取り組んでいますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 取り組んでいる | 3. あまり取り組んでいない |
| 2. どちらかといえば取り組んでいる | 4. 取り組んでない |

問 53 スポーツ活動をより活発にしていくためには、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 指導者や相談体制の充実 | 5. スポーツ団体への支援 |
| 2. 各種講座などの情報提供の充実 | 6. スポーツイベントの企画・開催 |
| 3. 各種講座や催し物の内容の充実 | 7. その他 |
| 4. スポーツ施設など活動の場の整備充実 | (具体的に：) |

人権・男女共同参画についてお伺いします

問 54 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる 2. どちらかといえばそう感じる	3. どちらかといえばそう感じない 4. そう感じない
}  ○そう感じる理由 	}  ○そう感じない理由

問 55 男女が平等に参加できる社会を形成するため、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1. 女性の働く場所の充実 | 6. 男女の固定的な役割分担意識解消に向けた啓発 |
| 2. 保育や介護サービスの充実など働きやすい環境の整備 | 7. 町の審議会や委員会などへの女性の登用 |
| 3. 育児・介護休業制度の一層の普及 | 8. 男女共同参画についての学習の充実 |
| 4. 女性の就労条件など企業に対する啓発 | 9. その他（具体的に：) |
| 5. 女性のための職業訓練の機会の提供 | |

問 56 女性が抱える様々な悩みに対応する相談窓口があることを知っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 知っている

2. 知らない

地域間交流についてお伺いします

問 57 国際交流や他地域との交流に参加したいと思っていますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. そう思う

3. どちらかといえばそう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. そう思わない

問 58 国内外との交流活動について、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。
(2つまで○印を付けて下さい。)

1. 国内外の姉妹・友好都市交流

6. 案内板や刊行物等の外国語併記

2. スポーツ、文化を通じた人的交流

7. 地域の歴史等を通じた交流

3. 文化などを紹介するイベント

8. その他

4. 町内や隣接圏域の外国人との交流会

(具体的に：

5. 学校教育・生涯学習などでの外国語教育

)

北方領土問題についてお伺いします

問 59 北方領土問題を身近な問題として感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

1. そう感じる

3. どちらかといえばそう感じない

2. どちらかといえばそう感じる

4. そう感じない

○そう感じる理由

○そう感じない理由

取り組みに対する費用負担についてお伺いします

問 60 これまでの設問4から設問59において、今後必要と思われる取り組みなどについて、おたずねしてきましたが、選択された取り組みなどの実施・実現のためには、町民の費用負担が必要となる場合がありますが、どのように考えますか。
(1つに○印を付けて下さい。)

1. 賛成である

4. どちらかといえば反対である

2. どちらかといえば賛成である

5. 反対である

3. どちらともいえない

6. その他 (

)

住民活動等についてお伺いします

問 61

地域活動・ボランティア活動についてお伺いします。

① あなたの地域活動・ボランティア活動への、現在の参加状況と、今後の参加意向についておたずねします。（1つに○印を付けて下さい。）

- 
- 1. 現在、参加しているし、今後も参加したい
 - 2. 現在、参加していないが、今後は参加したい
 - 3. 現在、参加しているが、今後は参加するつもりはない
 - 4. 現在、参加していないし、今後も参加するつもりはない

【①で「1.」または「2.」に○をつけた方にお伺いします。】

② あなたは、今後（今後とも）どのような地域活動・ボランティア活動に参加したいと思いますか。（3つまで○印を付けて下さい。）

- 1. 町内会や自治会などの活動
- 2. 公園・道路の清掃や花壇の世話
- 3. 自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動
- 4. 農協や商工会などの活動
- 5. 老人クラブや女性団体、子ども会などの活動
- 6. 子育て支援に関する活動
- 7. P T A、青少年の健全育成に関する活動
- 8. 教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動
- 9. 伝統芸能の保存に関する活動
- 10. 高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動
- 11. 通院介助や健康管理の指導など保健・医療に関する活動
- 12. 募金や寄付、バザー等に関する活動
- 13. 地域づくりやまちおこしに関する活動
- 14. 自主防災や災害援助に関する活動
- 15. 交通安全に関する活動
- 16. パトロールなど防犯に関する活動
- 17. 国際交流、国際協力に関する活動
- 18. その他（具体的に： _____）

中標津町役場についてお伺いします

問 62

町の情報について、知りたい情報が得られていると感じますか。

（1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。）

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

○そう感じる理由

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

○そう感じない理由

問 63 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じますか。
(1つに○印を付けていただき、その理由をご記入下さい。)

3. どちらかといえばそう感じない
4. そう感じない

○そう感じない理由

将来人口目標について伺います

問 64 第6期中標津町総合発展計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）では、平成32年度の将来人口を25,000人（平成29年3月末現在 23,582 人）と設定していますが、目標達成には今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

[illegible]

行政との関わりについてお伺いします

問 65 これからのまちづくりは、より多くの住民の皆さんが町政に参画して、課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるためには、行政に何が必要だと思いますか。（2つまで○印を付けて下さい。）

1. 的確迅速な行政情報の提供・公開のための、広報活動の充実
2. できるだけ多くの住民の意見や要望を聞くための、広聴活動の充実
3. 講座や教室の開催等を通じた、まちづくりに関する学習機会の提供
4. 地域活動・ボランティア活動を活性化するための仕組みづくり
5. 町民参画・協働のまちづくりの方向性や基本的な役割分担等を定めた自治基本条例の適切な進行管理
6. 各種行政計画策定の際の審議委員の一般公募、パブリックコメント（ホームページ等を通じた住民意見の募集）の充実
7. 公共施設の整備・管理や公共サービスの提供への町民及び民間の参画・協働を促進する仕組みづくり
8. 新たなまちづくりの担い手としてのNPO（民間非営利組織）等の育成・支援
9. その他（具体的に：)

自由意見について

◎ 最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことやまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

※ ご記入いただいた調査票は5月31日（水）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）



町 民 憲 章

(昭和 40 年 7 月 1 日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エゾリンドウ

発 行 中標津町 総務部 企画課

〒086-1197 標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地

TEL (0153) 73-3111 FAX (0153) 73-5333

ホームページ <http://www.nakashibetsu.jp/>

e-mail nakasi-t@aurens.or.jp